

庁舎外壁・建具・屋上防水改修工事 (2期工事)

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-0	表紙・図面リスト	A-16	外壁改修立面図3【改修】	A-32	地下1階建具キープラン【現況】	A-48	仮設計画図(参考)
A-1	建築工事特記仕様書1	A-17	外壁改修立面図4【改修】	A-33	1階建具キープラン【現況】	A-49	ｽｰﾌﾟ設置工事平面図【現況】
A-2	建築工事特記仕様書2	A-18	外壁改修立面図5【改修】	A-34	2階建具キープラン【現況】	A-50	ｽｰﾌﾟ設置工事平面図【改修】
A-3	建築工事特記仕様書3	A-19	外壁改修立面図6【改修】	A-35	3階建具キープラン【現況】	A-51	ｽｰﾌﾟ設置工事立面図【現況・改修】
A-4	工事概要図	A-20	外壁改修立面図7【改修】	A-36	4階建具キープラン【現況】	A-52	ｽｰﾌﾟ設置工事詳細図【改修】
A-5	案内図・配置図	A-21	外壁改修立面図8【改修】	A-37	建具表1【現況】	A-53	外壁調査図1
A-6	1階平面図【現況】	A-22	外壁改修立面図9【改修】	A-38	建具表2【現況】	A-54	外壁調査図2
A-7	2階平面図【現況】	A-23	外壁改修立面図10【改修】	A-39	地下1階建具キープラン【改修】	A-55	外壁調査図3
A-8	3階平面図【現況】	A-24	外壁改修立面図11【改修】	A-40	1階建具キープラン【改修】	A-56	外壁調査図4
A-9	4階平面図【現況】	A-25	R階平面図1【厚生棟】【改修】	A-41	2階建具キープラン【改修】	A-57	外壁調査図5
A-10	5階平面図【現況】	A-26	R階部分詳細図【厚生棟】【改修】	A-42	3階建具キープラン【改修】	A-58	外壁調査図6
A-11	西側立面図【現況・改修】	A-27	熱源機器置場展開図【厚生棟】【改修】	A-43	4階建具キープラン【改修】	A-59	外壁調査図7
A-12	北側立面図【現況・改修】	A-28	R階平面図2【町民ホール】【改修】	A-44	建具表1【改修】	A-60	外壁調査図8
A-13	東側立面図【現況・改修】	A-29	1階天井伏図【町民ホール】【改修】	A-45	建具表2【改修】	A-61	外壁調査図9
A-14	外壁改修立面図1【改修】	A-30	矩計図【庁舎棟】【改修】	A-46	西側駐輪場詳細図1【改修】		
A-15	外壁改修立面図2【改修】	A-31	雨水配管図【改修】	A-47	西側駐輪場詳細図2【改修】		

庁舎外壁・建具・屋上防水改修工事 工事仕様書																										
<p>I. 工事概要</p> <p>1. 工事場所 : 栃木県河内郡上三川町しらさぎ1丁目1番地</p> <p>2. 敷地面積 :</p> <p>3. 用途地域その他の地域</p> <p>4. 建群項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建築名称</th> <th>工事種別</th> <th>構造概要</th> <th>建築面積 (㎡)</th> <th>延べ面積 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庁舎</td> <td>改修</td> <td>鉄筋コンクリート造 5階建</td> <td></td> <td>5,904.70㎡</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		建築名称	工事種別	構造概要	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	庁舎	改修	鉄筋コンクリート造 5階建		5,904.70㎡															
建築名称	工事種別	構造概要	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)																						
庁舎	改修	鉄筋コンクリート造 5階建		5,904.70㎡																						
<p>II. 改修概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">改修概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 養生、清掃 外部足場 枠組足場 外部足場 単管足場(アイソト瓦部) 外部足場 棚足場(議員控室下部天井天井面) 内部 脚立足場 内部 仮設間仕切り(両面仕上げ) </td> </tr> <tr> <td>外壁改修</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 外壁面事前調査 タイルクリーニング 薬剤洗浄(クリストン洗浄程度) タイル浮き補修 アンカーピンニング工法 タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法 タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品 外壁目地コーキング(変成シリコン系) 打替工法 窓廻りコーキング(変成シリコン系) 打替工法(小窓のみ) 天井面タイル補修 ネットリリヤ工法(アクリル樹脂エポキシ樹脂) (議員控室) 既存タイル仕上げタイル補修(アクリルJS-MF+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品) タイル雨樋 新設 </td> </tr> <tr> <td>アルミ外壁改修</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アルミ外壁 クリーニング 薬剤洗浄(クリストン洗浄程度) 目地コーキング(変成シリコン系) 打替工法 窓廻りコーキング(変成シリコン系) 打替工法 アルミ外壁上部 塗布防水 アクリルJS-MF+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品 アルミ外壁側面下部 腐食変形補修 保護塗膜塗塗り アクリルシリコン塗 同等品 </td> </tr> <tr> <td>防水改修</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 機械室、講堂屋根 既存残し アクリルJS-S9+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品 トム、サハ-室屋根 既存残し 改質アクリルシリコン防水(トチ工法) 議員控室 既存撤去 改質アクリルシリコン防水(トチ工法) 委員会室 既存撤去 改質アクリルシリコン防水(トチ工法) 南東西面 アルミ笠木新設 W250・W350 職員会議室屋根 既存アルミ笠木クリーニング 雨樋 既存残し アクリルJS-A9+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品 トブライト撤去・新設 </td> </tr> <tr> <td>アイソト瓦葺改修</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 塗膜塗塗り アクリルシリコン塗 同等品 </td> </tr> <tr> <td>建具改修</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製建具 カバー工法で取替 ブラインド縦型 1階網戸(SUS) </td> </tr> </tbody> </table>		改修概要		仮設工事	<ul style="list-style-type: none"> 養生、清掃 外部足場 枠組足場 外部足場 単管足場(アイソト瓦部) 外部足場 棚足場(議員控室下部天井天井面) 内部 脚立足場 内部 仮設間仕切り(両面仕上げ) 	外壁改修	<ul style="list-style-type: none"> 外壁面事前調査 タイルクリーニング 薬剤洗浄(クリストン洗浄程度) タイル浮き補修 アンカーピンニング工法 タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法 タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品 外壁目地コーキング(変成シリコン系) 打替工法 窓廻りコーキング(変成シリコン系) 打替工法(小窓のみ) 天井面タイル補修 ネットリリヤ工法(アクリル樹脂エポキシ樹脂) (議員控室) 既存タイル仕上げタイル補修(アクリルJS-MF+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品) タイル雨樋 新設 	アルミ外壁改修	<ul style="list-style-type: none"> アルミ外壁 クリーニング 薬剤洗浄(クリストン洗浄程度) 目地コーキング(変成シリコン系) 打替工法 窓廻りコーキング(変成シリコン系) 打替工法 アルミ外壁上部 塗布防水 アクリルJS-MF+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品 アルミ外壁側面下部 腐食変形補修 保護塗膜塗塗り アクリルシリコン塗 同等品 	防水改修	<ul style="list-style-type: none"> 機械室、講堂屋根 既存残し アクリルJS-S9+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品 トム、サハ-室屋根 既存残し 改質アクリルシリコン防水(トチ工法) 議員控室 既存撤去 改質アクリルシリコン防水(トチ工法) 委員会室 既存撤去 改質アクリルシリコン防水(トチ工法) 南東西面 アルミ笠木新設 W250・W350 職員会議室屋根 既存アルミ笠木クリーニング 雨樋 既存残し アクリルJS-A9+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品 トブライト撤去・新設 	アイソト瓦葺改修	<ul style="list-style-type: none"> 塗膜塗塗り アクリルシリコン塗 同等品 	建具改修	<ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製建具 カバー工法で取替 ブラインド縦型 1階網戸(SUS) 											
改修概要																										
仮設工事	<ul style="list-style-type: none"> 養生、清掃 外部足場 枠組足場 外部足場 単管足場(アイソト瓦部) 外部足場 棚足場(議員控室下部天井天井面) 内部 脚立足場 内部 仮設間仕切り(両面仕上げ) 																									
外壁改修	<ul style="list-style-type: none"> 外壁面事前調査 タイルクリーニング 薬剤洗浄(クリストン洗浄程度) タイル浮き補修 アンカーピンニング工法 タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法 タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品 外壁目地コーキング(変成シリコン系) 打替工法 窓廻りコーキング(変成シリコン系) 打替工法(小窓のみ) 天井面タイル補修 ネットリリヤ工法(アクリル樹脂エポキシ樹脂) (議員控室) 既存タイル仕上げタイル補修(アクリルJS-MF+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品) タイル雨樋 新設 																									
アルミ外壁改修	<ul style="list-style-type: none"> アルミ外壁 クリーニング 薬剤洗浄(クリストン洗浄程度) 目地コーキング(変成シリコン系) 打替工法 窓廻りコーキング(変成シリコン系) 打替工法 アルミ外壁上部 塗布防水 アクリルJS-MF+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品 アルミ外壁側面下部 腐食変形補修 保護塗膜塗塗り アクリルシリコン塗 同等品 																									
防水改修	<ul style="list-style-type: none"> 機械室、講堂屋根 既存残し アクリルJS-S9+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品 トム、サハ-室屋根 既存残し 改質アクリルシリコン防水(トチ工法) 議員控室 既存撤去 改質アクリルシリコン防水(トチ工法) 委員会室 既存撤去 改質アクリルシリコン防水(トチ工法) 南東西面 アルミ笠木新設 W250・W350 職員会議室屋根 既存アルミ笠木クリーニング 雨樋 既存残し アクリルJS-A9+工法 レイズトップSG仕上げ 同等品 トブライト撤去・新設 																									
アイソト瓦葺改修	<ul style="list-style-type: none"> 塗膜塗塗り アクリルシリコン塗 同等品 																									
建具改修	<ul style="list-style-type: none"> アルミニウム製建具 カバー工法で取替 ブラインド縦型 1階網戸(SUS) 																									
<p>III. 建築工事仕様</p> <p>1. 設計書 図面、特記仕様書及び現場説明書(質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁業務部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」(以下「改修仕様」という。)による。また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁業務部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」(以下、「仕様」という)及び国土交通省大臣官房官庁業務部監修「建築物解体工事共通仕様書-解説(平成31年度版)」により、優先順位は次の通り。</p> <p>(1) 質問回答書 (2)から(5)に対するもの</p> <p>(2) 現場説明書</p> <p>(3) 特記仕様書</p> <p>(4) 図面及び設計書</p> <p>(5) 改修仕様及び仕様</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 項目名(又は章名)を取り消し線(項目名)で削除した項目(又は章)は適用しない。</p> <p>(2) 特記事項で●印、◎印、○印のある場合の適用は下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●印の付いた仕様は全て適用する。 ◎印の付かない場合は、◎印の付いた仕様を適用する。 ○印のみの仕様は適用しない。 <p>(3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は表を示す。</p> <p>(4) 特記事項に記載の(横仕) 内表示番号は、横仕の当該項目、当該図又は表を示す。</p> <p>(5) 製造所名は五十音順とし、「株式会社」等の記載は省略する。</p> <p>また、() 内は製品名を示す。</p> <p>(6) [G]印は、「栃木県グリーン調達推進方針」の特定調達品目を示す。</p>																										

取	項	目	特	記	事	項																												
1	1	適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> 建築工事標準詳細編 国土交通省大臣官房官庁業務部監修(令和元年版) 敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁業務部監修(令和元年版) 富穡工事写真撮影要領 国土交通省大臣官房官庁業務部監修(平成31年版) 建築物におけるコンクリートの品質管理実施要領 																															
1	2	工事実績情報の登録	<ul style="list-style-type: none"> 栃木県土木部技術管理課(平成14年12月) 建設工事時伴う騒音振動対策技術指針 建設省大臣官房技術参事官通達(S62.3改正) 手すり先行工法に関するガイドライン 厚生労働省(平成21年4月) 																															
3	3	発生材の処理等	<p>[発生土] (1.3.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> 構内(建物用り)敷均し 構内指示の場所に敷均し 構内指示の場所にたい積 構外指示の場所にたい積 たい積場所() 構外搬出適切処理 <p>◎ 上記に指定されていないものは、改修仕様1.3.8及び「建設廃棄物処理指針」(平成13年6月制定)によるほか、下記により構外に搬出して処理する。</p> <p>(1) 建設副産物実態調査要領に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に添付して提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画書の実施状況について、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、電子データと共に提出する。なお、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。</p> <p>(2) 建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、申請書を提出すること。</p> <p>(3) 建設副産物の処分にあたって、提出事業者(元請業者)は処理業者と建設副産物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。</p> <p>なお、収集運搬業者を収集運搬業者に委託する場合は、別に、収集運搬業者と建設副産物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。</p> <p>(4) 建設副産物処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料(受け入れ伝票、写真、位置図、経路図等)を提示し確認を受けること。</p> <p>(5) 建設副産物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」の交付されたもの及び回収した各票を監督職員に提示し確認を受けること。</p> <p>なお、回収したマニフェストについては、産業廃棄物の処理及び清掃に関する法を踏まえて適切に保存すること。</p>																															
4	4	建設リサイクル法	<p>[発生土以外の発生材]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引渡しを要するもの 有 名称() 無 特別管理型産業廃棄物 有 名称() 無 処理方法() <p>◎ 再利用及び再資源化を図るもの 有 名称(石膏ボード) ◎ 無</p> <p>「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)」に定める対象建設工事に該当する場合は、建設リサイクル法に基づき特定建設資材の分別解体及び再資源化の実施について、適正な措置を講ずるとともに、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、監督職員に報告すること。</p>																															
5	5	品質計画	<ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による (1.2.2) 風速 (V=0m/s) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 積雪区分 建告第1455号 別表() 																															
6	6	電気保安技術書	◎ 要 不要 (1.3.3)																															
7	7	条件明示項目	<ul style="list-style-type: none"> 外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、内容決定次第施工する事とする (1.3.5) 																															
8	8	材料の検査に伴う試験	<p>構造体コンクリートの強度試験及び鉄筋のガス圧接部の引張り試験は下記の機関による。</p> <p>(1.4.5)</p> <p>(1) (公財)とちぎ建設技術センター</p> <p>(2) 足利工業大学</p> <p>(3) (株)中研コンサルタント 栃木技術センター</p> <p>(4) 栃木県生コンクリート技術センター</p>																															
9	9	建築材料	<p>本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとJIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)~(6)の項目を満たすものとする。</p> <p>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。</p> <p>(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行なわれていること。</p> <p>(3) 安定的な供給が可能であること。</p> <p>(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は、免許等を取得していること。</p> <p>(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>(6) 販売保守等の高度体制が整えられていること。</p> <p>なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を監督職員に提出して承認を受けるものとする。</p> <p>また、本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、同等品等使用願を監督職員に提出し承諾を受ける。</p> <p>なお、同等品の中で、国土交通省大臣官房官庁業務部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価基準書 建築材料評価基準(平成25年度版)」(以下、「評価基準」という。))に記載されている製造所の材料を選定した場合は、設計図書に規定するものと同等と取り扱い、主要資材使用通知書により監督職員に通知する。</p>																															
10	10	化学物質を発生する建築材料等	<p>(1.6.9)</p> <p>本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(5)を満たすものとする。</p> <p>(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボードその他の木質建材、ウリア樹脂版、仕上り塗材及び珪藻土は、ホルムアルデヒドを発生させないか、発生が極めて少ないものとする。</p> <p>(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生させないか、発生が極めて少ないものとする。</p> <p>(3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。</p> <p>(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。</p> <p>(5) (1)・(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。</p>																															
11	11	特別な材料の工法	<p>改修仕様及び仕様仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。</p>																															
12	12	施工数量調査	<p>調査範囲及び調査方法 図示 (1.5.2)</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 (1.5.3)</p>																															
13	13	技能士	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通用工事種別</th> <th>技能検定の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水改修工事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 セメント系防水工事作業 FRP防水工事作業 </td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 左官作業 内外板金作業 </td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ビル用サッシ組立作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業 </td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> フローリング系床仕上げ工事作業 ベニヤ仕上げ作業 ボード仕上げ工事作業 鋼製下地工事作業 左官作業 塗装作業 大工工事作業 枠組工作業 </td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 建築塗装作業 </td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 構造物鉄工作業 型枠工事作業 とび作業 鉄筋組立作業 </td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ工</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> コンクリートポンプ工事作業 </td> </tr> <tr> <td>ALU工</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂工事作業 </td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 石張り作業 </td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 造園工事作業 </td> </tr> </tbody> </table>	通用工事種別	技能検定の種別	防水改修工事	<ul style="list-style-type: none"> アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 セメント系防水工事作業 FRP防水工事作業 	外壁改修工事	<ul style="list-style-type: none"> 左官作業 内外板金作業 	建具改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ビル用サッシ組立作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業 	内装改修工事	<ul style="list-style-type: none"> フローリング系床仕上げ工事作業 ベニヤ仕上げ作業 ボード仕上げ工事作業 鋼製下地工事作業 左官作業 塗装作業 大工工事作業 枠組工作業 	塗装改修工事	<ul style="list-style-type: none"> 建築塗装作業 	耐震改修工事	<ul style="list-style-type: none"> 構造物鉄工作業 型枠工事作業 とび作業 鉄筋組立作業 	コンクリートポンプ工	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートポンプ工事作業 	ALU工	<ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂工事作業 	石工事	<ul style="list-style-type: none"> 石張り作業 	植栽工事	<ul style="list-style-type: none"> 造園工事作業 									
通用工事種別	技能検定の種別																																	
防水改修工事	<ul style="list-style-type: none"> アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 セメント系防水工事作業 FRP防水工事作業 																																	
外壁改修工事	<ul style="list-style-type: none"> 左官作業 内外板金作業 																																	
建具改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ビル用サッシ組立作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業 																																	
内装改修工事	<ul style="list-style-type: none"> フローリング系床仕上げ工事作業 ベニヤ仕上げ作業 ボード仕上げ工事作業 鋼製下地工事作業 左官作業 塗装作業 大工工事作業 枠組工作業 																																	
塗装改修工事	<ul style="list-style-type: none"> 建築塗装作業 																																	
耐震改修工事	<ul style="list-style-type: none"> 構造物鉄工作業 型枠工事作業 とび作業 鉄筋組立作業 																																	
コンクリートポンプ工	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートポンプ工事作業 																																	
ALU工	<ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂工事作業 																																	
石工事	<ul style="list-style-type: none"> 石張り作業 																																	
植栽工事	<ul style="list-style-type: none"> 造園工事作業 																																	
14	14	化学物質の発生抑制	<p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラクロロベンゼンの濃度を測定し、監督職員に報告する。</p> <p>(1.6.9)</p>																															
15	15	採取方法	<p>採取方法 ◎パッシブ型 ・アクティブ型</p> <p>着工前の測定 ◎行わない ・行う</p> <p>測定対象数 図示</p> <p>測定箇所数 図示</p> <p>報告の様式等については監督職員の指示による</p>																															
16	16	完成図等	<p>◎作成する ・作成しない (1.8.2)</p> <p>◎完成図 ◎製本 提出部数 ◎2部 ・部 両面複写2つ折り製本</p> <p>◎CD-R 提出部数 (2)部</p> <p>◎施工計画書等 提出部数 ◎1部 ・部</p> <p>◎施工図 提出部数 ◎1部 ・部</p> <p>◎保全に関する資料 提出部数 ◎1部 ・部</p>																															
17	17	施工図等の取扱い	<p>施工図等の著作権に係る当該建築図面に限る著作権は、発注者に移譲するものとする。</p>																															
18	18	完成写真	<p>下記のものを監督職員に提出する。ただし原稿は撮影業者の保管とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原稿の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎カラー</td> <td>外部(2)内部(4)</td> <td>◎ 2</td> <td>◎ 100×125以上</td> </tr> <tr> <td>・キャビネット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・べた焼き(他に外観正面1枚(3ヶ所+1ヶ所)提出)</td> <td></td> <td></td> <td>・ 24×36</td> </tr> <tr> <td>・カラー半切木製バ</td> <td>外部()内部()</td> <td>◎2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ネル 324×400mm</td> <td></td> <td></td> <td>◎ 428万画素以上</td> </tr> <tr> <td>◎電子データ</td> <td>外部()内部()</td> <td>◎2</td> <td>◎ 350dpi以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>100×125以上の原稿を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼きを提出して確認を受ける</p> <p>電子データはJPEG形式としCD-Rにて提出する。</p> <p>撮影業者 ◎監督職員の承諾する撮影業者(ただし建築完成写真撮影の実績のある業者とする)</p> <p>撮影箇所については監督職員に承認を得る事。</p>	分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原稿の大きさ(mm)	◎カラー	外部(2)内部(4)	◎ 2	◎ 100×125以上	・キャビネット				・べた焼き(他に外観正面1枚(3ヶ所+1ヶ所)提出)			・ 24×36	・カラー半切木製バ	外部()内部()	◎2		・ネル 324×400mm			◎ 428万画素以上	◎電子データ	外部()内部()	◎2	◎ 350dpi以上			
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原稿の大きさ(mm)																															
◎カラー	外部(2)内部(4)	◎ 2	◎ 100×125以上																															
・キャビネット																																		
・べた焼き(他に外観正面1枚(3ヶ所+1ヶ所)提出)			・ 24×36																															
・カラー半切木製バ	外部()内部()	◎2																																
・ネル 324×400mm			◎ 428万画素以上																															
◎電子データ	外部()内部()	◎2	◎ 350dpi以上																															
19	19	別表-1	<p>別表-1によるが、設備機器の位置、取り合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>監督職員の指示による</p>																															

22	22	調査・試験に対する協力	<p>(1) 受注者は、発注者が自ら又は発注者が指定する第三者が行う調査及び試験に対して、監督職員の指示によりこれに協力しなければならない。</p> <p>(2) 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労働費調査の対象工事となった場合は、次の各号に掲げる協力をしなければならない。</p> <p>ア 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。</p> <p>イ 調査票等を提出した事業者が発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象となつた場合には、その実施に協力しなければならない。</p> <p>ウ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成するとともに賃金台帳を調査・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。</p> <p>エ 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)が前号と同様の義務を負うを定めなければならない。</p>			
23	23	火災保険等	<p>火災保険、建設工事保険、組立保険又は土木工事保険等のうち1以上に加する。</p> <p>契約期間の始期は、材料(仮設、型枠材を除く)搬入時以前とし、終期は、工事的目的(分庫発注に於いては、引き渡しが最後となる工事的目的)の引き渡しの翌日までとする。</p> <p>保険契約の締結後、その証券の写しを監督職員にすみやかに提出する。</p>			
24	24	下請負人の選定及び工事材料の選定	<p>◎ 受注者は、下請負契約を締結する場合、当該契約の相手方を県内に本店を有する者の中から選定すること。</p> <p>◎ 受注者は、県内で発出、生産又は流通される資材等の規格品質等が本設計の仕様と適合すると認められる場合は、優先して使用するよう努めること。</p>			
25	25	電子納品	<p>◎ 適用基準は「電子納品運用に関するガイドライン(案)(第10版)」とする</p> <p>設計CADのファイル形式 無し ◎有り(著作権者 株式会社マガミ企画設計)</p> <p>◎ 貸与するCADソフトを当該工事における施工図又は完成図の作成のために以外には使用してはならない</p> <p>書面における署名及び捺印の取り扱い ◎監督職員との協議による</p>			
26	26	交通安全管理	<p>受注者は、栃木県公安委員会が定める路線(平成18年11月30日栃木県公安委員会告示第72号)の交通安全を行う場合は、その現場ごとに交通安全管理委員会に係る一級検定合格監理員又は二級検定合格監理員を1人以上配置しなければならない。</p>			
27	27	環境対策	<p>(1) 騒音・振動対策</p> <p>受注者は、工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年建設省告示第1536号)に基づき指定された建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。</p> <p>(2) 排出ガス対策</p> <p>受注者は、工事の施工にあたり「建設機械に関する技術指針」別表第3に掲げる建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経発第246号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械又は同等の建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。</p> <p>(3) グリーン購入法</p> <p>受注者は、資材、工法、建設機械又は目的の使用にあたっては、事業者の特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「国等による環境物品等の調達に関する法律(平成12年法律第100号)」、「グリーン購入法(という。)」第10条及び「栃木県生活環境の保全等に関する条例」第63条で定められた「栃木県グリーン調達推進方針」に定められた特定調達品目の使用を推進するものとする。</p>			
28	28	事故報告	<p>受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に報告するとともに、監督職員が指示する様式(工事事故報告書)で指示する期日までに提出しなければならない。</p>			
29	29	不正給油使用の防止対策	<p>(1) 本工事は、地方税法(昭和25年法律第226号)及び特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年5月25日法律第51号)を遵守すること。</p> <p>(2) 本工事で使用し又は使用させる給油使用の車両(資機材等の搬入車両を含む)並びに建設機械等の燃料には規格(JIS)に合った給油機を使用すること。また、県が使用燃料の抜き取り調査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力をすること。</p>			
30	30	過積載対策	<p>ダンプトラック等による過積載等の防止については、次のとおりとする。</p> <p>(1) 積載重量制限を超過して工事用資材を積み込まず、また積み込まないこと。</p> <p>(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。</p> <p>(3) 資材等の過積載を防止するため、建設発土士の処理及び資材等の購入等にあたっては、下請事業者及び資材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。</p> <p>(4) さし枠装置車、物品積載装置の不法改造をしたダンプカー及び不表示車等に土砂を積み込みます、また積み込まないこと。並びに工事現場から出入りすることのないようにすること。</p> <p>(5) 過積載車両、さし枠装置車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。</p> <p>(6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装置車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。</p> <p>(7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条に規定する団体等が過積載を助長し、同団体等への加入者の使用を促進すること。</p> <p>(8) 下請契約の相手方は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者又は業務に関しダンプトラック等によって資材が重大な事故を発生させたものを排除すること。</p> <p>(9) (1)~(8)のことにつき、下請業者における受注者を指導すること。</p>			
31	31	暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置	<p>(1) 上三川町が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当介入又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力をすること。</p> <p>(2) (1)により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。</p> <p>(3) 発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。</p>			
32	32	工事の一時中止	<p>契約書第21条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。</p> <p>なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を提出し、承諾を受けるものとする。</p>			

CON. NAME	DAY
庁舎外壁・建具・屋上防水改修工事(2期工事)	2020年5月
P.I.C. NAME	SCALE
建築工事特記仕様書 1	A - 1

Table with 2 columns: Item (項目) and Description (内容). Includes sections for 1. General (総論), 2. Waterproofing (防水), 3. Insulation (断熱), 4. Siding (シーリング), and 5. Finishing (仕上げ).

Table with 2 columns: Item (項目) and Description (内容). Includes sections for 6. Windows (窓), 7. Doors (扉), 8. Stairs (階段), 9. Balconies (バルコニー), and 10. Other (その他).

Table with 2 columns: Item (項目) and Description (内容). Includes sections for 11. External Wall (外壁), 12. Roof (屋根), 13. Windows (窓), 14. Glass (ガラス), 15. Glass Sashes (ガラス留め材), 16. Glass (ガラス), 17. Glass Sashes (ガラス留め材), 18. Glass (ガラス), 19. Glass Sashes (ガラス留め材), 20. Glass (ガラス).

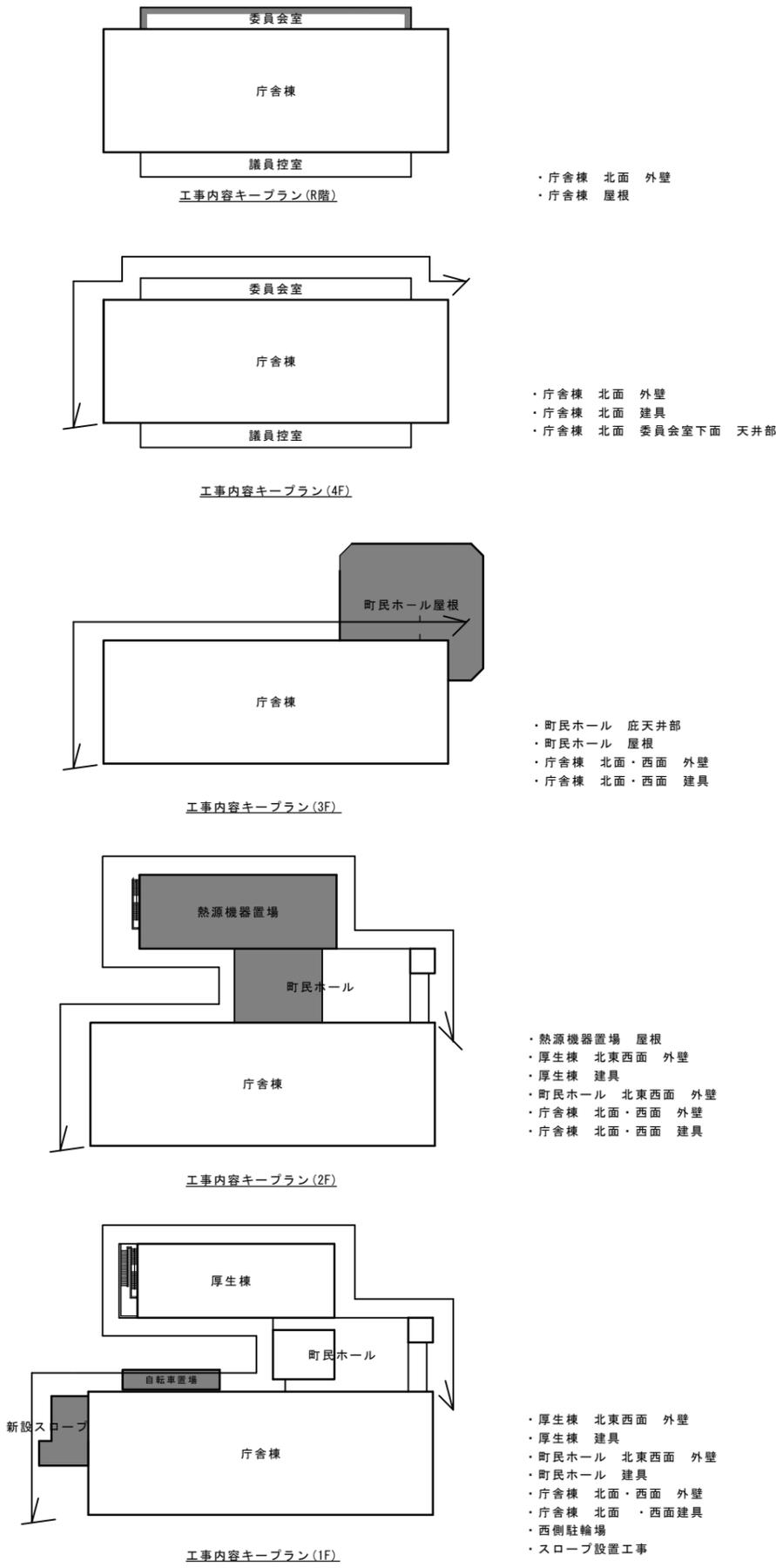
Table with 2 columns: Item (項目) and Description (内容). Includes sections for 21. Construction (施工), 22. Materials (材料), 23. External Wall (外壁), 24. Roof (屋根), 25. Windows (窓), 26. Glass (ガラス), 27. Glass Sashes (ガラス留め材), 28. Glass (ガラス), 29. Glass Sashes (ガラス留め材), 30. Glass (ガラス).

項目	特記事項
5-3 外壁 改修 工事 2 ひび割れ部 改修 工事	<p>1 既存タイル張りの撤去 ・外壁タイル張りの撤去 ・撤去範囲 ◎下地モルタルまで ・タイルのみ</p> <p>2 ひび割れ部改修工事 改修箇所 ◎既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面（・コンクリート ・モルタル面） ◎ 樹脂注入工法（4.1.4）（4.3.4）（4.5.5） （◎既存モルタル面・既存樹脂コンクリート面） 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入力（ml/m） 備考 ◎ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ◎ 0.2以上～1.0未満 ◎ 200～300 ◎ 9.0 ・ 自動式エポキシ樹脂注入工法 ◎ 0.2以上～0.3未満 ◎ 50～100 ◎ 4.0 ◎ 0.3以上～0.5未満 ◎ 100～200 ◎ 7.0 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 ◎ 0.5以上～1.0未満 ◎ 150～250 ◎ 13.0</p> <p>注入材料 ◎ 建築補修用注入エポキシ樹脂（JISA6024低粘度形又は中粘度形）（4.2.2） 検査（コア抜取り） ◎行わない ・ 行う（抜取り後の補修方法：） ・ Uカットシーリング材充てん工法（4.1.4）（4.2.2）（4.3.5.6） 充てん材料 ◎品質・規格等 ◎備考 ・ シーリング用 ◎ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ◎行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂 ◎行わない</p> <p>3 欠損部改修工事 ◎ タイル部分張替え工法（既存タイル張り撤去面）（4.1.4）（4.2.2）（4.5.7） 接着剤の種類 ◎品質・規格等 ◎ ポリマーセメントモルタル ・ タイル部分張替え工法用接着剤 「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外壁タイル・石張りシステムの開発』（建設大臣官庁技術調査報告書 平成29年2月）」における「外壁タイル・石張り用接着剤の品質基準（案）」に基づく品質性能試験に適合するタイプIであり監督職員の承諾するもの又は特記による。</p> <p>・ タイル張替え工法（4.1.4）（4.5.6） 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地（4.5.8）（表4.5.1） 位置 ◎改修仕様表4.5.1による ・ 図示 タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験 ◎行う ◎行わない</p> <p>・ セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良種上げ張り 外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>・ 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 打継目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系</p> <p>4 浮き部改修工事 改修工法の種類 劣化・ヒンジングの本数（本/m） 注入口の箇所数（箇所/m） 充てん量（kg/m） （モルタルを撤去しない場合） 一般部 指定部 一般部 指定部 注入力 ◎ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ◎ 16 ◎ 25 ◎ ◎ 25ml ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ◎ 13 ◎ 20 ◎ 12 ◎ 20 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ◎ 13 ◎ 20 ◎ 12 ◎ 20 ・ ポリマーセメントスラリー注入工法 ◎ 9 ◎ 16 ◎ ◎ 25ml ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ◎ 9 ◎ 16 ◎ 9 ◎ 16 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ◎ 9 ◎ 16 ◎ 9 ◎ 16 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法 ◎ ◎ ◎ ◎ 25ml ・ タイル部分張り替え工法 ◎ ◎ ◎ ◎ ・ タイル張り替え工法 ◎ ◎ ◎ ◎</p> <p>アンカーピン（4.2.2） 材質 ◎ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものを 注入口付アンカーピン（4.2.2） 材質 ◎ステンレス SUS304、呼び径外径6mm</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ◎改修仕様表4.5.1による ・ 図示 タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験 ◎行う ◎行わない ・ セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良種上げ張り 外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>・ 有機系接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 打継目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系</p> <p>5 目地改修工事 ・ 目地ひび割れ部改修工法（4.1.4）（4.5.16） ◎ 伸縮目地改修工法（4.1.4）（4.5.16） シーリング用材料（3.7.2）（表3.7.1） 種類 ※改修仕様表3.7.1による</p> <p>6 陶磁器質タイル タイルの種類（4.2.2）（4.5.7～8） 施工箇所 形状 吸水率による区分 用途 役物 色 再塗料の有無 備考 寸法（mm） I類 II類 III類 無釉 施釉 有無 標準 特注 有無 片倉様 100角 ◎ - - - ◎ ◎ ◎ - - ◎ - 厚生様 100角 ◎ - - - ◎ ◎ ◎ - - ◎ - 役物：標準的な由り（小口、標準、二丁、厚房）の役物は一体成形とする タイルの見本抜き ◎行わない ◎行う 壁タイル張りの工法（4.5.7.8）（表4.5.3） 外装タイル ・密着張り ・マスク張り タイルの試験張り ◎行わない ◎行う</p>
5-4 外壁 改修 工事 2 ひび割れ部 改修 工事	<p>1 既存塗膜等の除去及び下地処理 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法（4.6.3）（表4.6.1.4） 工法 処理範囲 下地面の補修 ・ サンダー工法 ◎既存仕上面全体 ・ ひび割れ部改修工法 ・ 高圧水洗工法 ◎既存仕上面全体 ・ 浮き部改修工法 加圧力 ◎30MPa程度 ・ 欠損部改修工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ◎既存仕上面全体 ◎ 水洗い工法 ・ 上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ◎ 図示 塗膜はく離剤 ◎ 図示（4.2.2）</p> <p>2 下地調整塗材（4.2.2）（4.6.3） ◎ 下地調整塗材（4.2.2）（4.6.3） ◎ 仕上げ塗材用プライマー ・ ポリマーセメントモルタル ・ 防水形仕上げ塗材主材と使用</p> <p>3 仕上げ塗材仕上げ 種類、仕上げの形状、工法（4.1.4）（4.2.2）（表4.2.3.4） 種類 呼び名 仕上げの形状 ・ 薄付け仕上塗材 ◎ 外装薄塗材S1 ◎ 可とう形外装薄塗材S1 ◎ 外装薄塗材E ◎ 可とう形外装薄塗材E ◎ 防水形外装薄塗材E ◎ 外装薄塗材S ◎ 砂壁状 ◎着色骨材砂壁状 ◎ 砂壁状 ◎ゆず肌状 ◎さざ波状 ◎ 砂壁状 ◎ゆず肌状 ◎さざ波状 ◎凹凸状 ◎ 砂壁状</p> <p>◎ 複層仕上げ塗材 ◎ 複層塗材CE ◎ゆず肌状 ◎凹凸模様 ◎ 可とう形複層塗材CE ◎耐核形3種 ◎ 複層塗材S1 ◎ 複層塗材E 溶媒 ◎水系 ◎溶剤系 ◎ 複層塗材RE 樹脂 ◎アクリル系 ◎ 複層塗材RS 外観 ◎つやあり ◎つやなし ◎ 防水形複層塗材CE ◎メタリック ◎ 防水形複層塗材E 防水形の増塗材 ◎行う ◎ 防水形複層塗材RE ◎ 防水形複層塗材RS ◎ 可とう形改修用仕上塗材 ◎可とう形改修塗材E ・平たん状 ◎ 可とう形改修塗材RE ・さざ波状 ◎ 可とう形改修塗材CE ◎ゆず肌状</p> <p>防火材料の指定が必要な場合（4.2.2）（標仕15.5.2） ◎ 建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。</p> <p>4 マスチック塗材塗り（4.6.6） 種別 ・A種 ・B種</p>
5-5 内装 改修 工事	<p>1 材料 壁内の壁・天井仕上げ材は防火材料とする。 建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 ◎ 規制対象外 ・第三種</p> <p>2 下地調整 下地面の種類 下地調整の種類 備考 木部 ◎RA種 ◎RB種 ◎RC種 鉄鋼面 ◎RA種 ◎RB種 ◎RC種 垂れめつき面 ◎RA種 ◎RB種 垂れめつき面（鋼製建具） ◎RB種 ◎RC種 モルタル、プラスター面 ◎RA種 ◎RB種 ◎RC種 コンクリート、ALCパネル面 ◎RA種 ◎RB種 ◎RC種 せつこうボード、その他のボード面 ◎RA種 ◎RB種 ◎RC種 既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 ◎行わない ◎行う（補修範囲及び補修方法は図示）</p> <p>◎ 仕上げの塗料塗り 下地面等 塗料 工法 鉄鋼面 EP-G以外 塗替え A種 ◎C種 新規鉄鋼面見え掛り A種 ◎A種 新規見え隠れ A種 ◎B種 EP-G 塗替え B種 ◎C種 新規鉄鋼面見え掛り B種 ◎A種 新規見え隠れ B種 ◎B種 垂れめつき面 EP-G以外 塗替え ◎A種 ◎C種 新規鉄鋼面見え掛り ◎A種 ◎A種 EP-G 塗替え C種 ◎C種 新規鉄鋼面見え掛り C種 ◎A種</p> <p>4 塗装塗り（7.4.2～7）（表7.4.1～7.15.1） 塗料の種類 塗装面 工法 水性ウレタン樹脂塗 木部 2液形 4回塗り 1回の塗付量0.06kg/m² 料塗り ホルムアルデヒド放散量F☆☆☆☆ 合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ◎1種</p> <p>◎ 表示 衝突防止表示 ◎ 図示（市販品ステンレス製 径約：30mm）（標仕20.2.10） （ ・ 両面 ・ 片面 ） ・ 無し 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。 表示標識は図示による。ただし、案内用図記号はJIS Z 8210による。 製造所：監督職員の承諾する製造所</p> <p>36 ブラインド ・ 既存再使用する（養生方法：）（2.3.1）（5.1.6） ◎ 新設する（標仕20.2.12） 形式 種類 スラットの材質 スラットの幅（mm） ・ 構造 ◎ 4'7式 ◎ 3'0式 ◎ アルミニウム合金製 ◎ 25 ◎ 35 ・ 操作式 ◎ 1本操作3'0' ◎ アルミスラット ◎ 2本操作3'0' ◎ クロススラット ◎ 80 ◎ 100</p>

項目	特記事項																																						
5-6 外壁 改修 工事 2 ひび割れ部 改修 工事	<p>防火性能 ◎ 有り 製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する（標仕20.2.13） 施工箇所 装置 性能 備考 電動 手引 (防炎性能) ・ 既存再使用する（養生方法：）（2.3.1）（5.1.6） ◎ 新設する（標仕20.2.14） 施工箇所 形式 閉鎖装置 ひだの種類 品質等 片引 引分 電動 ひも 手引 ・ 既存再使用する（5.1.6） ◎ 新設する 材質 ・ アルミニウム製 ◎ ステンレス製（標仕20.2.14） 形式 ◎ 片引き ・ 引分け（暗幕用は300mm以上の召寄せの重掛けとする）</p> <p>40 ブラインドボックス及びカーテンボックス ・ 既存再使用する（5.1.6） ◎ 新設する 材質（アルミニウム製 押出し型材） 溝幅×深さ（mm） ◎ 90×150 ◎ 120×80 ◎ 120×150 ◎ 150×80 色 ◎ B-1 ◎ B-2（◎ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） ・ 図示 材質 アルミニウム製（◎縦線タイプ ・目地タイプ） 材質 アルミニウム製（受け枠 ◎アルミ製 ・ステンレス製） 市販品 材質 ・塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠） ・ 硬質アルミニウム製（受枠とも） ・ ビニル製（ステンレス製受枠） ・ ステンレス製（受枠とも）</p> <p>公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.15） 種類、形状、寸法（内法）、材質（ ） 公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.16） 種類 ◎ 1型 ・ II型 ◎ 1型 ・ II型 ◎ 1型 ・ II型 流し台、調理台、ｺﾝﾏﾝﾄ、吊り戸棚等の形状、寸法 ◎ 設計図による カウンタートップ及びシンクの材質 ◎ ステンレス 付属部品 ◎ 水切り棚 公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.17） 形状・観型 ◎ 横型 寸法（ ） × （ ） 個数（ ）個 材質 ◎ ステンレス 公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.18）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>支柱間隔、高さ等</th> <th>支持方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">墜落防止手すり</td> <td rowspan="2">・ 廊下用</td> <td rowspan="2">・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS</td> <td rowspan="2">・ 手すり子 ・ 目隠しパネ</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td>・ 床支持</td> </tr> <tr> <td>・ 壁支持 ・ 方立て支持</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">すり</td> <td rowspan="2">・ 廊下用</td> <td rowspan="2">・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS</td> <td rowspan="2">・ 手すり子 ・ 目隠しパネ</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td>・ 床支持</td> </tr> <tr> <td>・ 壁支持 ・ 方立て支持</td> </tr> </tbody> </table> <p>公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎ 廊下階段手すり</td> <td>◎ 合成樹脂被覆F&E手すり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ 補助手すり</td> <td>・ 樹脂被覆SFR&LS手すり ・ 集成材F&E手すり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	種類	材質	形状	寸法	支柱間隔、高さ等	支持方法	墜落防止手すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持	・ 壁支持 ・ 方立て支持	すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持	・ 壁支持 ・ 方立て支持	名称	材質	形状	寸法	設置場所	◎ 廊下階段手すり	◎ 合成樹脂被覆F&E手すり				◎ 補助手すり	・ 樹脂被覆SFR&LS手すり ・ 集成材F&E手すり			
名称	種類	材質	形状	寸法	支柱間隔、高さ等	支持方法																																	
墜落防止手すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持																																	
						・ 壁支持 ・ 方立て支持																																	
すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持																																	
						・ 壁支持 ・ 方立て支持																																	
名称	材質	形状	寸法	設置場所																																			
◎ 廊下階段手すり	◎ 合成樹脂被覆F&E手すり																																						
◎ 補助手すり	・ 樹脂被覆SFR&LS手すり ・ 集成材F&E手すり																																						

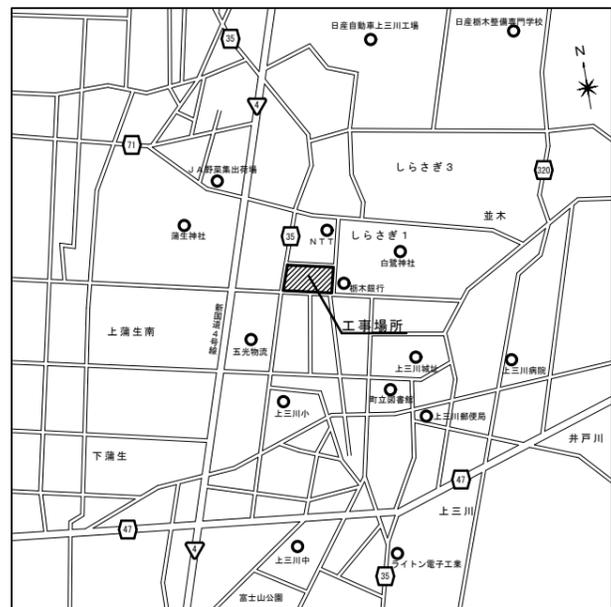
項目	特記事項																																						
5-7 外壁 改修 工事 2 ひび割れ部 改修 工事	<p>40 ブラインドボックス及びカーテンボックス ・ 既存再使用する（5.1.6） ◎ 新設する 材質（アルミニウム製 押出し型材） 溝幅×深さ（mm） ◎ 90×150 ◎ 120×80 ◎ 120×150 ◎ 150×80 色 ◎ B-1 ◎ B-2（◎ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） ・ 図示 材質 アルミニウム製（◎縦線タイプ ・目地タイプ） 材質 アルミニウム製（受け枠 ◎アルミ製 ・ステンレス製） 市販品 材質 ・塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠） ・ 硬質アルミニウム製（受枠とも） ・ ビニル製（ステンレス製受枠） ・ ステンレス製（受枠とも）</p> <p>公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.15） 種類、形状、寸法（内法）、材質（ ） 公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.16） 種類 ◎ 1型 ・ II型 ◎ 1型 ・ II型 ◎ 1型 ・ II型 流し台、調理台、ｺﾝﾏﾝﾄ、吊り戸棚等の形状、寸法 ◎ 設計図による カウンタートップ及びシンクの材質 ◎ ステンレス 付属部品 ◎ 水切り棚 公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.17） 形状・観型 ◎ 横型 寸法（ ） × （ ） 個数（ ）個 材質 ◎ ステンレス 公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.18）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>支柱間隔、高さ等</th> <th>支持方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">墜落防止手すり</td> <td rowspan="2">・ 廊下用</td> <td rowspan="2">・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS</td> <td rowspan="2">・ 手すり子 ・ 目隠しパネ</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td>・ 床支持</td> </tr> <tr> <td>・ 壁支持 ・ 方立て支持</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">すり</td> <td rowspan="2">・ 廊下用</td> <td rowspan="2">・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS</td> <td rowspan="2">・ 手すり子 ・ 目隠しパネ</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td>・ 床支持</td> </tr> <tr> <td>・ 壁支持 ・ 方立て支持</td> </tr> </tbody> </table> <p>公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎ 廊下階段手すり</td> <td>◎ 合成樹脂被覆F&E手すり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ 補助手すり</td> <td>・ 樹脂被覆SFR&LS手すり ・ 集成材F&E手すり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	種類	材質	形状	寸法	支柱間隔、高さ等	支持方法	墜落防止手すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持	・ 壁支持 ・ 方立て支持	すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持	・ 壁支持 ・ 方立て支持	名称	材質	形状	寸法	設置場所	◎ 廊下階段手すり	◎ 合成樹脂被覆F&E手すり				◎ 補助手すり	・ 樹脂被覆SFR&LS手すり ・ 集成材F&E手すり			
名称	種類	材質	形状	寸法	支柱間隔、高さ等	支持方法																																	
墜落防止手すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持																																	
						・ 壁支持 ・ 方立て支持																																	
すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持																																	
						・ 壁支持 ・ 方立て支持																																	
名称	材質	形状	寸法	設置場所																																			
◎ 廊下階段手すり	◎ 合成樹脂被覆F&E手すり																																						
◎ 補助手すり	・ 樹脂被覆SFR&LS手すり ・ 集成材F&E手すり																																						

項目	特記事項																																						
5-8 外壁 改修 工事 2 ひび割れ部 改修 工事	<p>40 ブラインドボックス及びカーテンボックス ・ 既存再使用する（5.1.6） ◎ 新設する 材質（アルミニウム製 押出し型材） 溝幅×深さ（mm） ◎ 90×150 ◎ 120×80 ◎ 120×150 ◎ 150×80 色 ◎ B-1 ◎ B-2（◎ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） ・ 図示 材質 アルミニウム製（◎縦線タイプ ・目地タイプ） 材質 アルミニウム製（受け枠 ◎アルミ製 ・ステンレス製） 市販品 材質 ・塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠） ・ 硬質アルミニウム製（受枠とも） ・ ビニル製（ステンレス製受枠） ・ ステンレス製（受枠とも）</p> <p>公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.15） 種類、形状、寸法（内法）、材質（ ） 公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.16） 種類 ◎ 1型 ・ II型 ◎ 1型 ・ II型 ◎ 1型 ・ II型 流し台、調理台、ｺﾝﾏﾝﾄ、吊り戸棚等の形状、寸法 ◎ 設計図による カウンタートップ及びシンクの材質 ◎ ステンレス 付属部品 ◎ 水切り棚 公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.17） 形状・観型 ◎ 横型 寸法（ ） × （ ） 個数（ ）個 材質 ◎ ステンレス 公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.18）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>支柱間隔、高さ等</th> <th>支持方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">墜落防止手すり</td> <td rowspan="2">・ 廊下用</td> <td rowspan="2">・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS</td> <td rowspan="2">・ 手すり子 ・ 目隠しパネ</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td>・ 床支持</td> </tr> <tr> <td>・ 壁支持 ・ 方立て支持</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">すり</td> <td rowspan="2">・ 廊下用</td> <td rowspan="2">・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS</td> <td rowspan="2">・ 手すり子 ・ 目隠しパネ</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td rowspan="2">◎ 設計図による</td> <td>・ 床支持</td> </tr> <tr> <td>・ 壁支持 ・ 方立て支持</td> </tr> </tbody> </table> <p>公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による）（公住仕20.2.19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎ 廊下階段手すり</td> <td>◎ 合成樹脂被覆F&E手すり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ 補助手すり</td> <td>・ 樹脂被覆SFR&LS手すり ・ 集成材F&E手すり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	種類	材質	形状	寸法	支柱間隔、高さ等	支持方法	墜落防止手すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持	・ 壁支持 ・ 方立て支持	すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持	・ 壁支持 ・ 方立て支持	名称	材質	形状	寸法	設置場所	◎ 廊下階段手すり	◎ 合成樹脂被覆F&E手すり				◎ 補助手すり	・ 樹脂被覆SFR&LS手すり ・ 集成材F&E手すり			
名称	種類	材質	形状	寸法	支柱間隔、高さ等	支持方法																																	
墜落防止手すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持																																	
						・ 壁支持 ・ 方立て支持																																	
すり	・ 廊下用	・ F&E ・ SFR&L ・ SFR&LS	・ 手すり子 ・ 目隠しパネ	◎ 設計図による	◎ 設計図による	・ 床支持																																	
						・ 壁支持 ・ 方立て支持																																	
名称	材質	形状	寸法	設置場所																																			
◎ 廊下階段手すり	◎ 合成樹脂被覆F&E手すり																																						
◎ 補助手すり	・ 樹脂被覆SFR&LS手すり ・ 集成材F&E手すり																																						



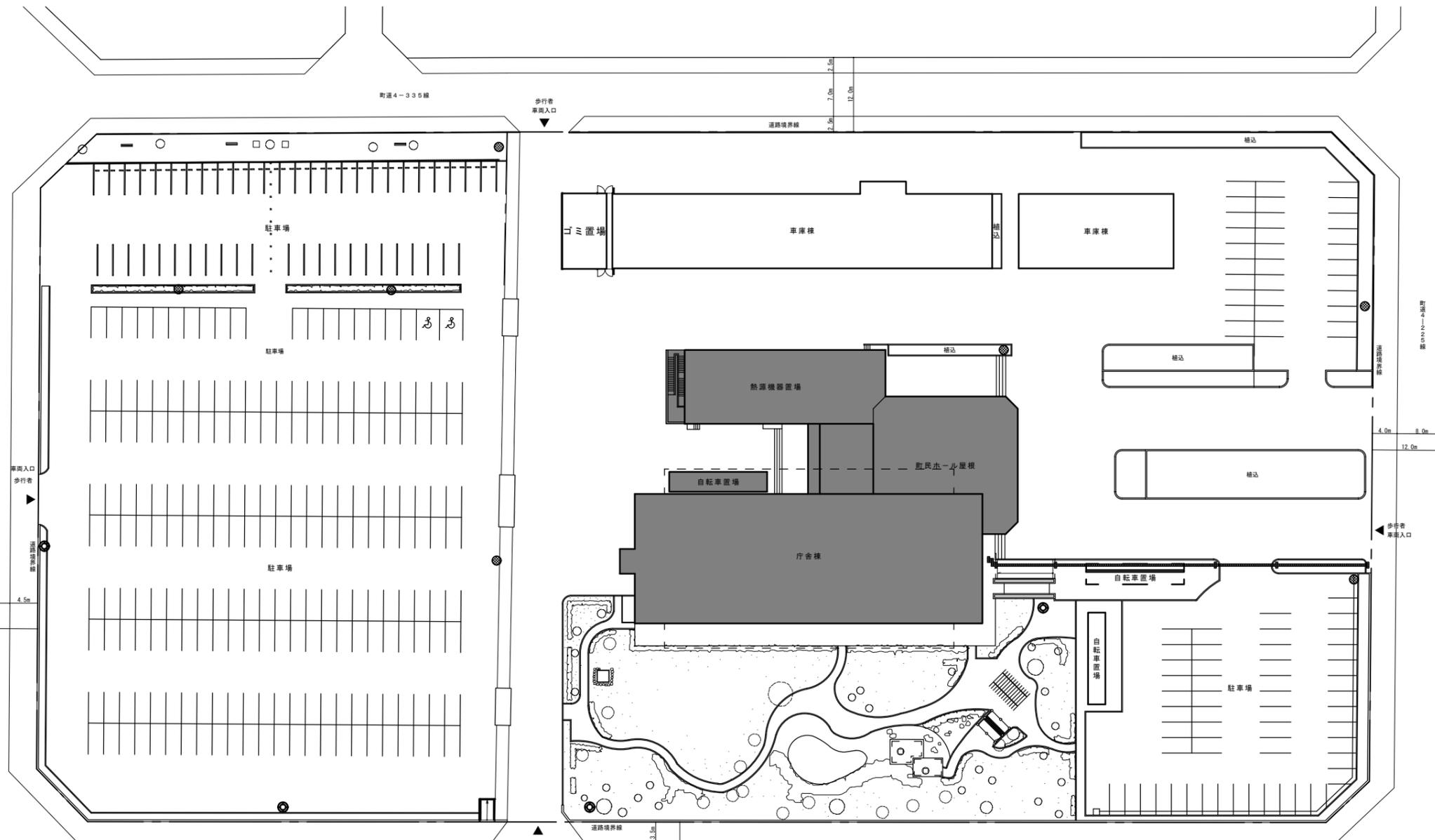
工事内容		
工事種別	工事場所	改修概要
仮設工事	厚生棟 北東西面 町民ホール 北東西面 庁舎棟 北西面 厚生棟 北東西面 町民ホール 北東西面 庁舎棟 東面 庇天井部 庁舎棟 北西面 庁舎棟 委員会室下部天井面	・養生、清掃 ・養生、清掃 ・養生、清掃 ・外部足場 くさび式足場 ・外部足場 くさび式足場 ・外部足場 棚足場 ・外部足場 枠組足場 ・外部足場 棚足場
外壁改修	庁舎棟 北面、町民ホール、厚生棟 庁舎棟 北面、町民ホール、厚生棟 庁舎棟 北面、町民ホール、厚生棟 庁舎棟 北面、町民ホール、厚生棟 庁舎棟 北面、町民ホール、厚生棟 庁舎棟 北面 小窓部 庁舎棟 委員会室下面 熱源機器置場 外壁 熱源機器置場 SD	・外壁面事前調査 ・タイルクリーニング 薬剤洗浄(クリストン洗浄程度) ・タイル浮き補修 アンカーヒンキング工法 ・タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法 ・タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品 ・外壁目地コーキング(変成シリコン系) 打替工法 ・窓廻りコーキング(変成シリコン系) 打替工法(小窓のみ) ・天井面タイル補修 ネットパリアー工法(アクリルシリコン樹脂エマルジョン) ・吹付タイル 防水形複層塗材E ・2液形ホリウレタンエマル系塗り
アルミパネル外壁改修	庁舎棟 北面 庁舎棟 北面 庁舎棟 北面 小窓部 庁舎棟 北面 アルミパネル上部 庁舎棟 北面 アルミパネル側面下部	・アルミパネル クリーニング 薬剤洗浄(クリストン洗浄程度) ・目地コーキング(変成シリコン系) 打替工法 ・窓廻りコーキング(変成シリコン系) 打替工法 ・塗布防水 アトメイズ JS-Mサ-モ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品 ・腐食変形補修 保護塗膜塗り アトメイズシリコン塗り 同等品
防水改修	町民ホール 屋根 職員会議室 屋根 熱源機器置場 屋根 町民ホール 厚生棟	・既存残し アトメイズ JS-Sサ-モ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品 ・既存残し アトメイズ JS-Sサ-モ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品 ・既存残し 超速硬化ウレタン防水 ・雨樋 新設
建具改修	庁舎棟 北面・西面、町民ホール、厚生棟 庁舎棟 北面・西面、町民ホール、厚生棟 庁舎棟 北面・西面、町民ホール、厚生棟 庁舎棟 北面・西面、町民ホール、厚生棟 庁舎棟 北面・西面、町民ホール、厚生棟 庁舎棟 北面・西面、町民ホール、厚生棟	・ブラインド撤去 ・ガラス撤去 ・建具撤去(外枠を除く) ・建具取付(カバー工法) ・ガラス取付 ・ブラインド取付
西側駐輪場改修	西側駐輪場 外壁 西側駐輪場 屋根 西側駐輪場 屋根(ポンベ置場) 西側駐輪場 軒天(タイル) 西側駐輪場 軒天(コンクリート) 西側駐輪場 床 雨樋 掲示板	・既存の上、高圧水洗浄後、防水形複層塗材E ゆず肌仕上 ・既存の上、アトメイズ JS-Aサ-モ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品 ・スレート瓦取替 ・既存の上、高圧水洗浄後、外装薄塗り塗装E ・既存の上、アトメイズ JS-Aサ-モ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品 ・既存の上、高圧水洗浄 ・既存の上、2液形ホリウレタンエマル系塗り 錆止め共 支持金物ステンレス ・撤去・新設
スロープ設置工事	外部 階段 外部 床 外部 基礎 スロープ・踊り場 床 スロープ・踊り場 基礎・壁 手すり	・防滑外床用タイル150×150 ・防滑外床用タイル150×150 ・モルタル塗り 厚20 ・モルタル刷毛引き ・モルタル塗り 厚20 ・SUS304製

※詳細はスロープ設置工事仕上表を参照の事



工事場所在地：栃木県河内郡上三川町しらさぎ1-1

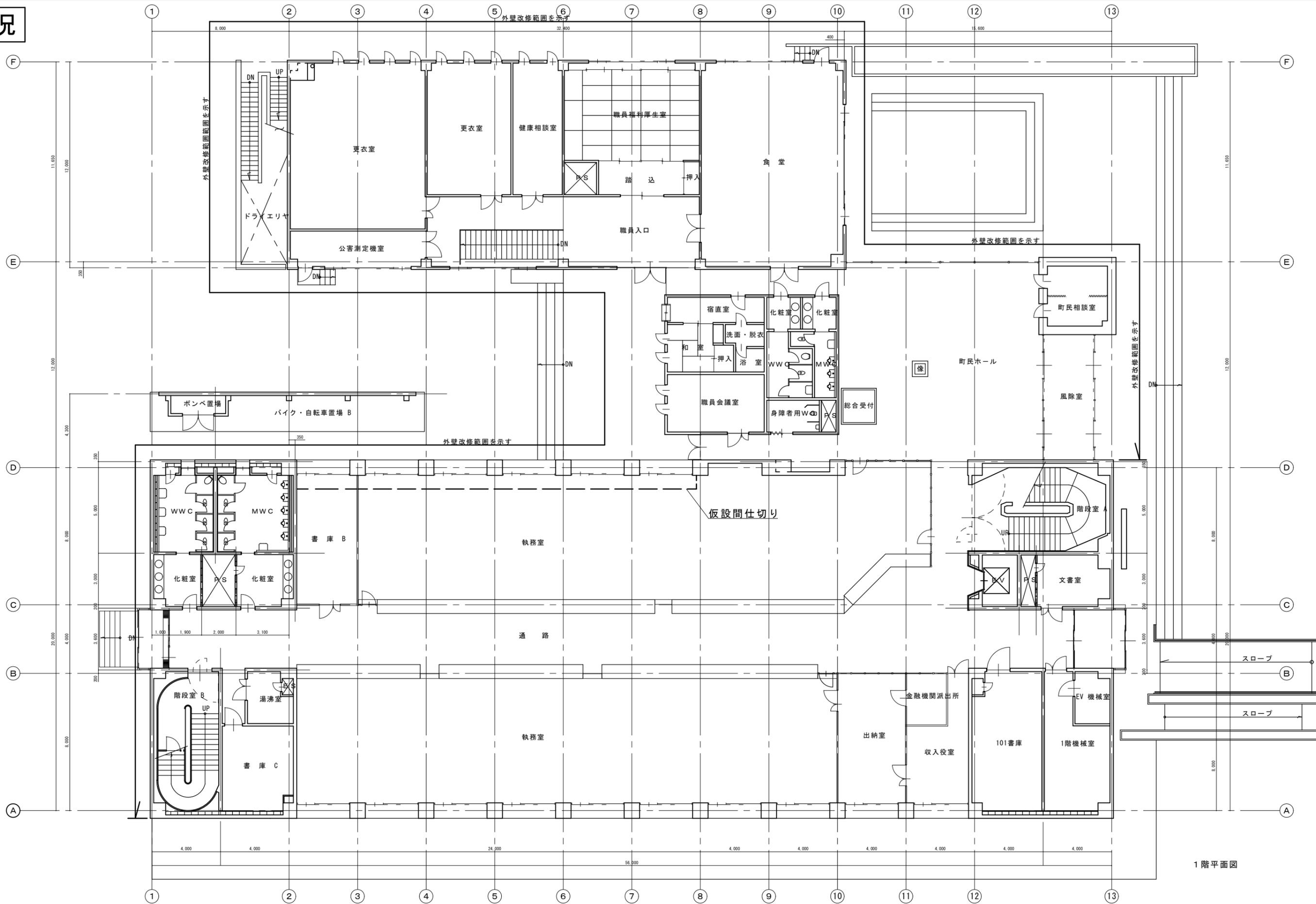
案内図



配置図

... 改修範囲を示す

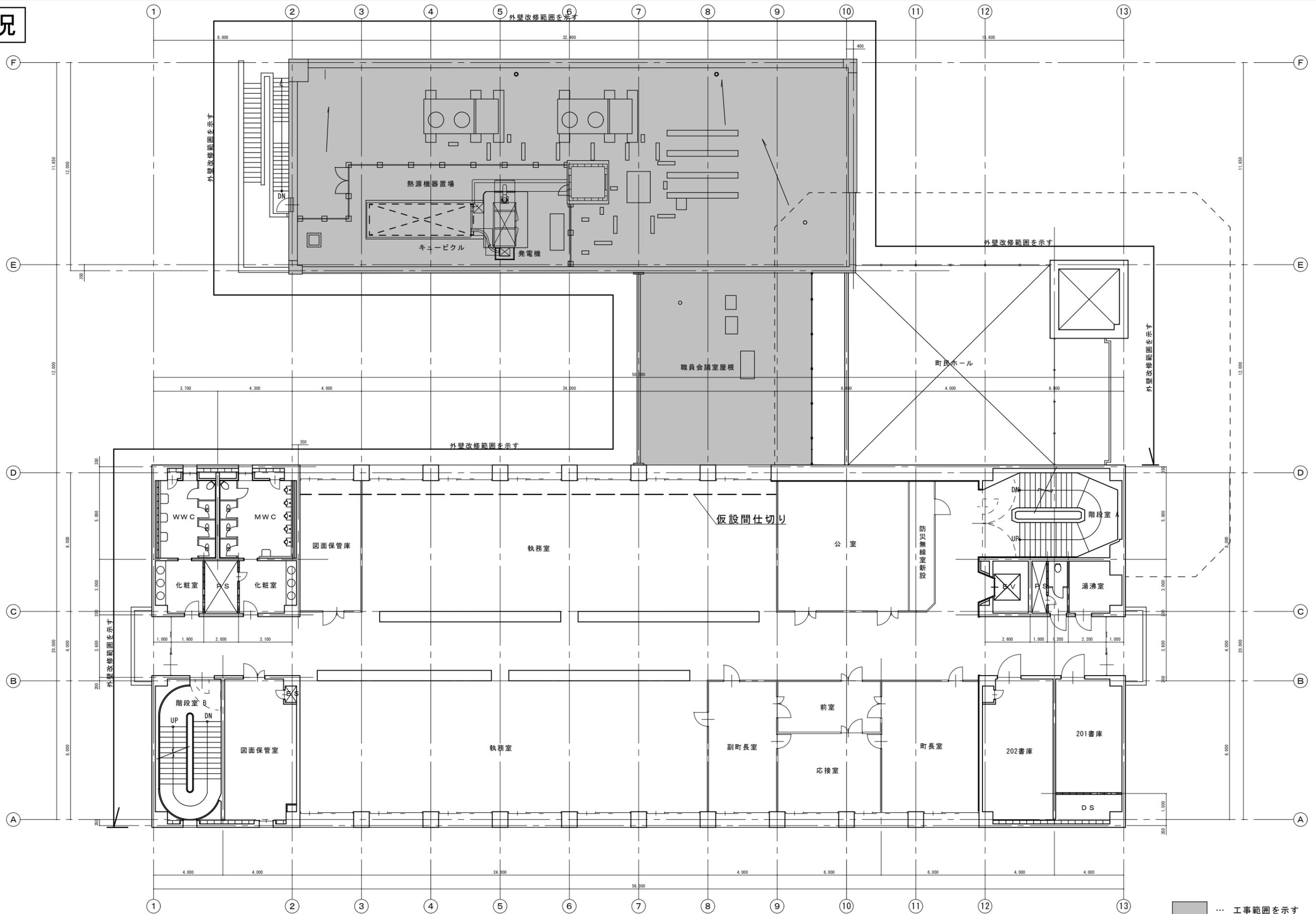
現況



1階平面図

CHECK

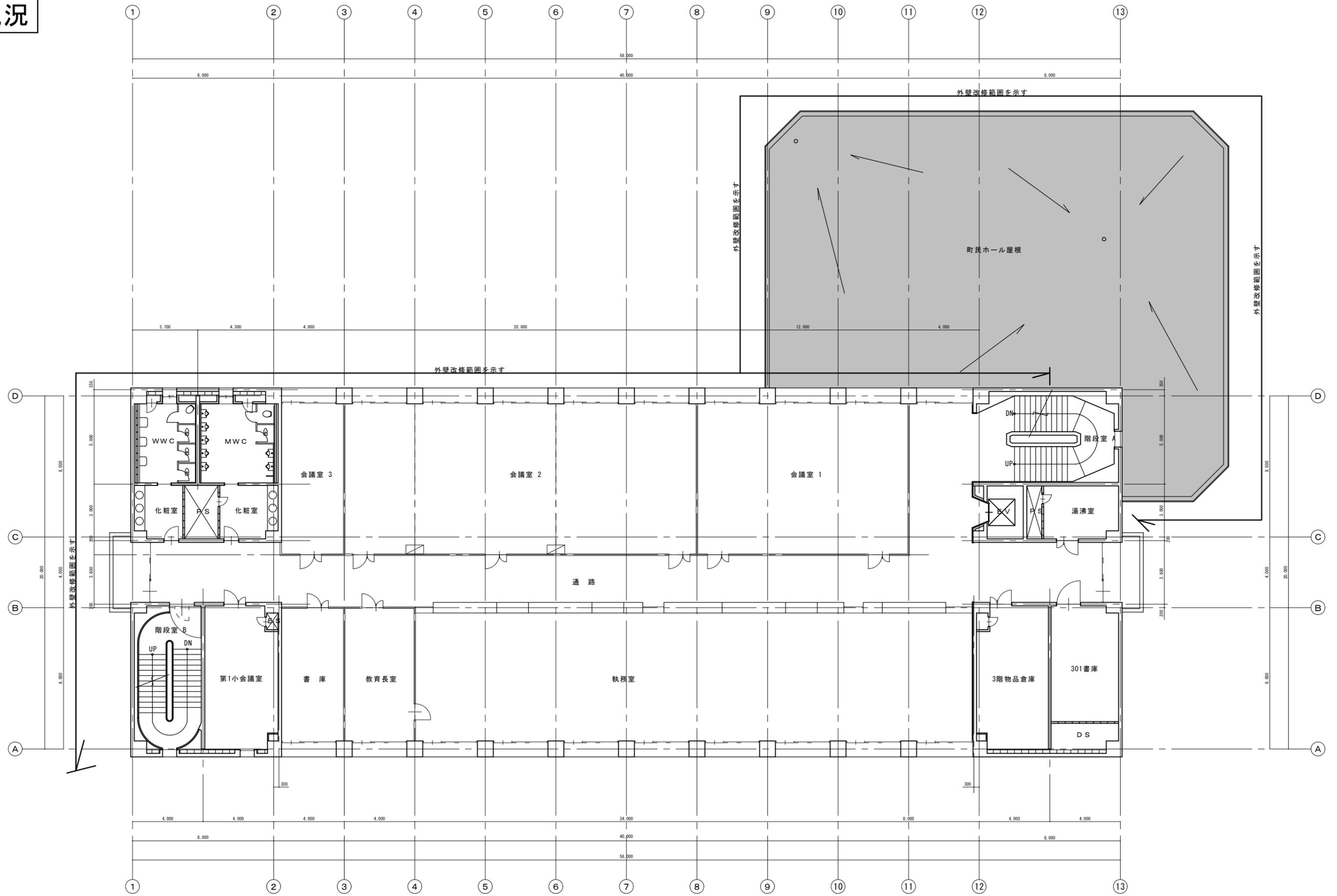
現況



... 工事範囲を示す

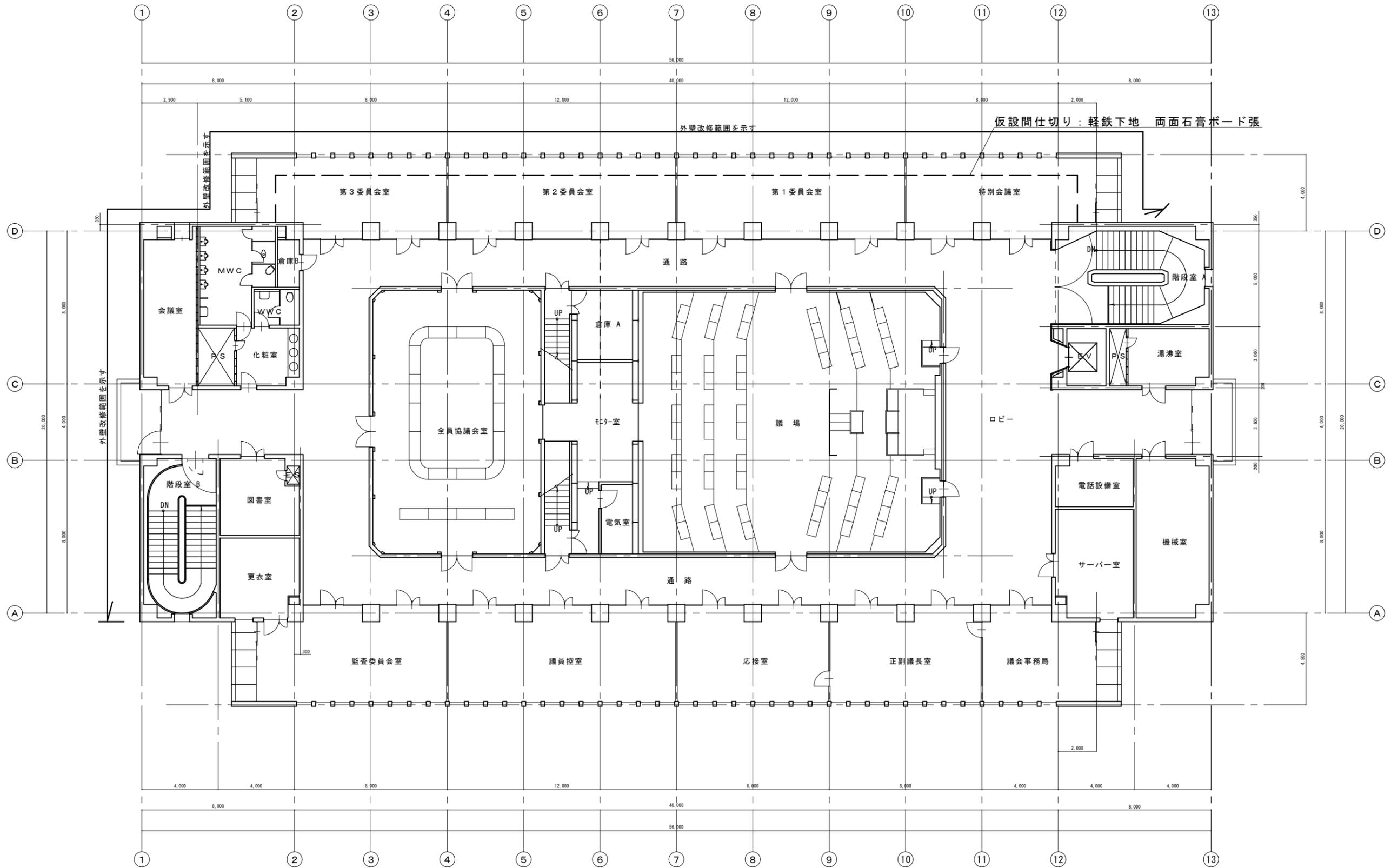
CHECK

現況

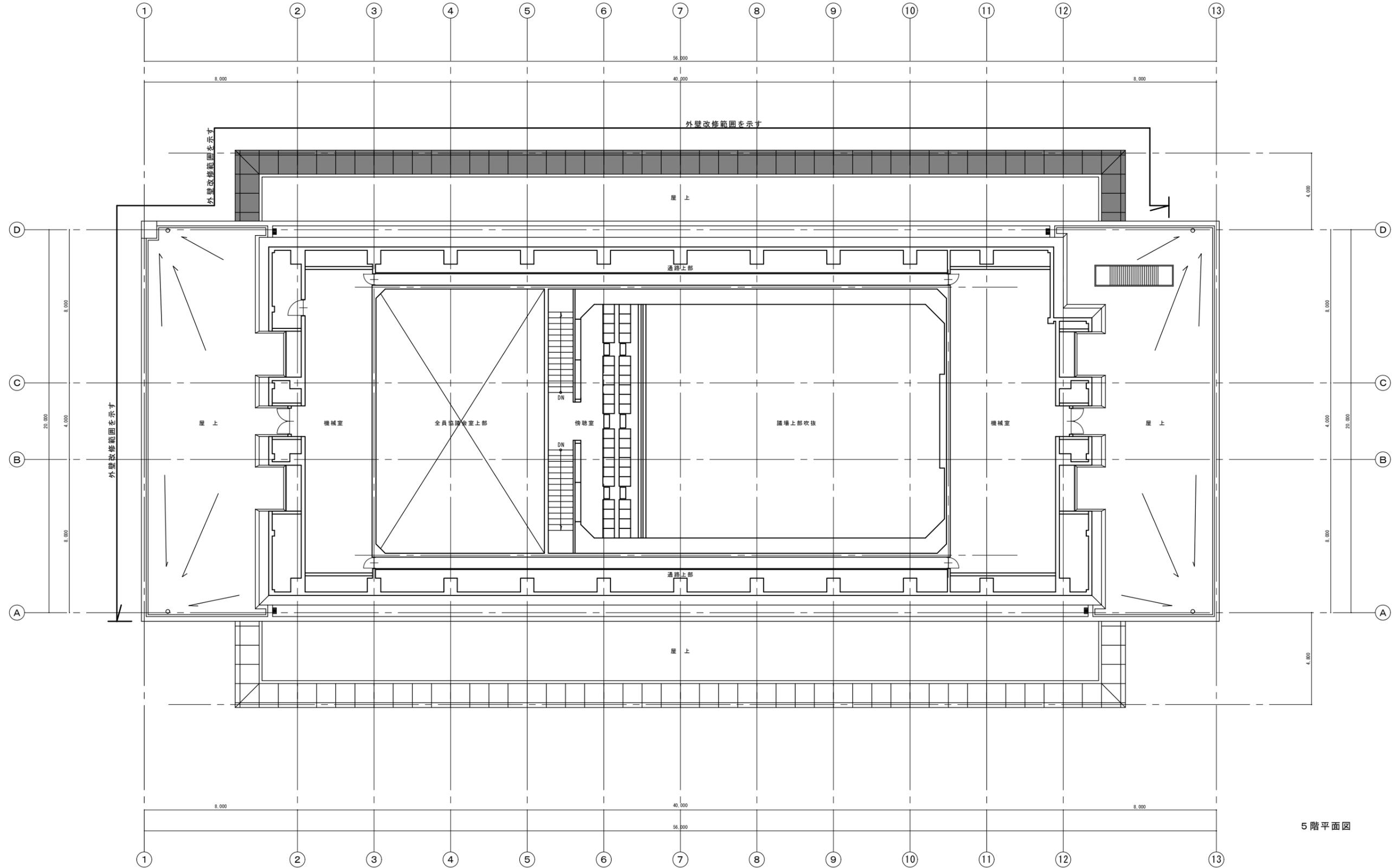


... 工事範囲を示す

現況



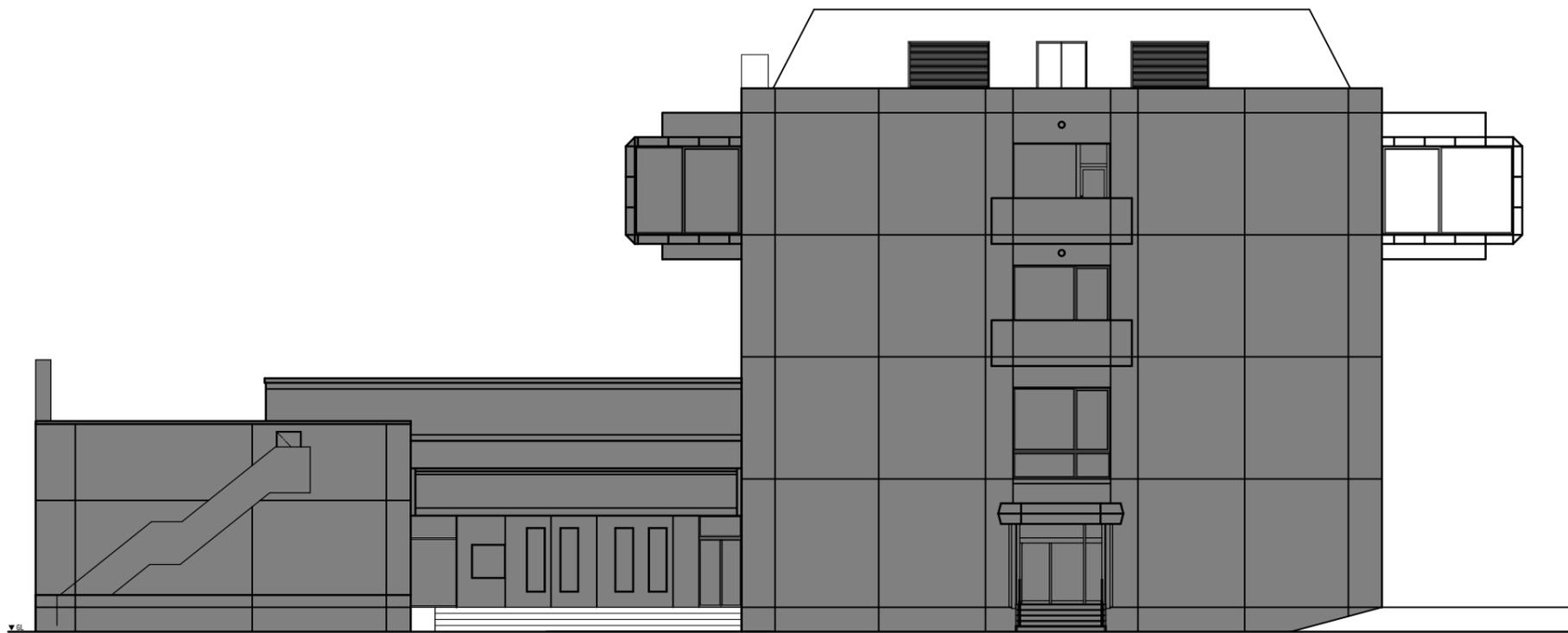
現況



5階平面図

... 工事範囲を示す

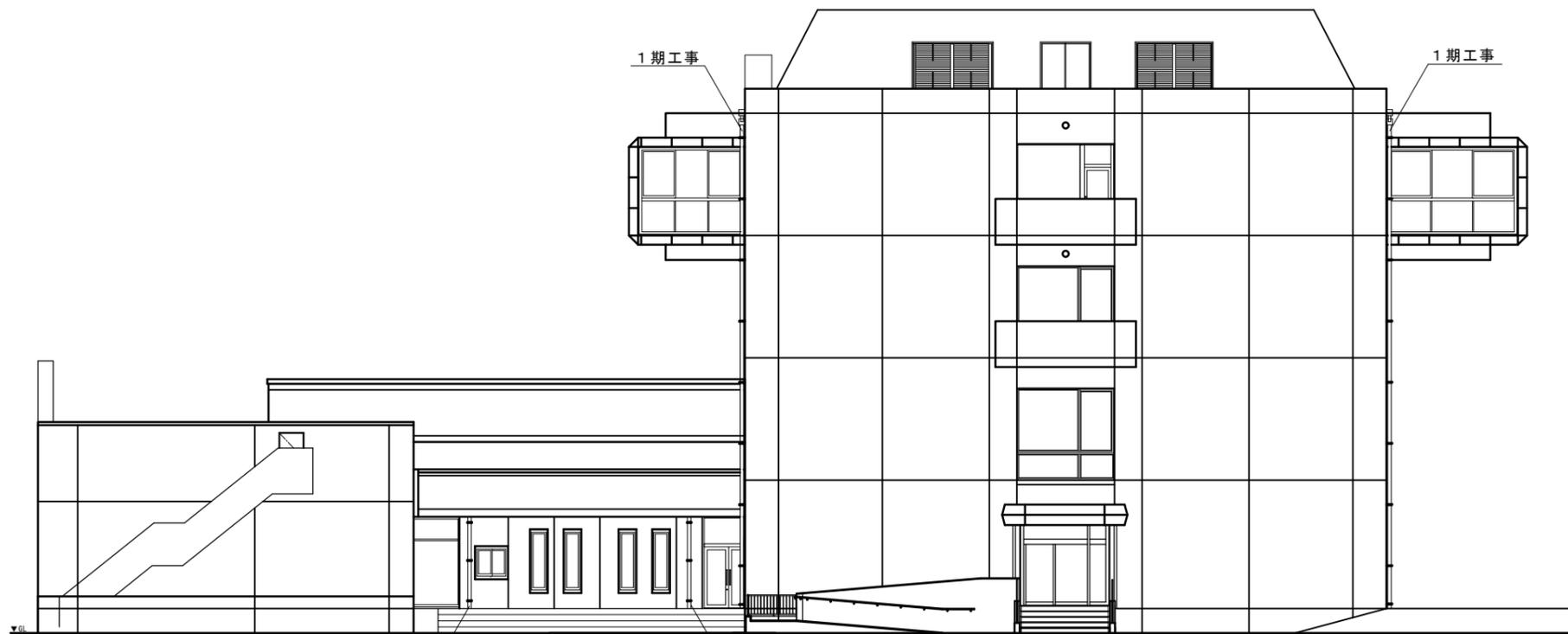
現況



西面立面図

... 工事範囲を示す

改修



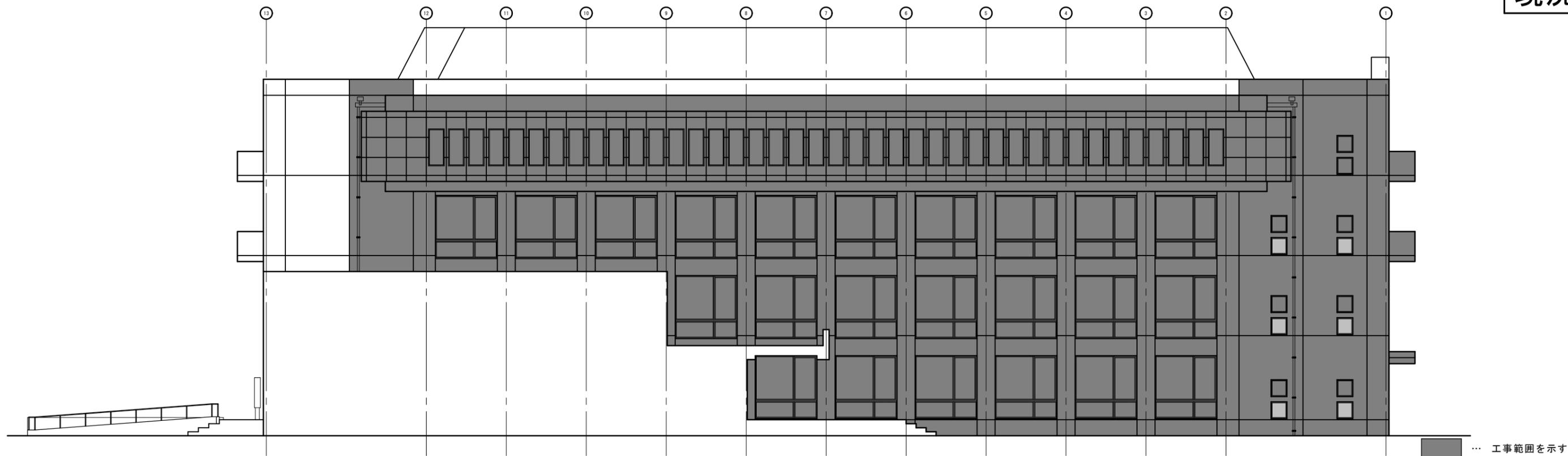
新設：アルミニウム雨樋 114φ

新設：アルミニウム雨樋 114φ

西面立面図

※改修範囲は各図面参照
・建具 キープラン図
・外壁 外壁改修立面図

現況



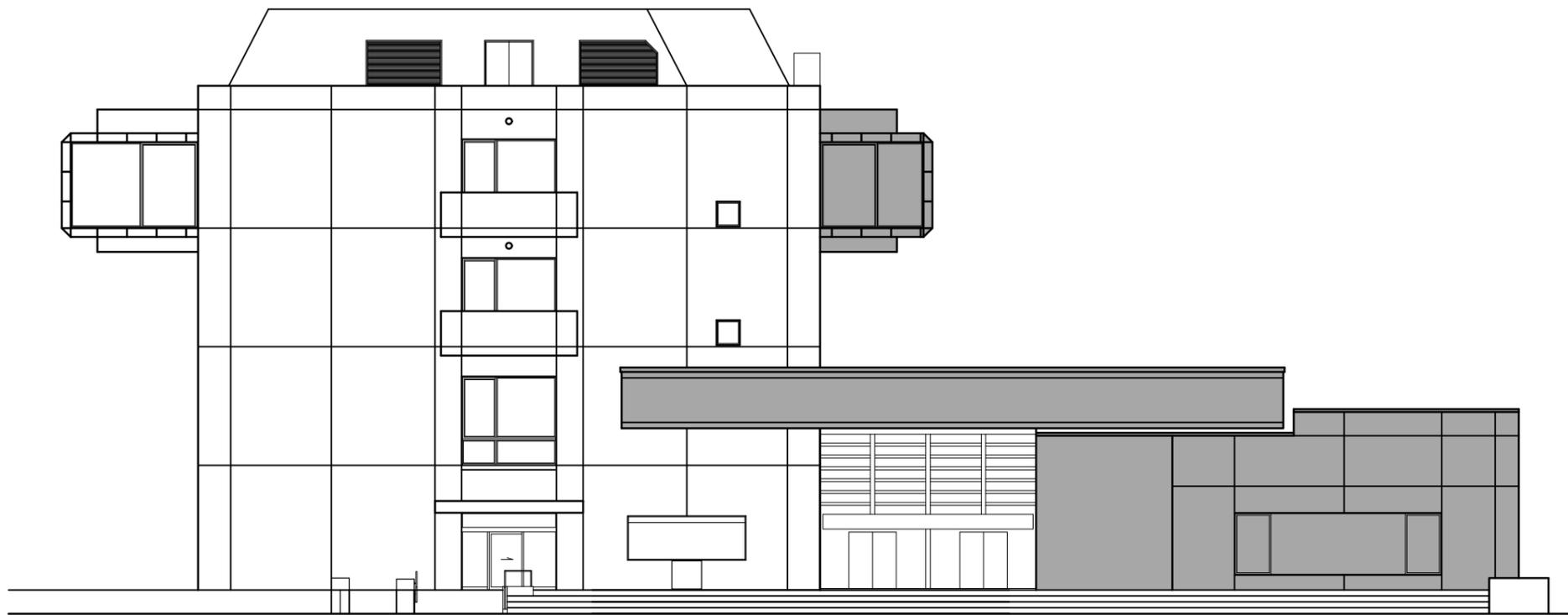
北面立面図

改修



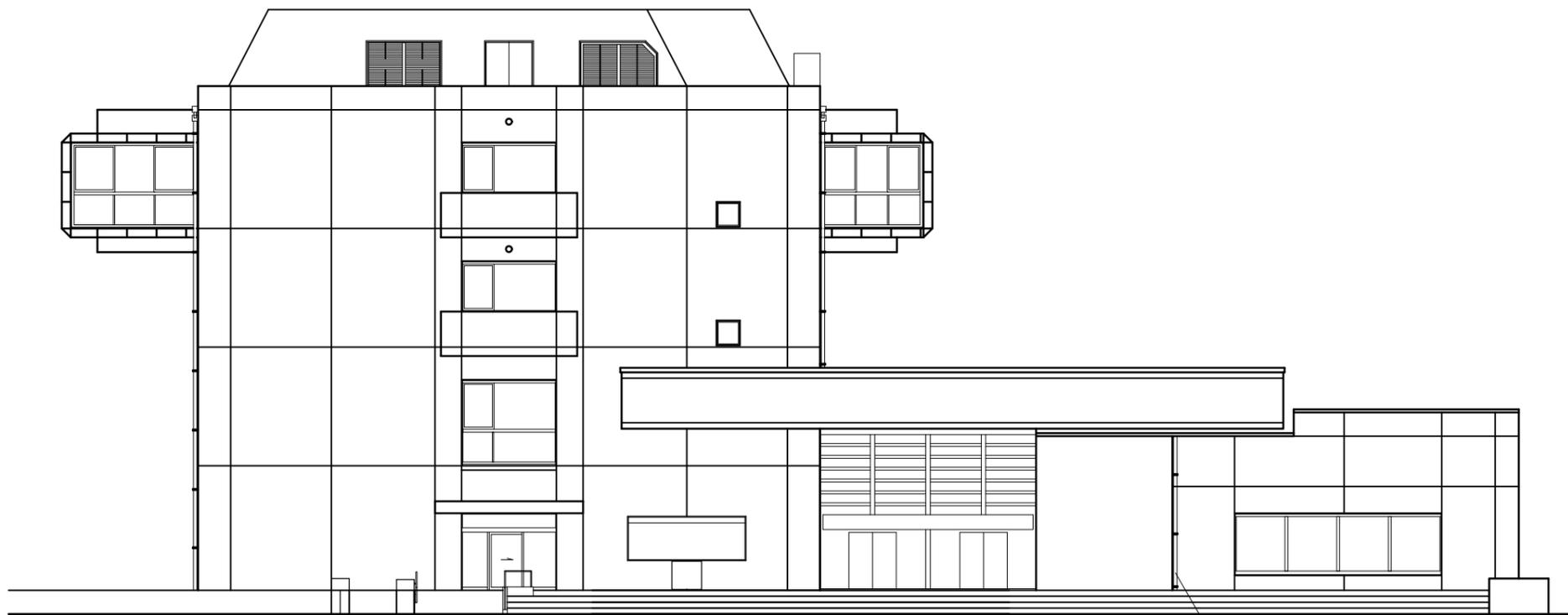
北面立面図

※改修範囲は各図面参照
 ・建具 キープラン図
 ・外壁 外壁改修立面図



東面立面図

■ … 工事範囲を示す



東面立面図

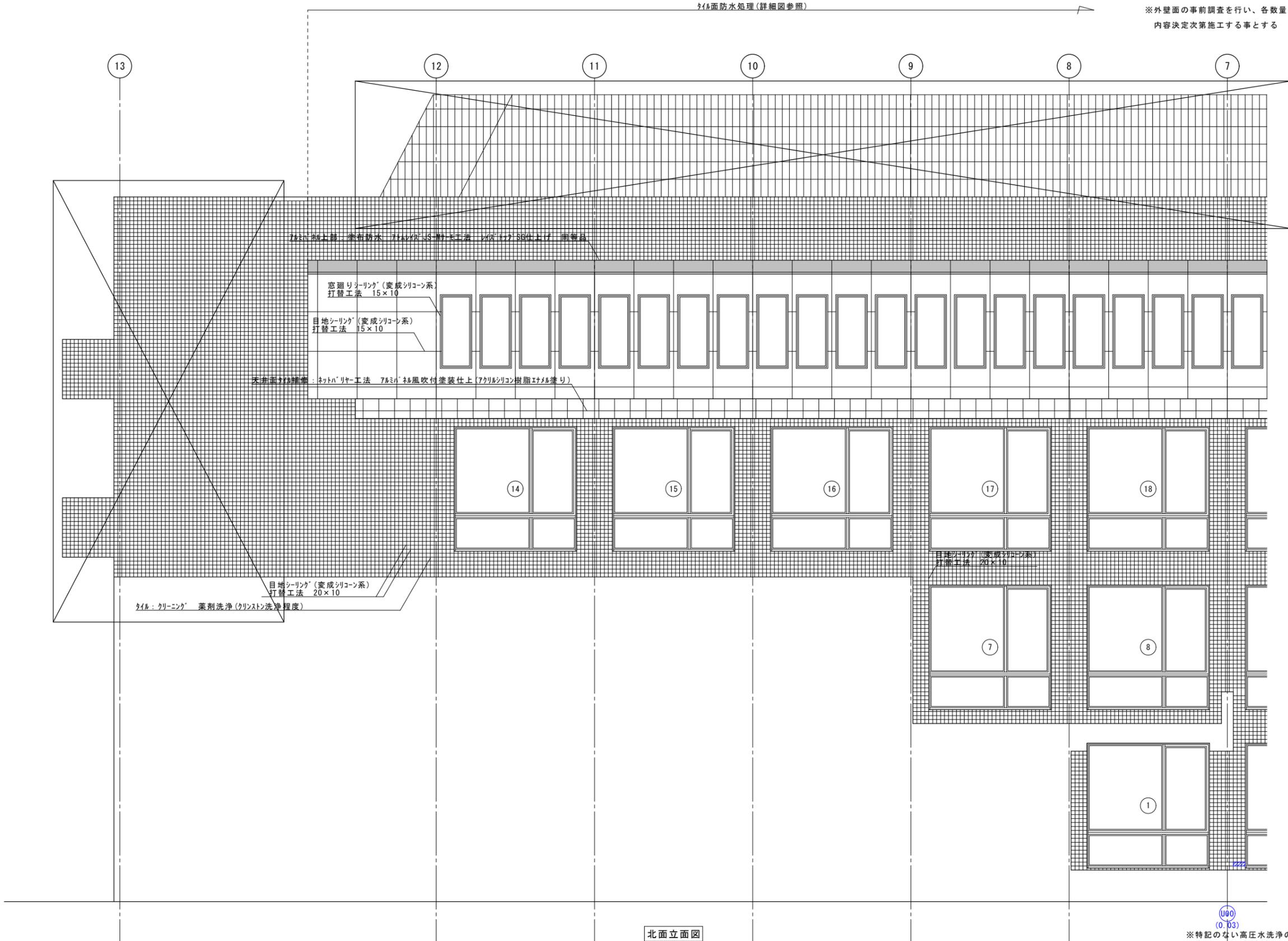
新設: アルミニウム雨樋 114φ

※改修範囲は各図面参照
 ・建具 キープラン図
 ・外壁 外壁改修立面図

改修

調査事項	備考	単位	凡例	改修方法
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)	タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)	タイル浮き補修 アンカボンド工法
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)	タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする

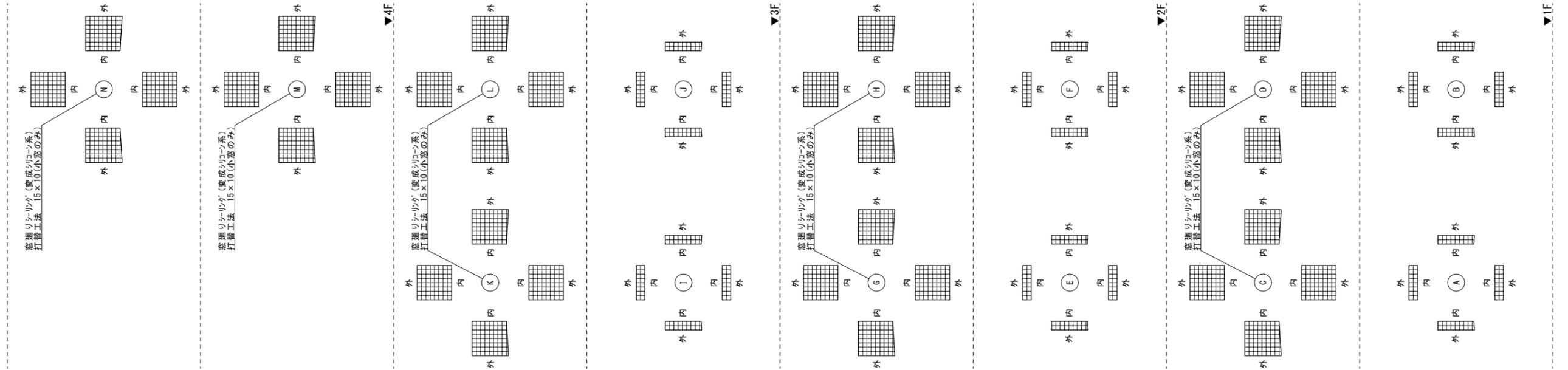
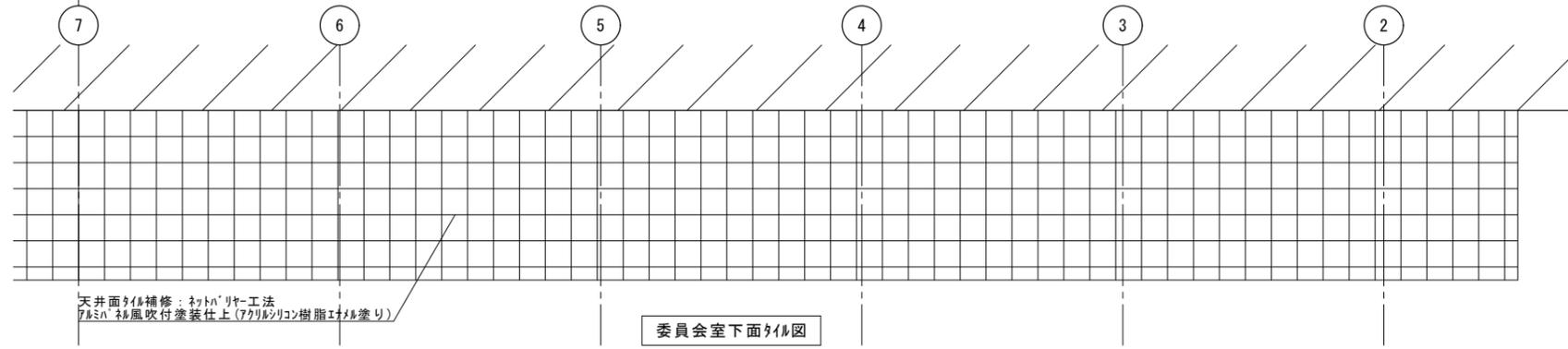
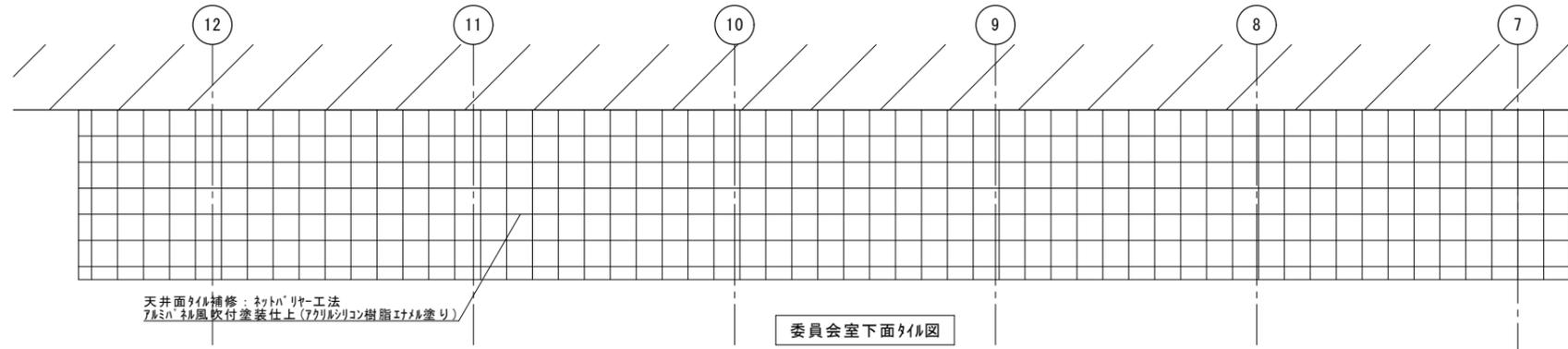


※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする
 ※窓廻りシーリング(変成シリコン系) 打替工法 15×10
 ※タイル目地: 薬剤洗浄(クリンストーン洗浄程度)

改修

調査事項	備考	単位	凡例	改修方法
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)	タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)	タイル浮き補修 アンカボンド工法
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)	タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする

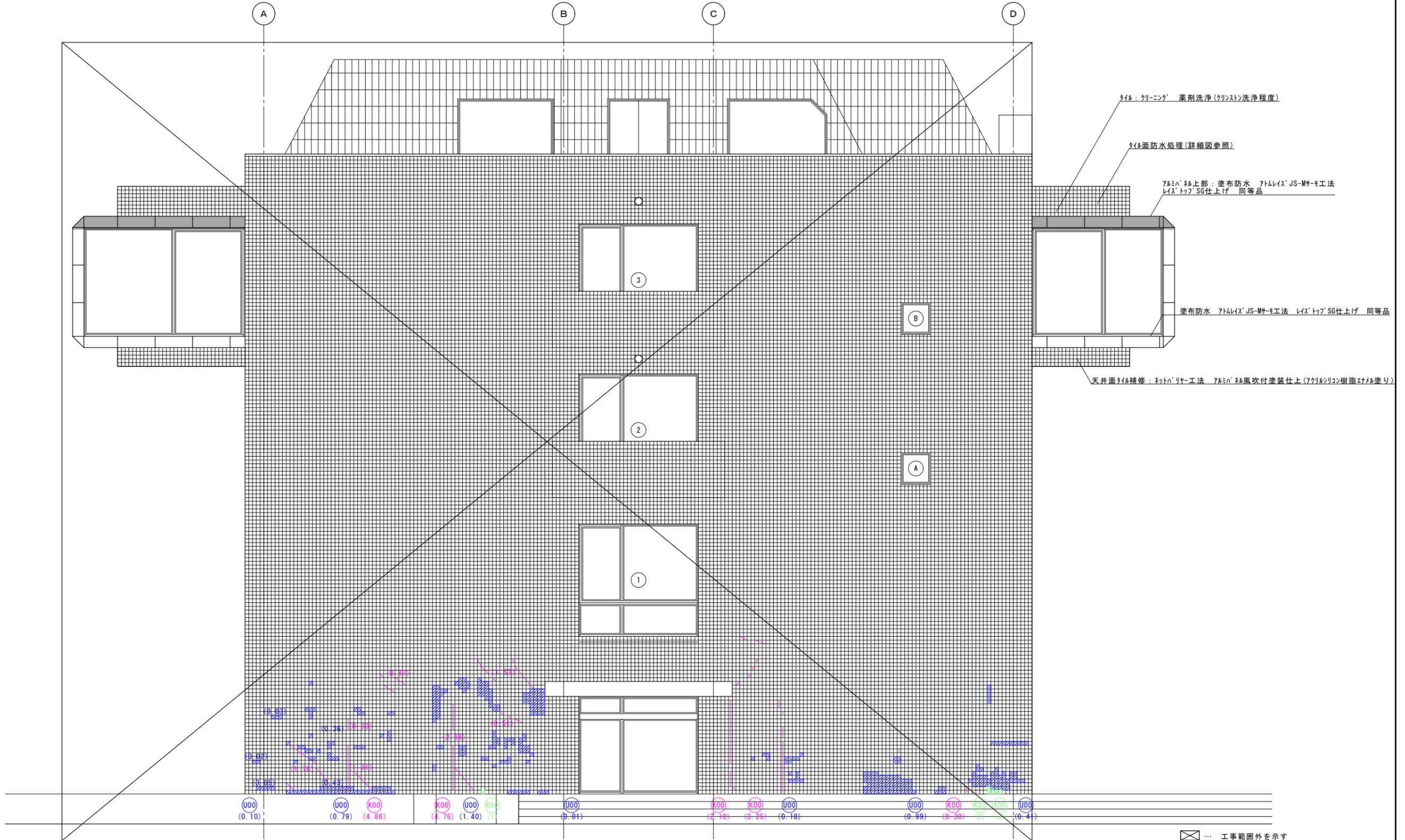


※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする
 ※窓廻りシーリング(変成シリコン系) 打替工法 15x10
 ※タイル目地: 薬剤洗浄(クリンスト洗浄程度)

改修

調査事項	備考	単位	凡例	改修方法
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)	タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)	タイル浮き補修 アンカボンド工法
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)	タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする



東面立面図

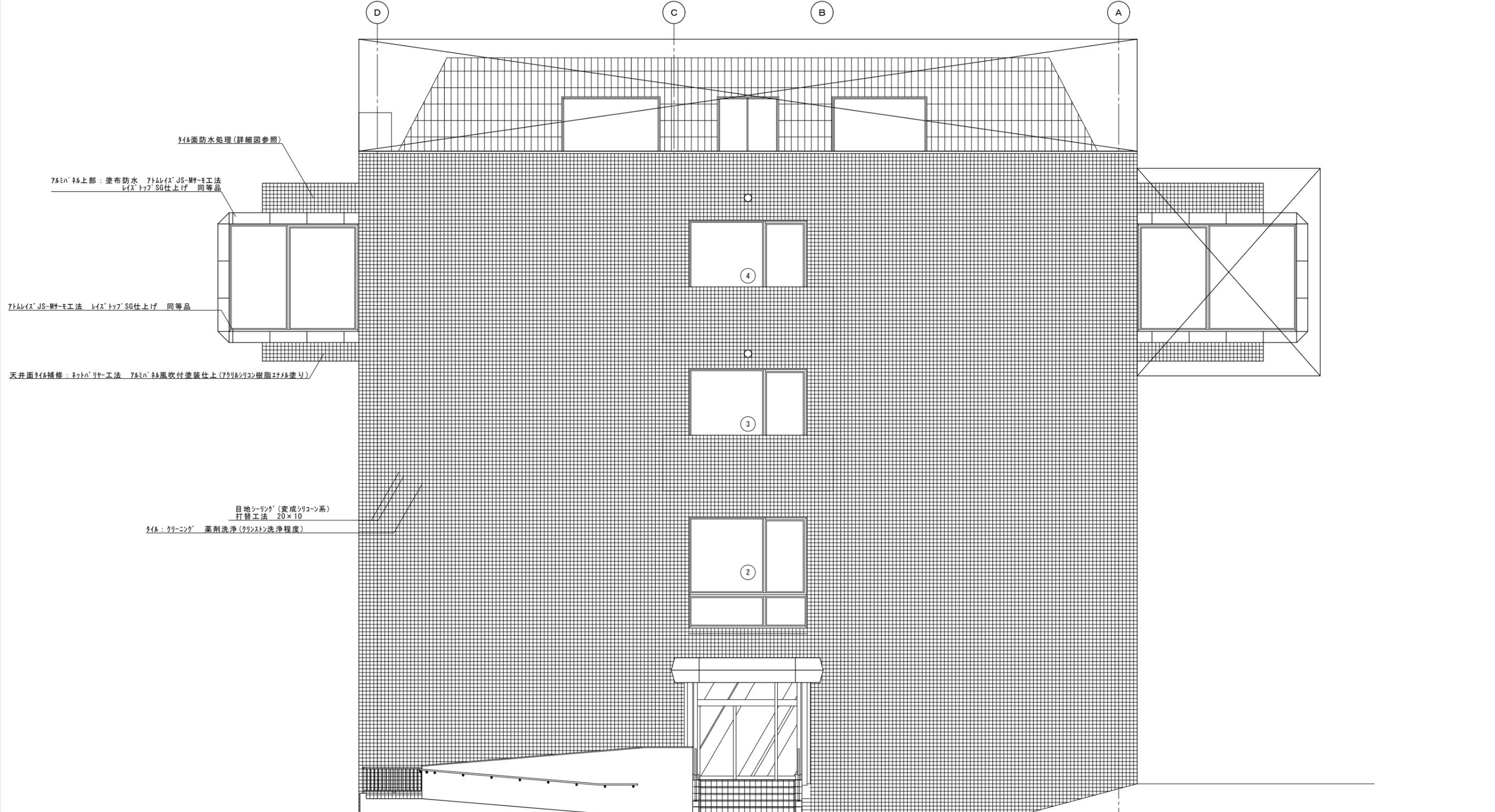
☒ ... 工事範囲外を示す

※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする
 ※窓廻りシーリング (変成シリコン系) 打替工法 15×10
 ※タイル目地: 薬剤洗浄 (クリンストン洗浄程度)

改修

調査事項	備考	単位	凡例	改修方法
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)	タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)	タイル浮き補修 アンカボンド工法
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)	タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする



タイル面防水処理(詳細図参照)

アルミ化粧上部: 塗布防水 アルミ化粧 JS-M9-モエ工法
レイズトップ SG仕上げ 同等品

アルミ化粧 JS-M9-モエ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品

天井面タイル補修: ネットリ工法 アルミ化粧風吹付塗装仕上(アクリル樹脂系樹脂塗料)

目地シーリング(変成シリコン系)
打替工法 20x10

タイル: クリーニング 薬剤洗浄(クリンストン洗浄程度)

... 工事範囲外を示す

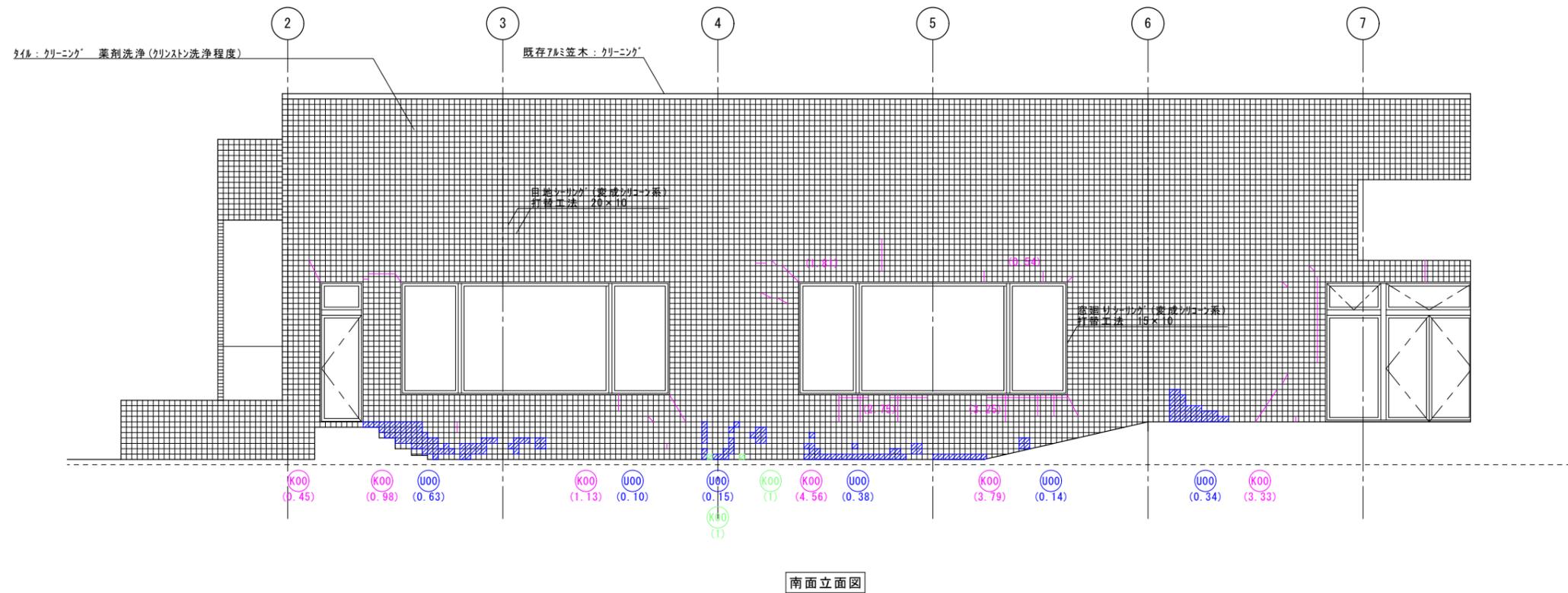
※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする
 ※窓廻りシーリング(変成シリコン系) 打替工法 15x10
 ※タイル目地: 薬剤洗浄(クリンストン洗浄程度)

西面立面図

改修

調査事項	備考	単位	凡例	改修方法
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)	タイルラック補修 自動式低圧樹脂注入工法
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)	タイル浮き補修 アンカボンド工法
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)	タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする

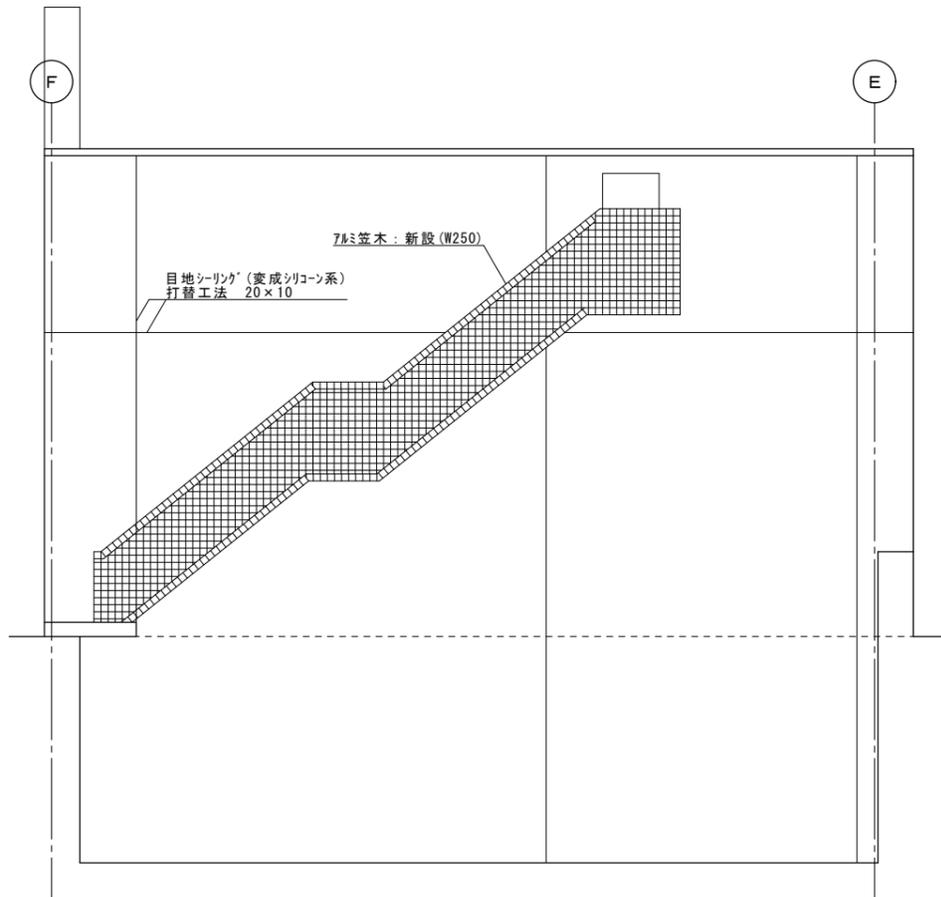


※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする
 ※窓廻りシリング(変成シリコン系) 打替工法 15×10
 ※タイル目地：薬剤洗浄(クリンストーン洗浄程度)

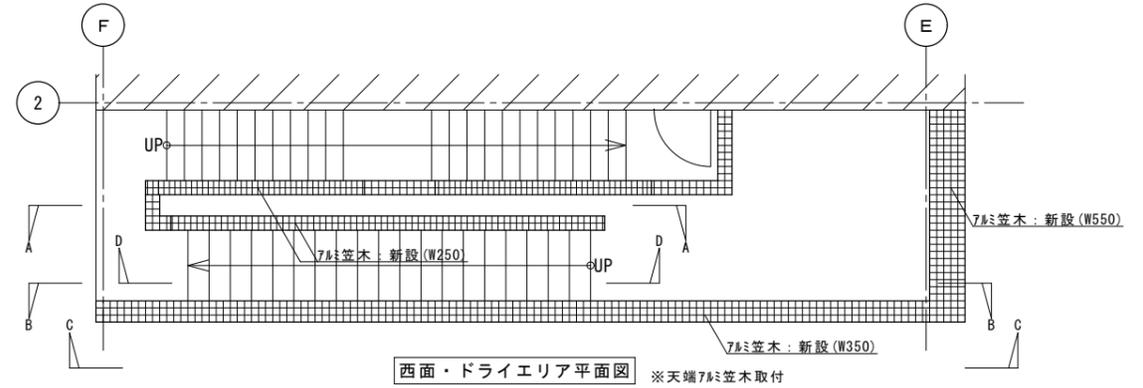
改修

調査事項	備考	単位	凡例	改修方法
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)	タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)	タイル浮き補修 アンカボンド工法
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)	タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品

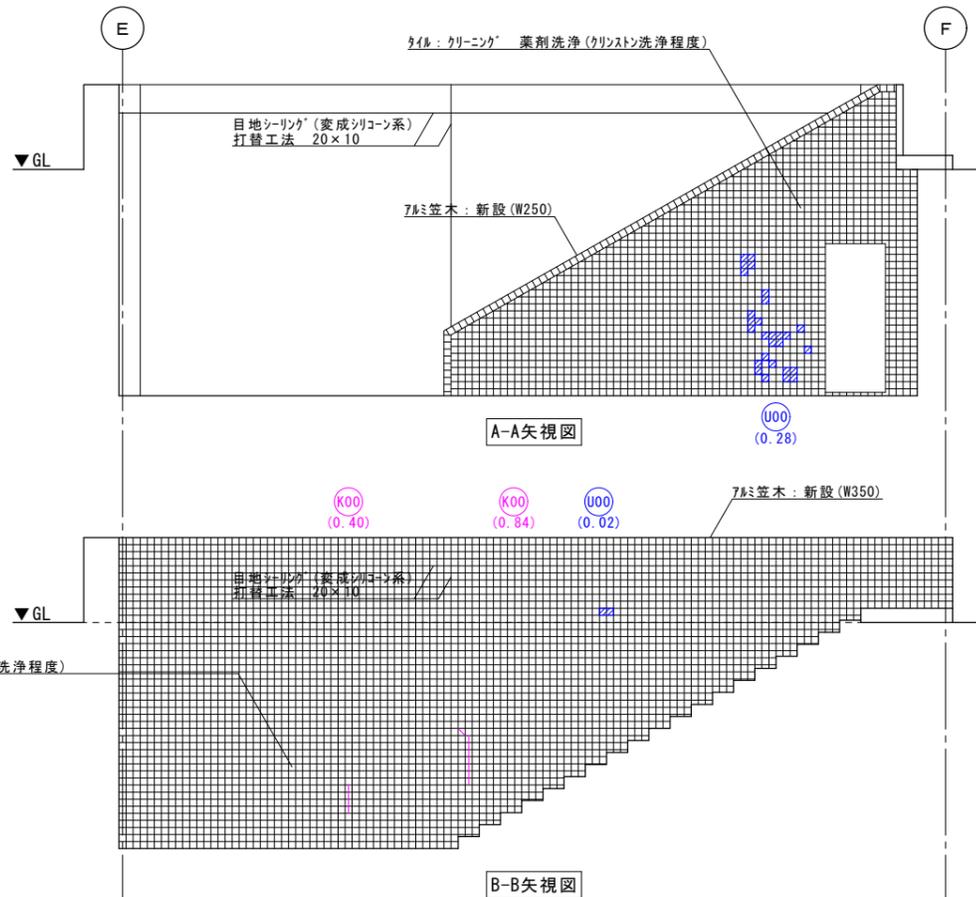
※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする



西面立面図

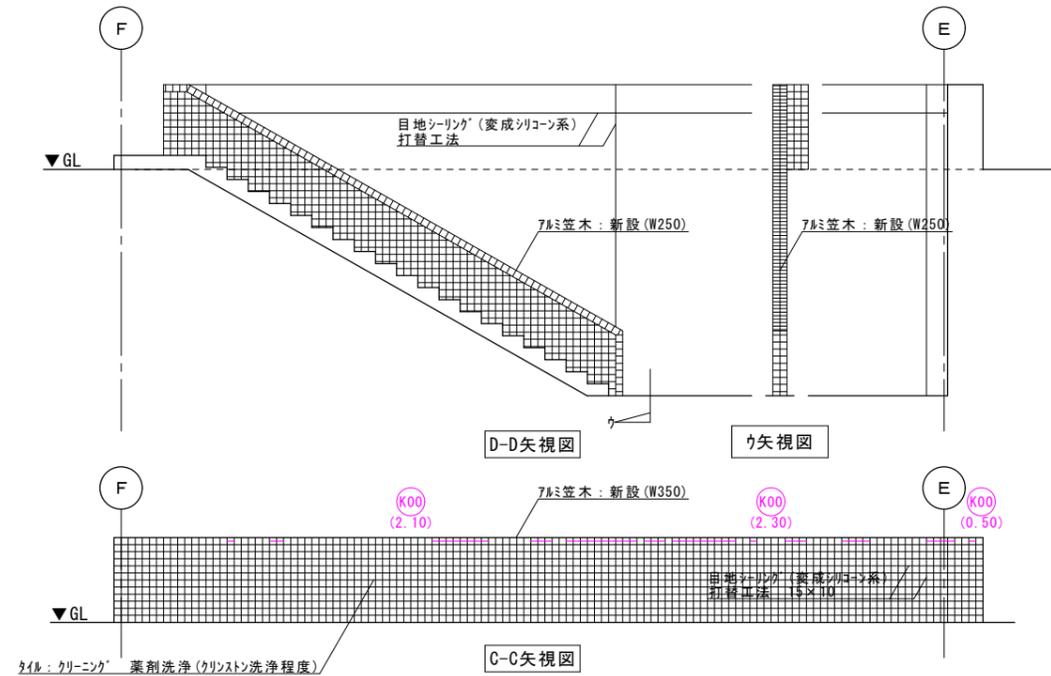


西面・ドライエリア平面図 ※天端7mm 笠木取付



A-A矢視図

B-B矢視図



D-D矢視図

U矢視図

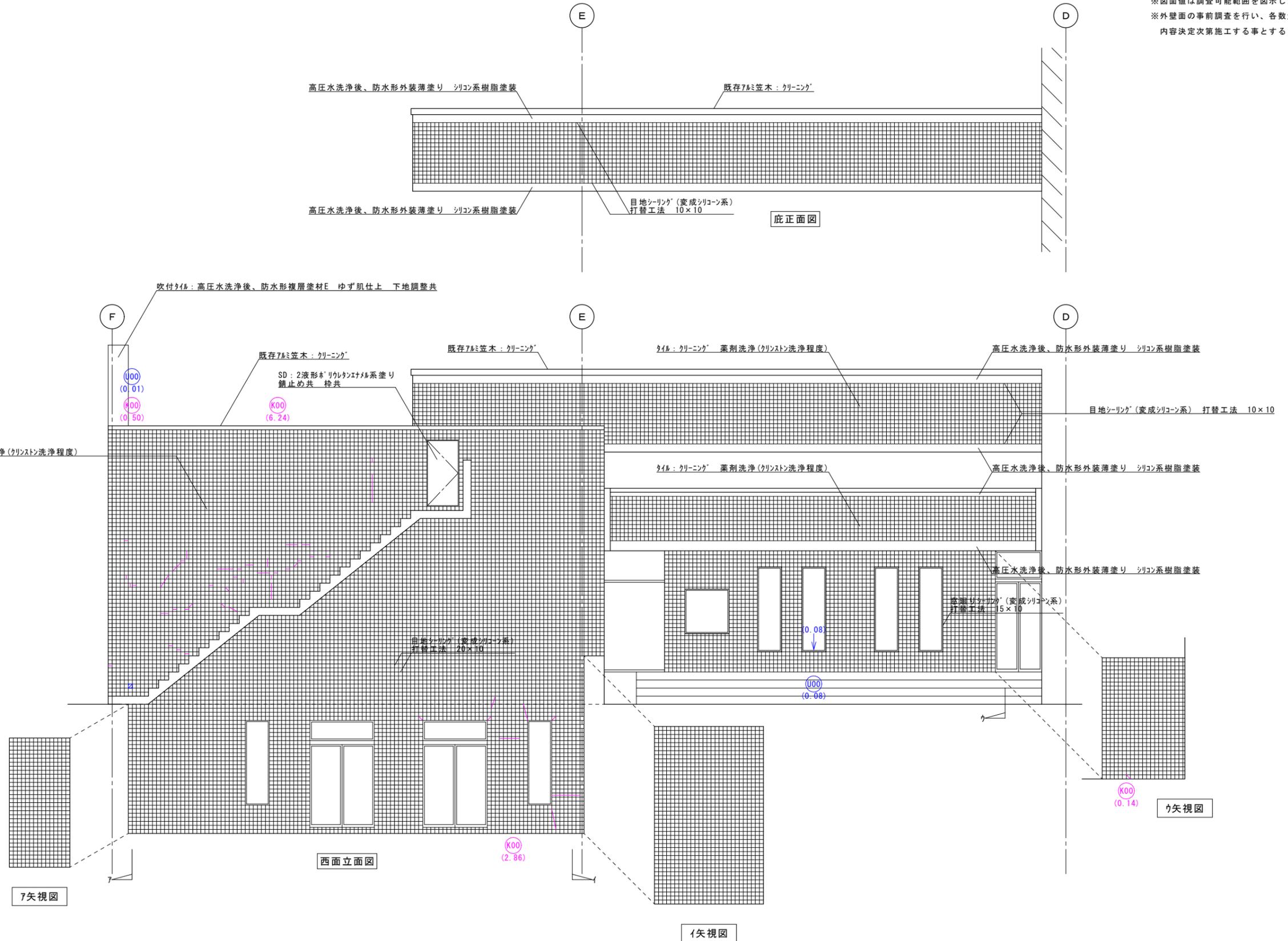
C-C矢視図

※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする
 ※窓廻りシーリング (変成シリコン系) 打替工法 15x10
 ※タイル目地: 薬剤洗浄 (クリンストン洗浄程度)

改修

調査事項	備考	単位	凡例	改修方法
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)	タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)	タイル浮き補修 アンカボンド工法
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)	タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする

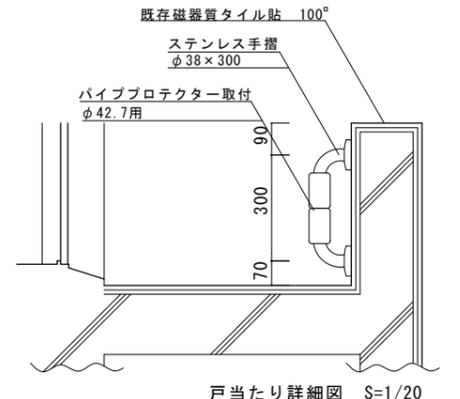
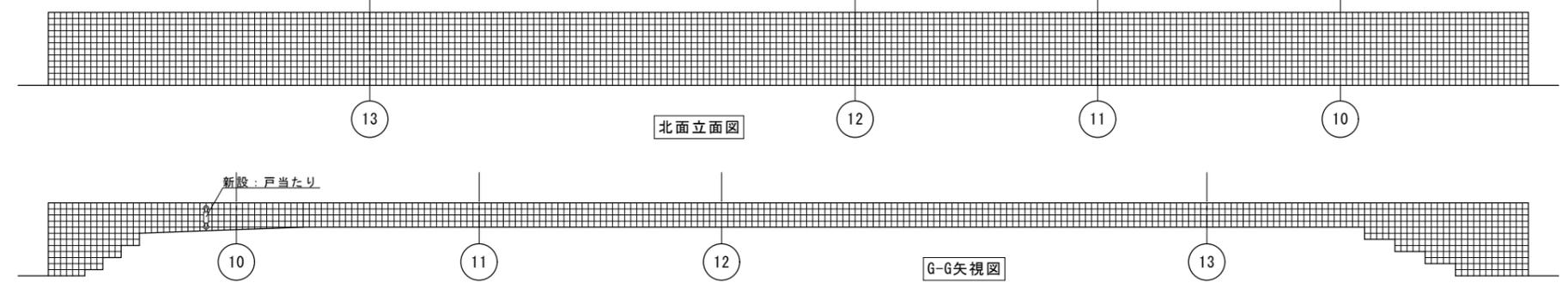
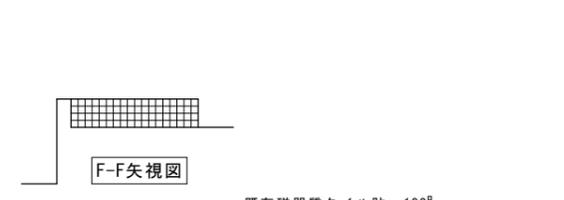
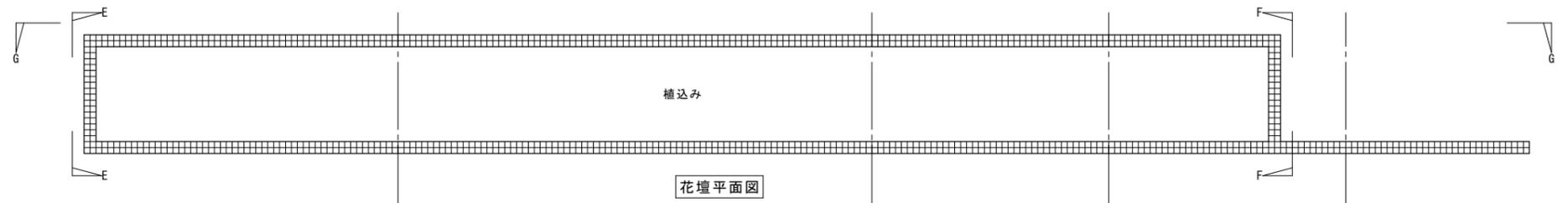
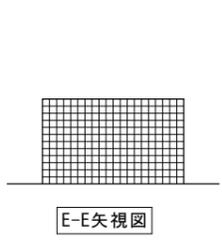
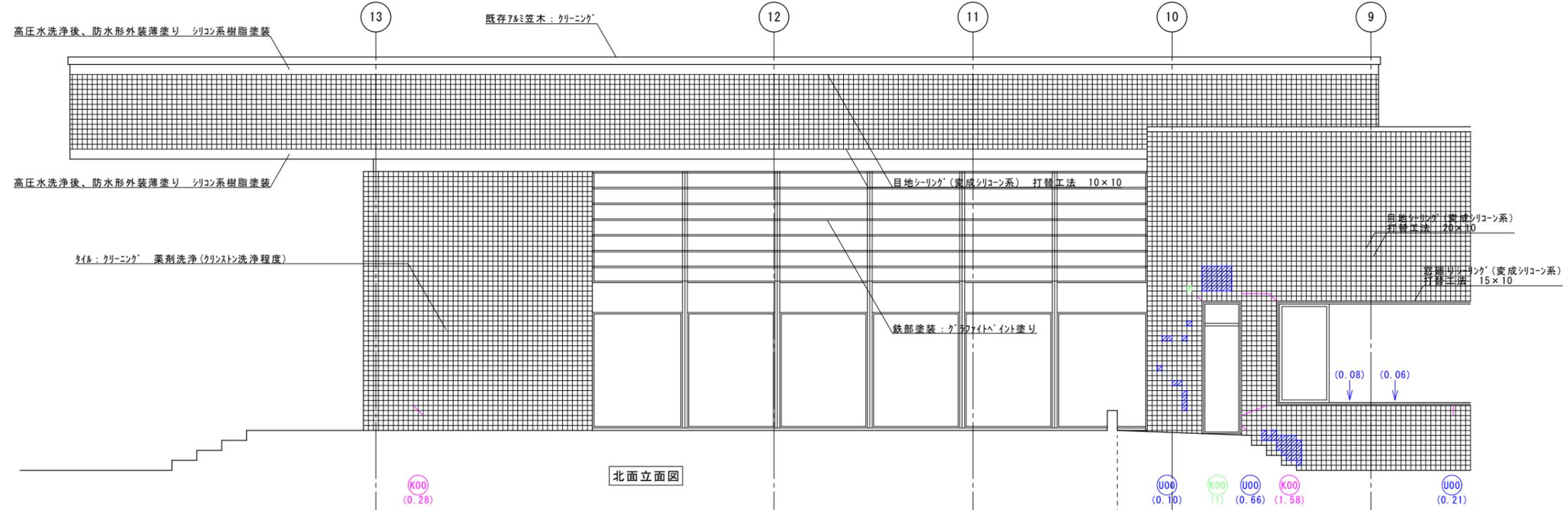
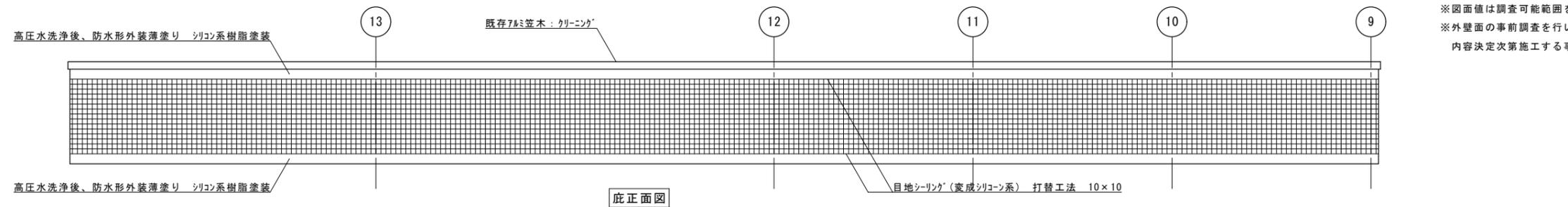


※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする
 ※窓廻りシーリング (変成シリコン系) 打替工法 15x10
 ※タイル目地: 薬剂洗浄 (クリンストン洗浄程度)

改修

調査事項	備考	単位	凡例	改修方法
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)	タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)	タイル浮き補修 アンカボンド工法
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)	タイル欠損部タイル替え タイル支給品

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする

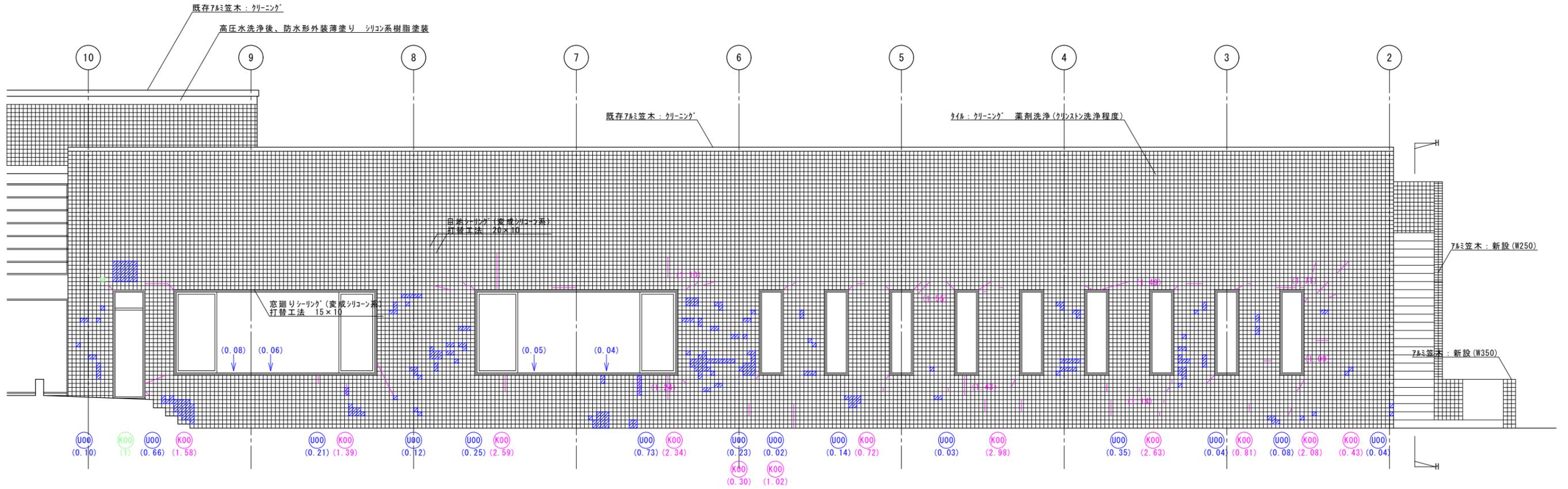


※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする
 ※窓廻りシーリング(変成シリコン系) 打替工法 15x10
 ※タイル目地: 薬剤洗浄(クリンストン洗浄程度)

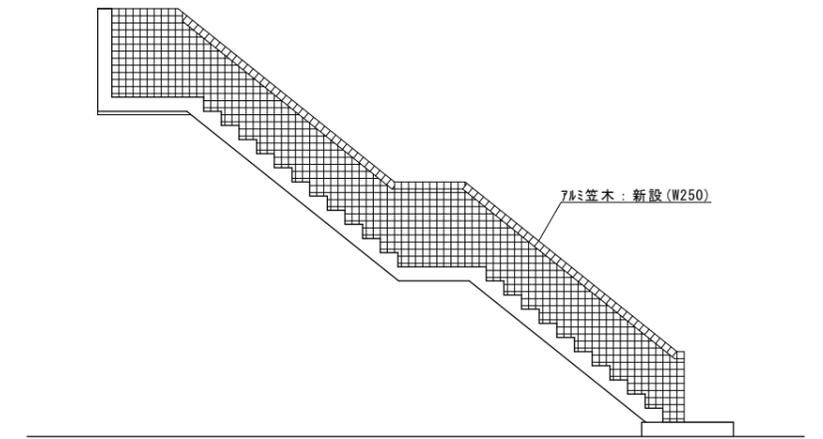
改修

調査事項	備考	単位	凡例	改修方法
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)	タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)	タイル浮き補修 アンカボンド工法
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)	タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする



北面立面図



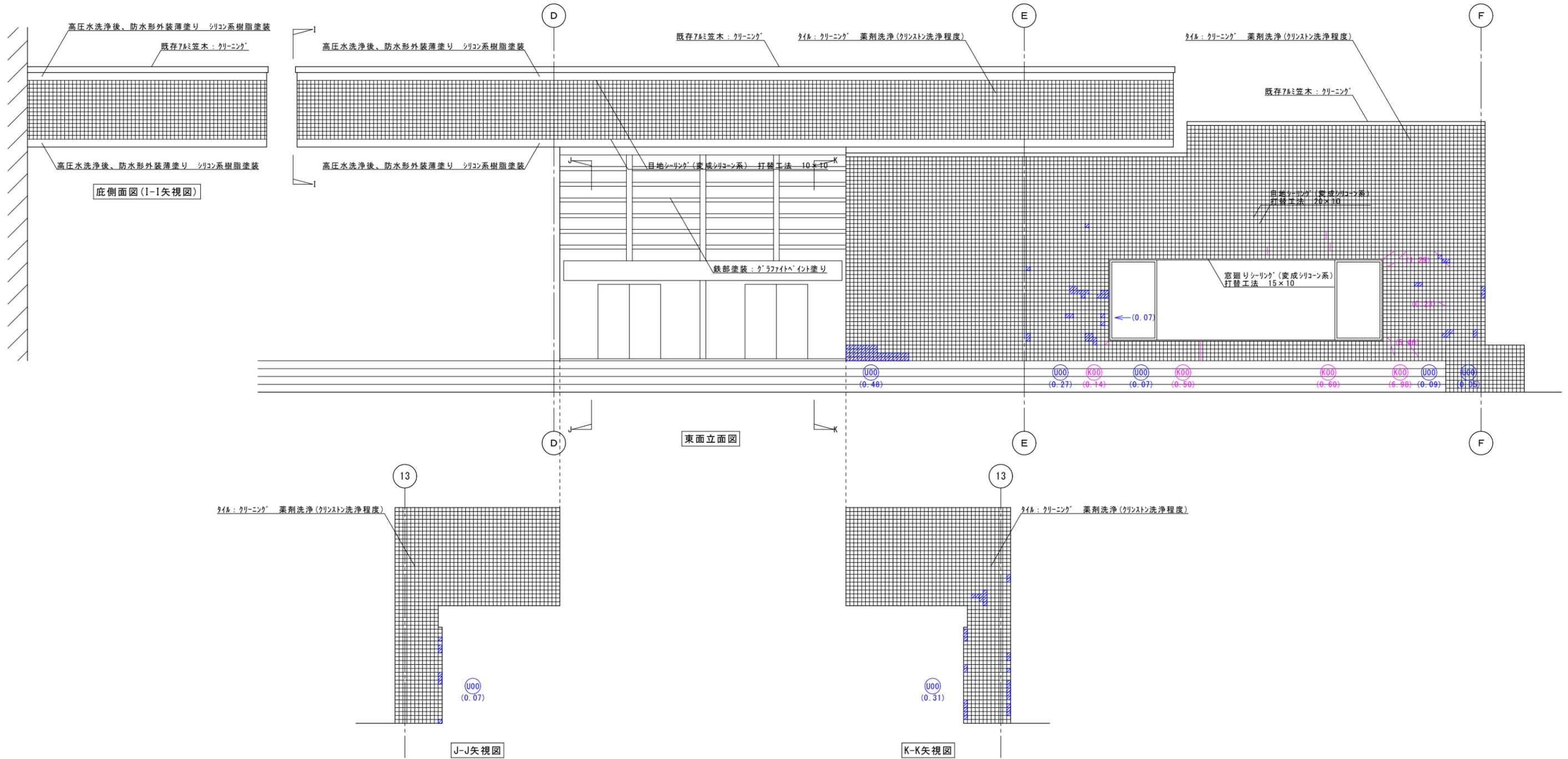
H-H矢視図

※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする
 ※窓廻りシリング（変成シリコン系）打替工法 15×10
 ※タイル目地：薬剤洗浄（クリンストン洗浄程度）

改修

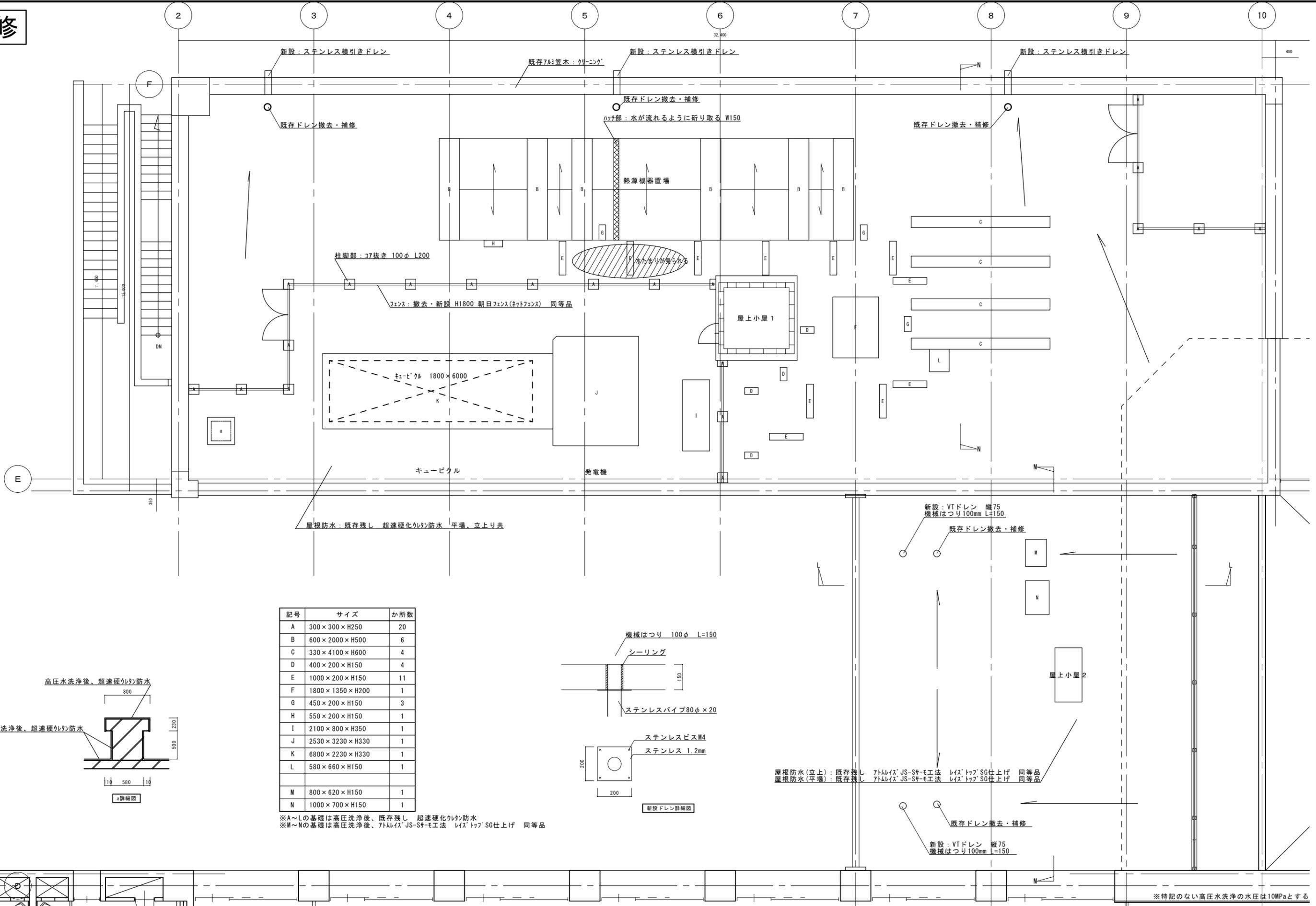
調査事項	備考	単位	凡例	改修方法
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)	タイルクラック補修 自動式低圧樹脂注入工法
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)	タイル浮き補修 アンカボンド工法
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)	タイル欠損部タイル貼替え タイル支給品

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする



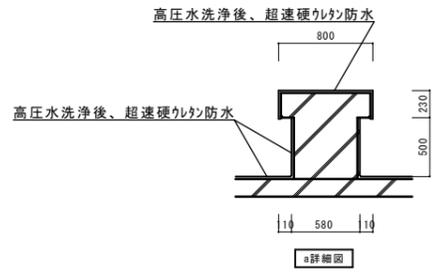
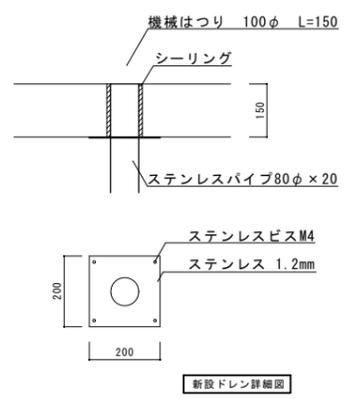
※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする
 ※窓廻りシーリング(変成シリコン系) 打替工法 15×10
 ※タイル目地：薬剤洗浄(クリンストン洗浄程度)

改修

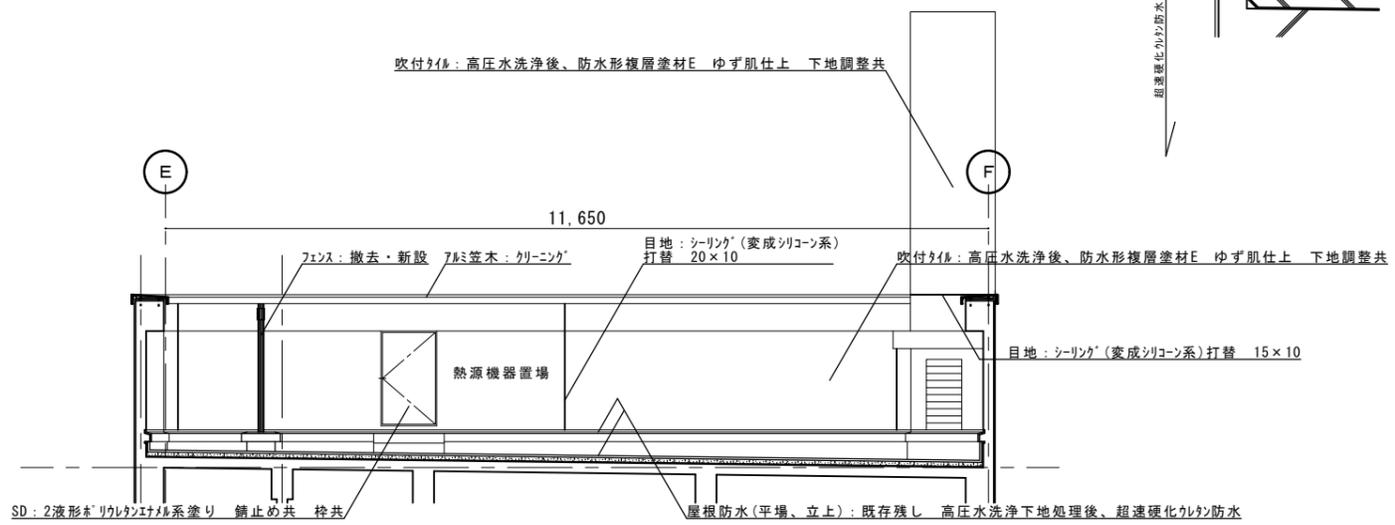
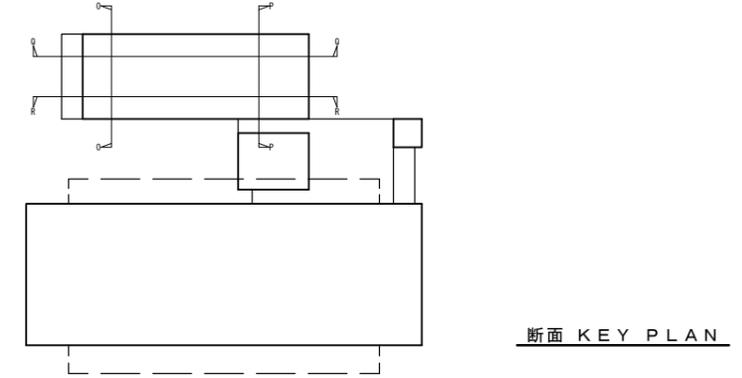
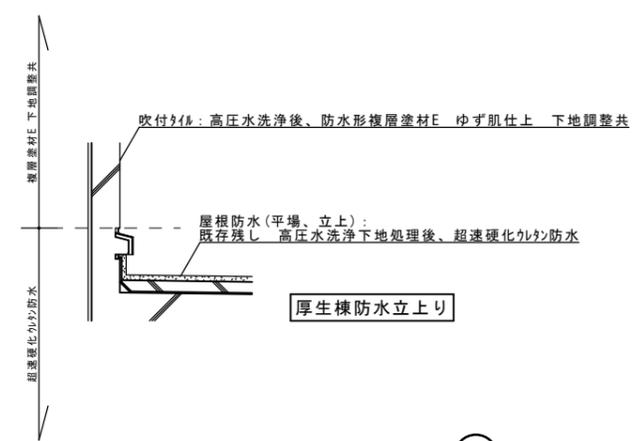


記号	サイズ	か所数
A	300×300×H250	20
B	600×2000×H500	6
C	330×4100×H600	4
D	400×200×H150	4
E	1000×200×H150	11
F	1800×1350×H200	1
G	450×200×H150	3
H	550×200×H150	1
I	2100×800×H350	1
J	2530×3230×H330	1
K	6800×2230×H330	1
L	580×660×H150	1
M	800×620×H150	1
N	1000×700×H150	1

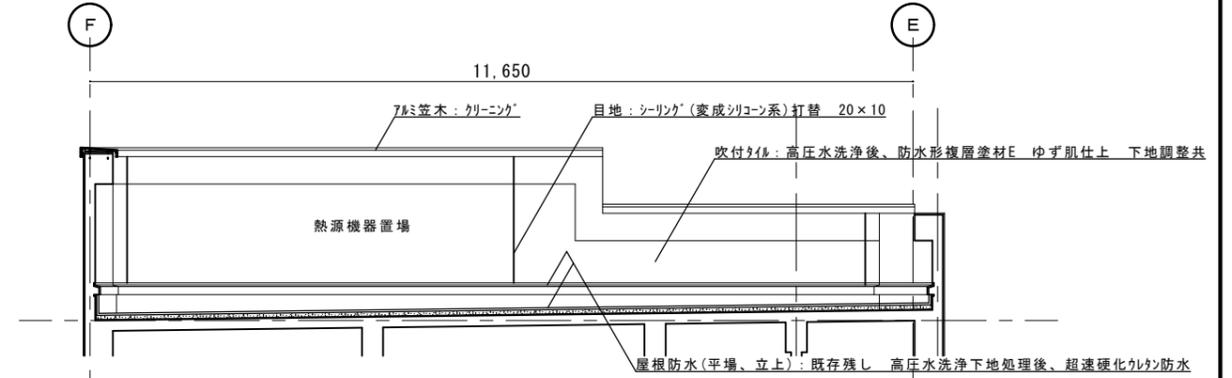
※A~Lの基礎は高圧洗浄後、既存残し 超速硬化ウレタン防水
 ※M~Nの基礎は高圧洗浄後、7Mレイズ JS-Sサーモ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品



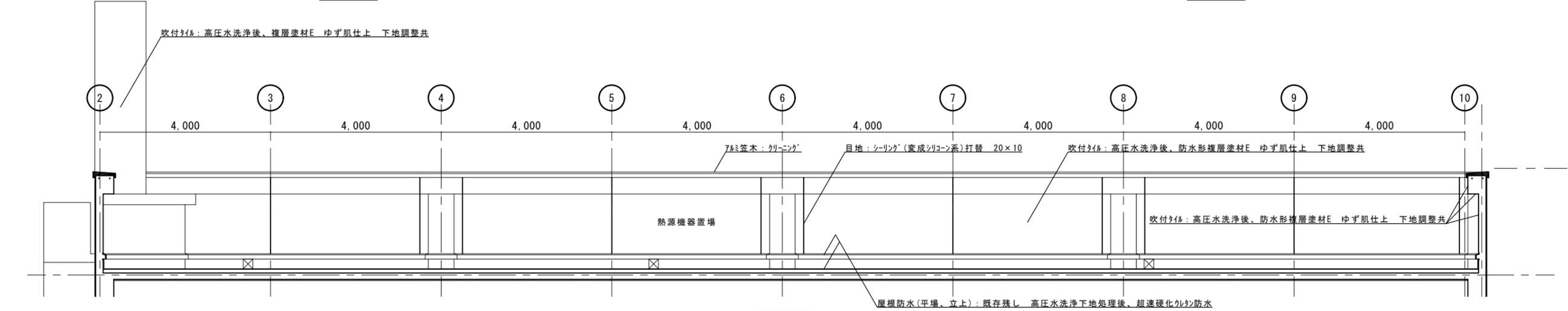
改修



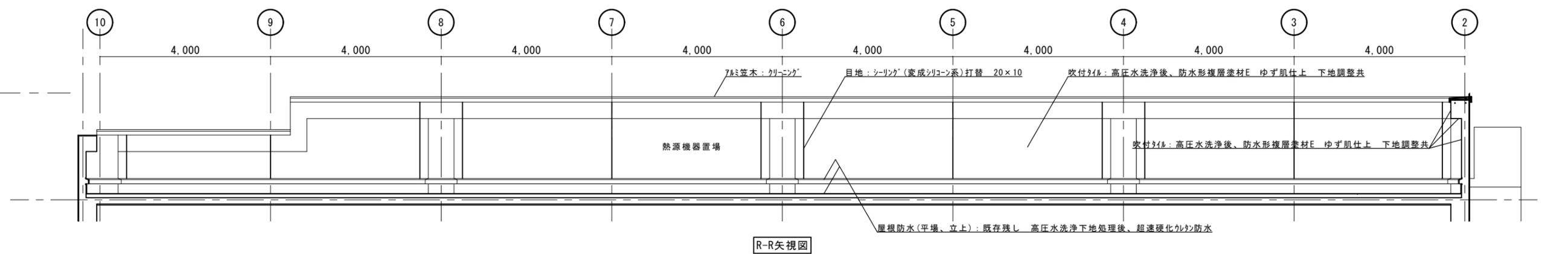
0-0矢視図



P-P矢視図



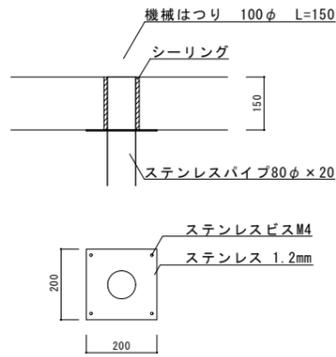
Q-Q矢視図



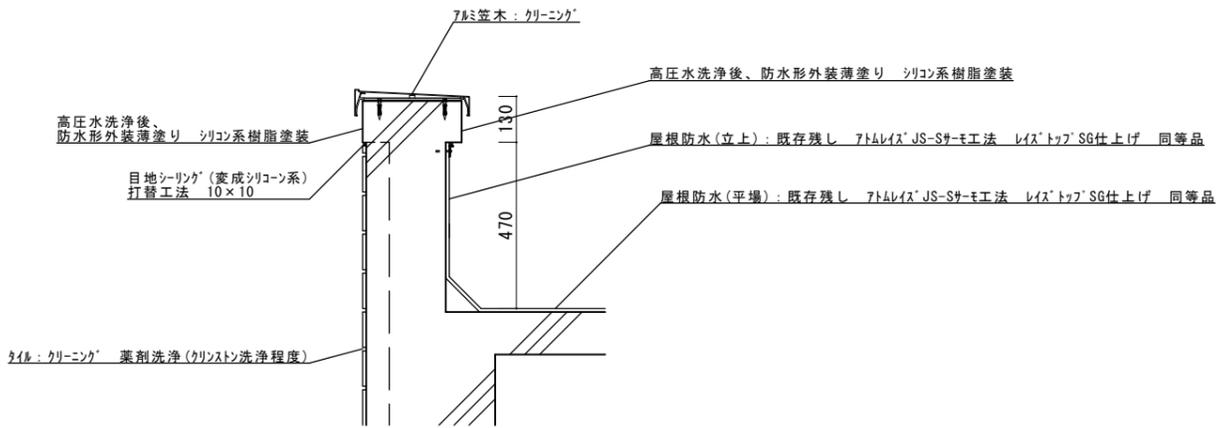
R-R矢視図

※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする

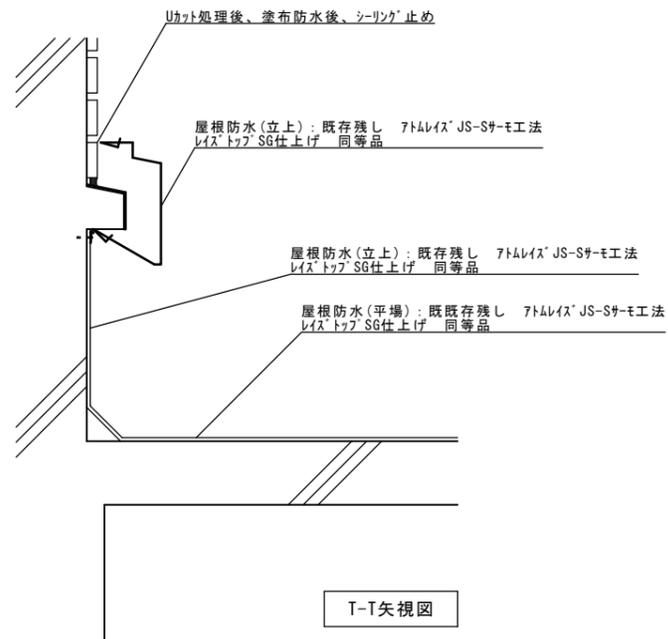
改修



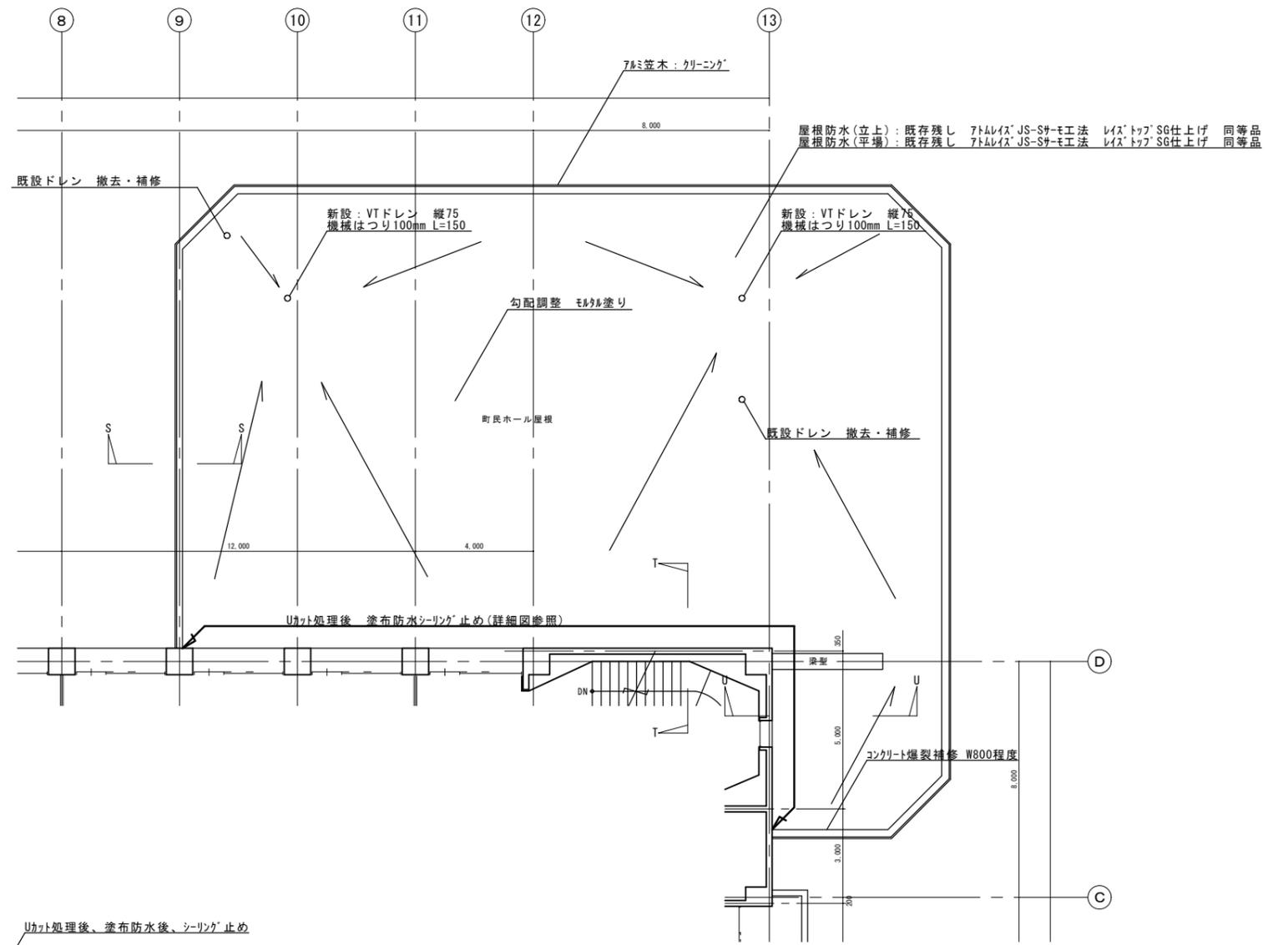
新設ドレン詳細図



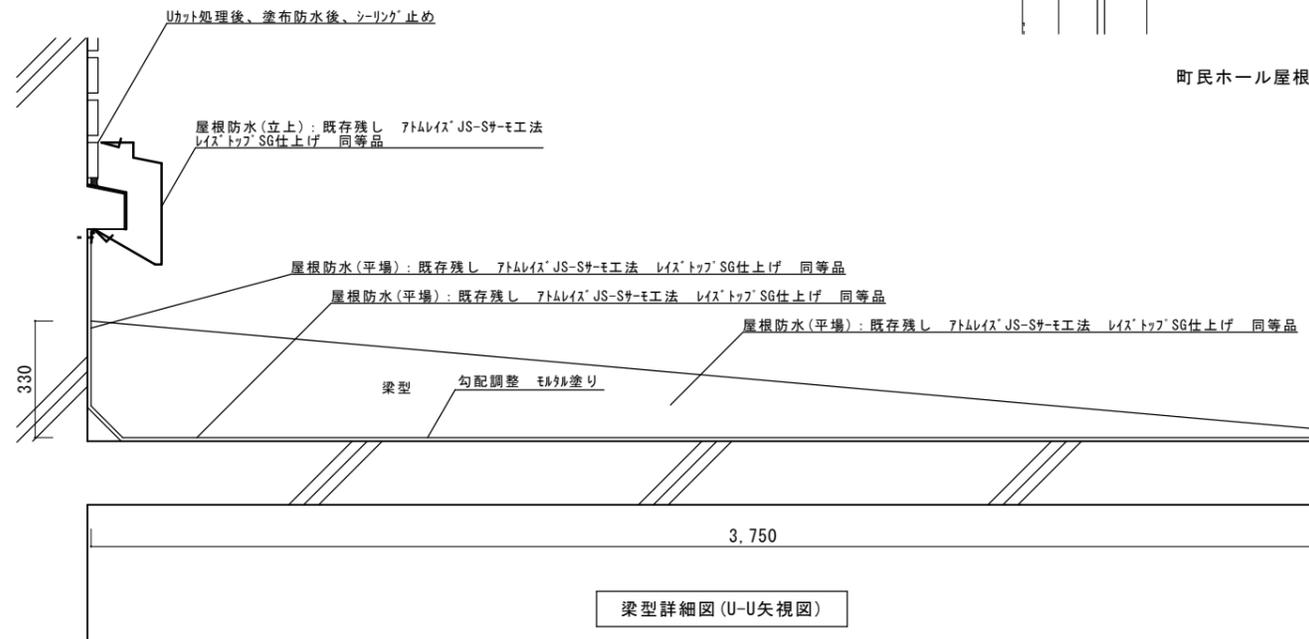
S-S矢視図



T-T矢視図



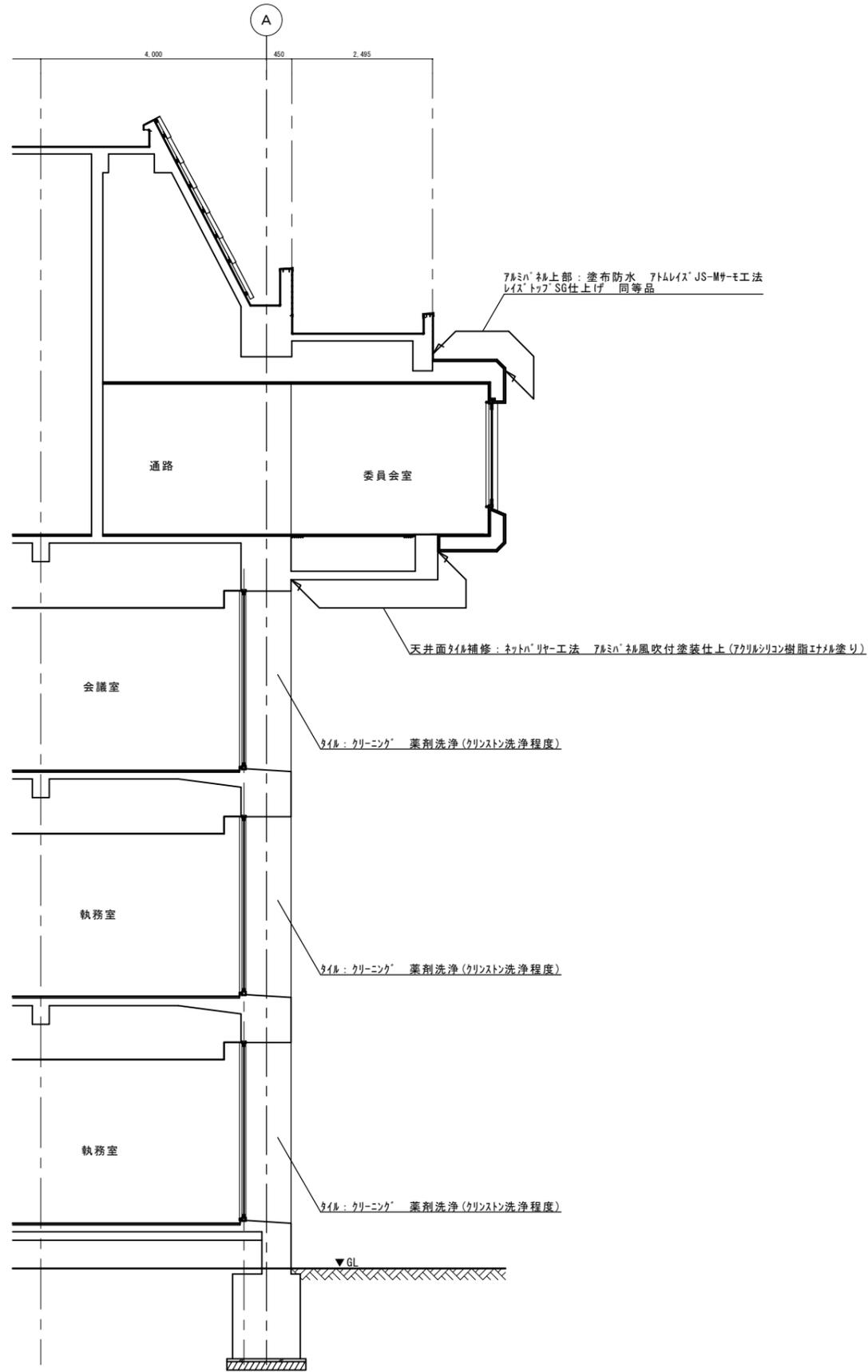
町民ホール屋根伏図



梁型詳細図(U-U矢視図)

※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする

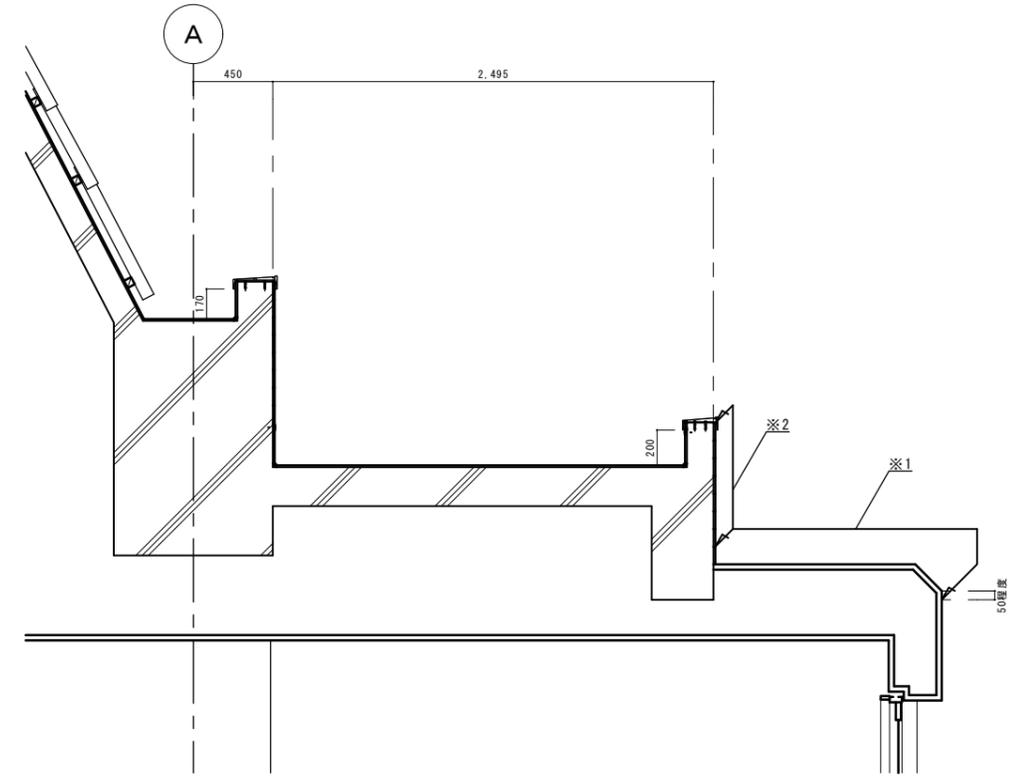
改修



矩計図

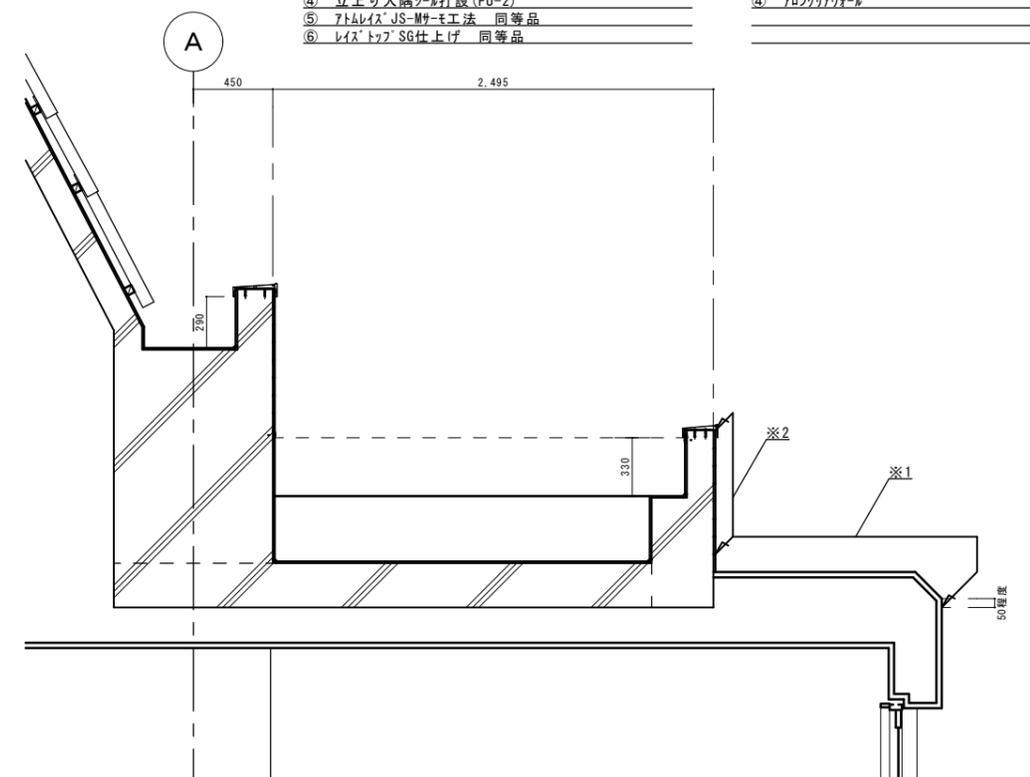
※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする

改修



水上詳細図

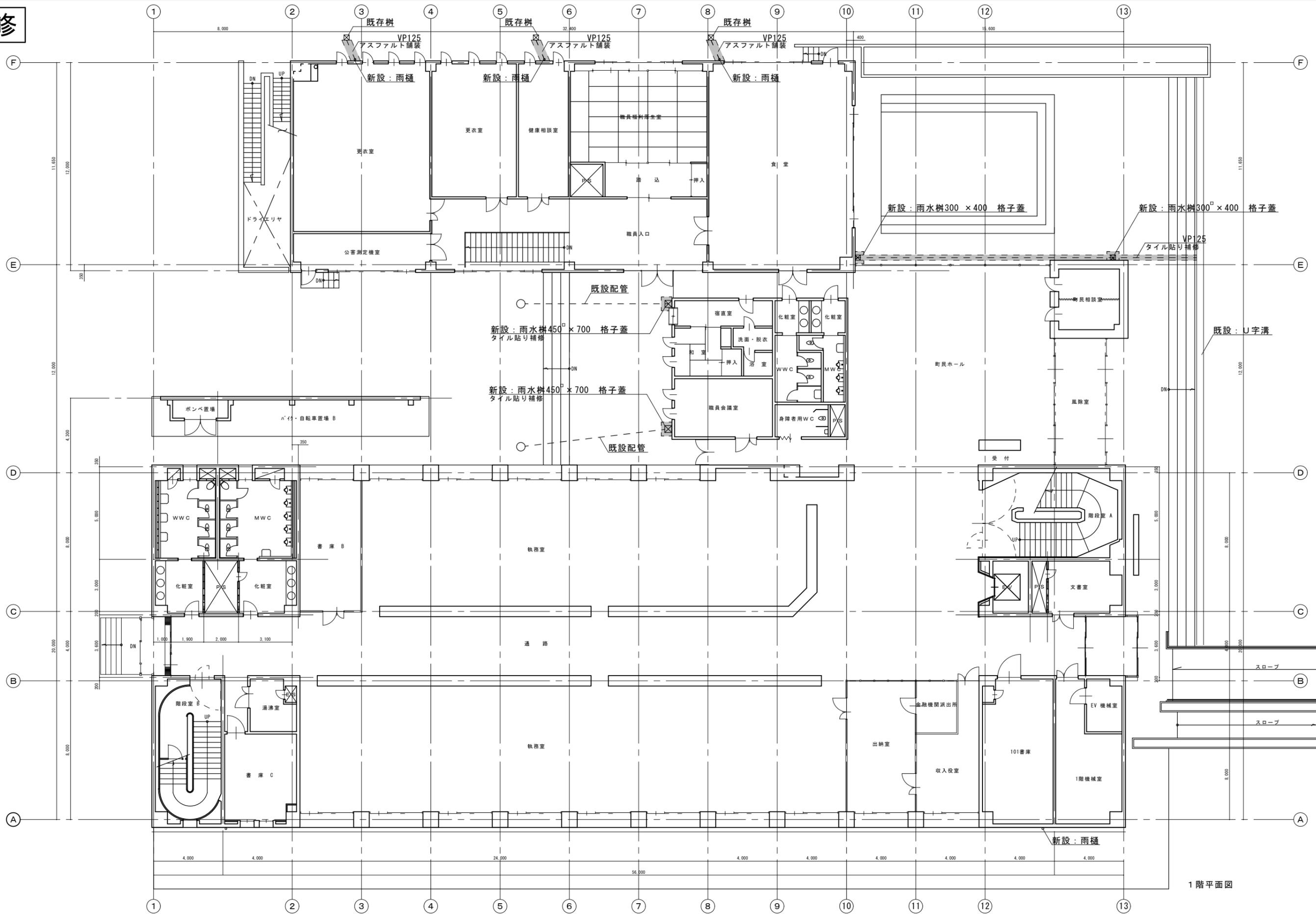
- ※1 作業手順を下記に記す
- ① 目地シール撤去打替 (PU-2)
 - ② 高圧水洗浄
 - ③ 既存脆弱塗装ケレン除去
 - ④ 立上り入隅シール打設 (PU-2)
 - ⑤ フトレース JS-Mサモ工法 同等品
 - ⑥ レイス'トップ' SG仕上げ 同等品
- ※2 作業手順を下記に記す
- ① 高圧水洗浄 (目地汚れ落とし)
 - ② タイル目地補修 (目地詰め)
 - ③ タイル面酸洗い (目地詰めカケ落とし、タイル汚れ落とし)
 - ④ フロンクリアオール



水下詳細図

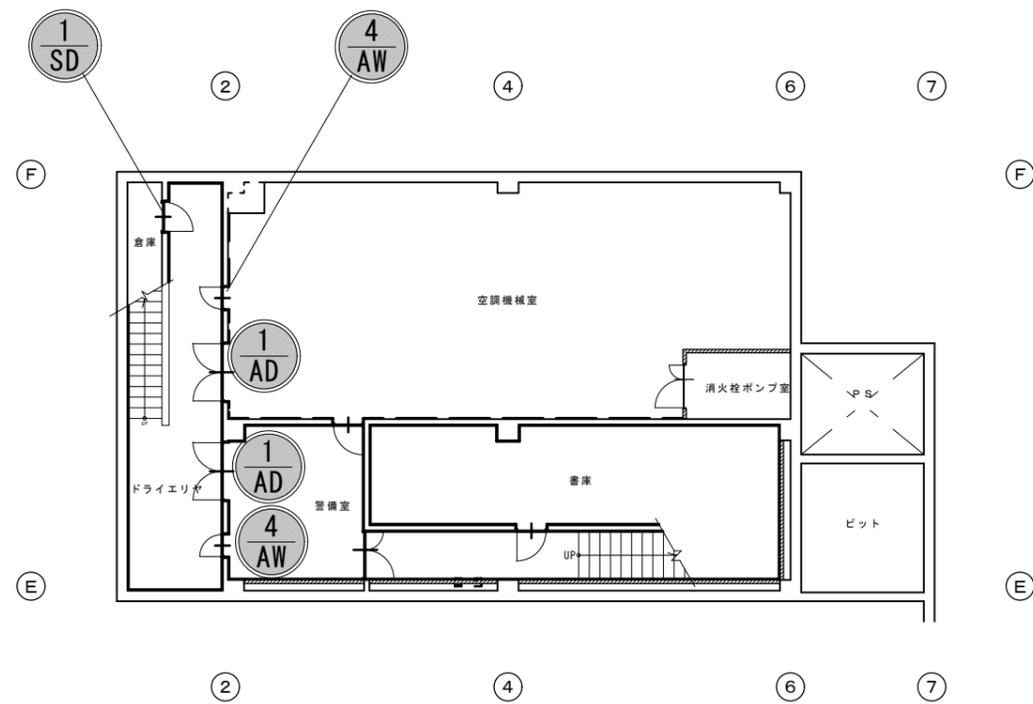
※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする

改修

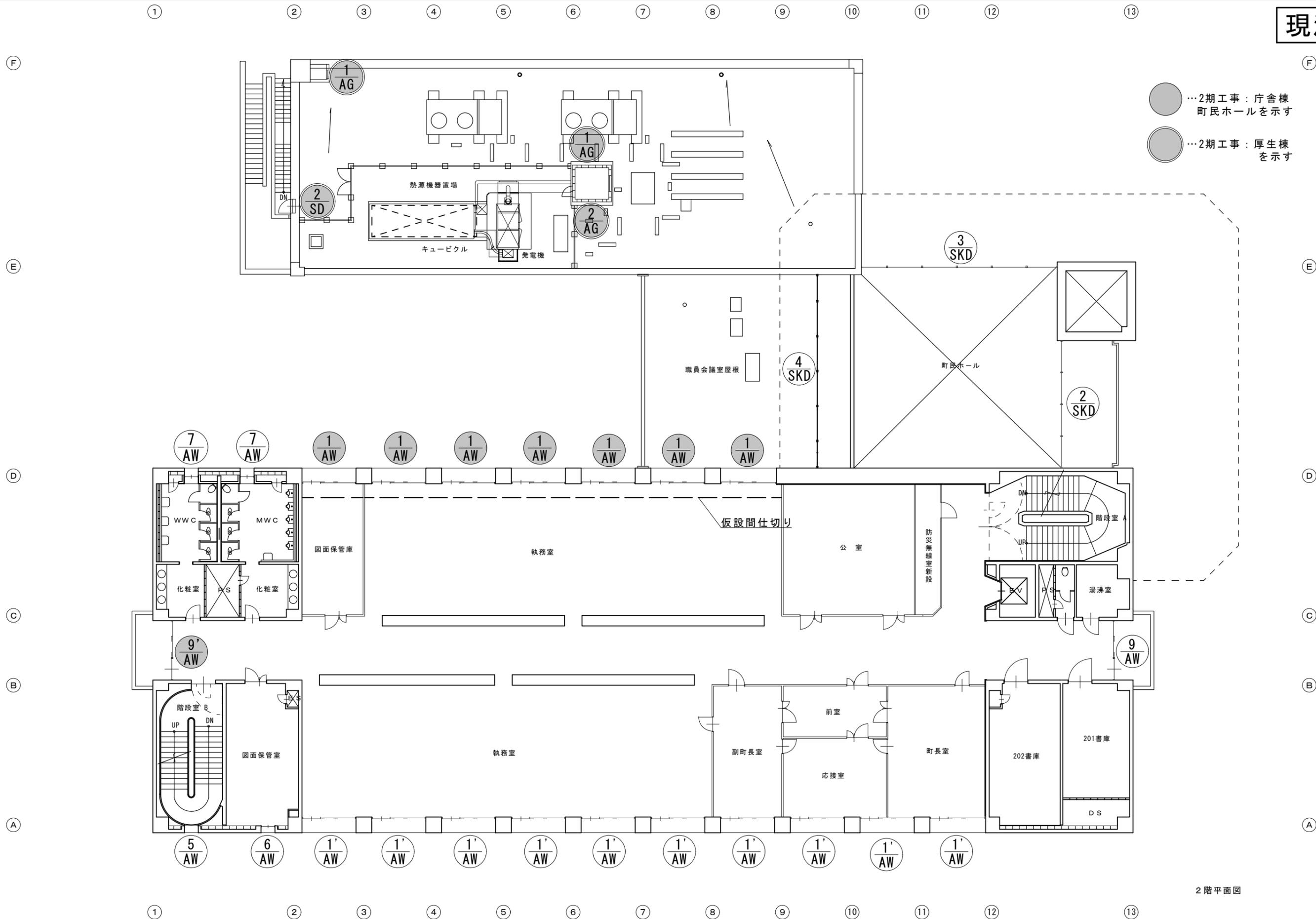


1階平面図

●…2期工事：厚生棟
を示す

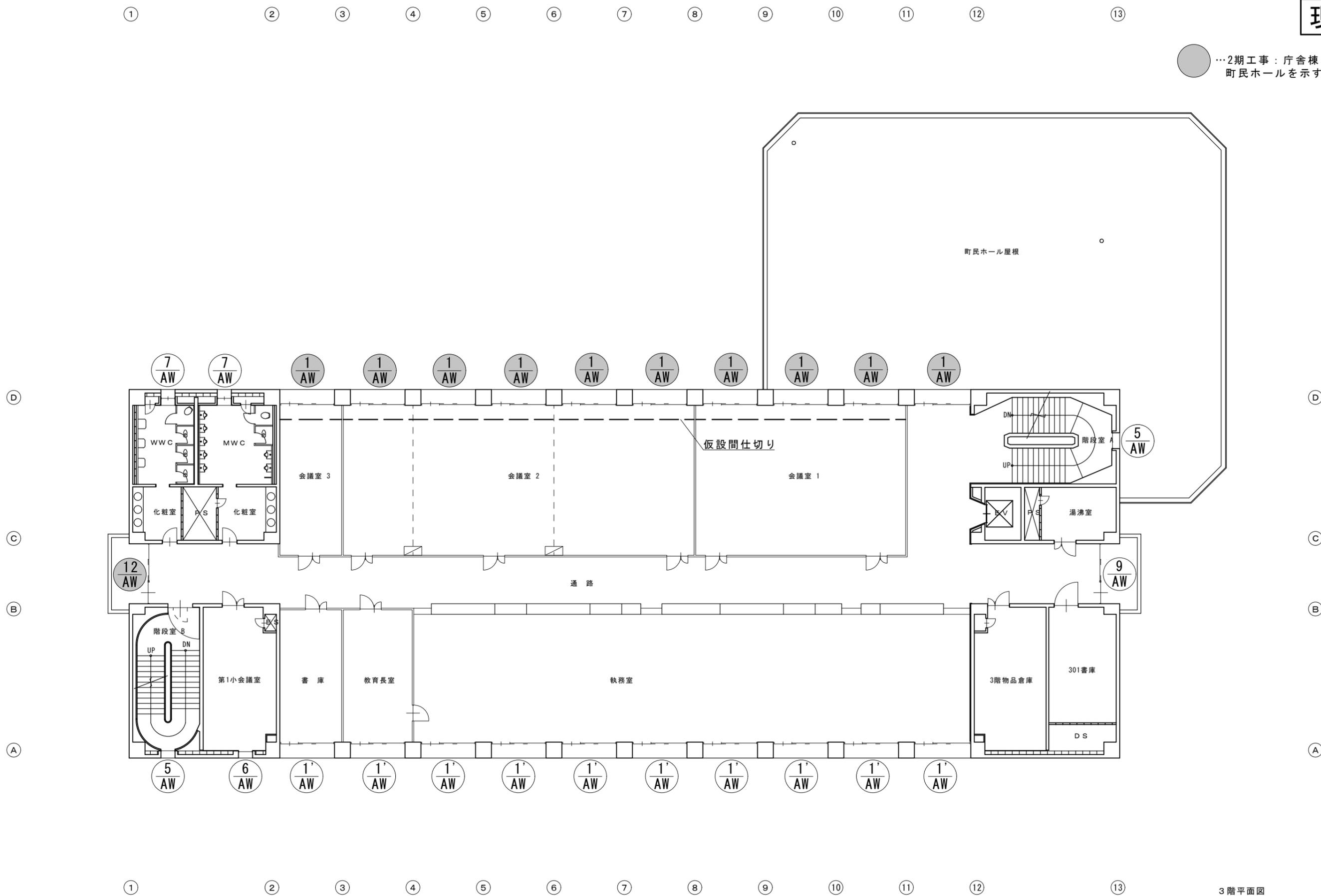


厚生棟地下1階平面図



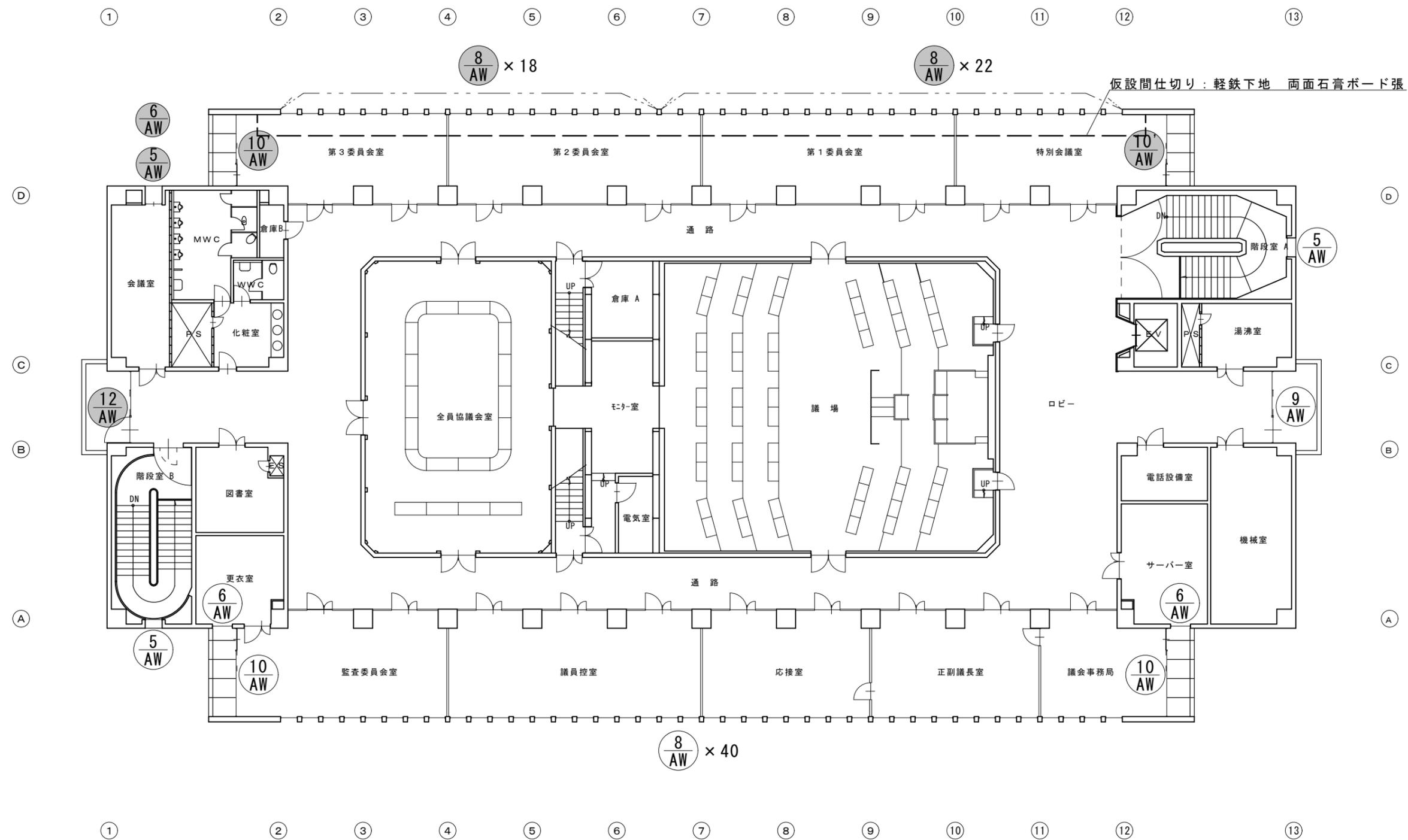
2階平面図

●…2期工事：庁舎棟
町民ホールを示す



3階平面図

● 2期工事：庁舎棟
町民ホールを示す



4階平面図

記号	AW-1 AW-1'	書庫B・執務室・出納室・収入役室・図書保管庫・執務室・副町長室・前室 応接室・町長室・会議室1・2・3 通路・教育長室・書庫	AW-2	食堂・職員福利厚生室・公害測定機室・通路	AW-3	食堂
種類	腰Fix付片引き窓	1期:30 2期:23	両袖片引き窓	1期:- 2期:4	両袖片引き窓	1期:- 2期:1
階別	1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計	
個数	16 17 20 0 53		4 0 0 0 4		1 0 0 0 1	
材質	アルミ		アルミ		アルミ	
見込	100		70		70	
仕上	電解発色		電解発色		電解発色	
硝子	6.8mm熱線反射ガラス(シ&N'-)		6.8mm熱線反射ガラス(シ&N'-)		6.1mm熱線反射ガラス(シ&N'-)	
金物	・ドラレコ付 ・戸車 ・7&N'規格3方(w75)		・クレセント ・戸車 ・アルミ規格3方(w35)		・クレセント ・戸車 ・アルミ規格(w35)	
備考	たて型ブラインド		たて型ブラインド		たて型ブラインド	

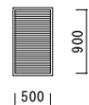
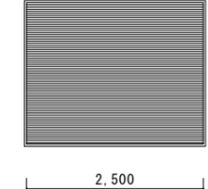
記号	AW-4	更衣室・健康相談室・空調機械室・警備室 和室・職員会議室	AW-5	階段室A・階段室B・会議室	AW-6	図面保管室・第1小会議室・更衣室・会議室 サーパー室	AW-7	WWC・MWC	AW-8	第1・2・3委員会室・特別会議室・監査委員会室 議員控室・議事事務局・応接室・正副議長室
種類	片開き窓	1期:- 2期:15	Fix窓	1期:5 2期:1	ミリ出し窓	1期:4 2期:1	引違窓	1期:- 2期:-	内倒し回転窓	1期:40 2期:40
階別	地下 1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計	
個数	2 13 15		0 1 2 3 6		0 1 1 3 5		2 2 2 0 6		0 0 0 80 80	
材質	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
見込	70		70		70		70		70	
仕上	電解発色		電解発色		電解発色		電解発色		シルバー	
硝子	6mm熱線反射ガラス(シ&N'-)		6mm熱線反射ガラス(シ&N'-)		6mm熱線反射ガラス(シ&N'-)		6mm熱線反射ガラス(シ&N'-)		6mm熱線反射ガラス(シ&N'-)	
金物	・カムラッチ ・調整器 ・アルミ規格3方(w35)				・カムラッチ ・アーム ・ヒリビボット ・アルミ規格4方(w60)		・クレセント		・アルミ規格4方(w60) ・ハンドル	
備考			一部防火設備 (1か所)	防火設備 6mm熱線反射ガラス+ 磨りガラス6.8mm網入り	一部防火設備 (1か所)	防火設備 6mm熱線反射ガラス+ 磨りガラス6.8mm網入り	防火設備 (6か所)	防火設備 6mm熱線反射ガラス+ 磨りガラス6.8mm網入り	よこ型ブラインド	防火設備 6mm熱線反射ガラス+ 磨りガラス6.8mm網入り

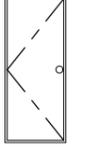
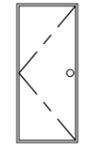
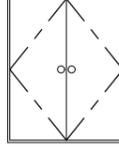
記号	AW-9 AW-9'	通路入口	AW-10 AW-10'	第3委員会室・議事事務局・監査委員会室・特別会議室	AW-11	宿直室	AW-12	通路入口
種類	腰Fix付片引き窓	1期:3 2期:2	腰Fix付片引き窓	1期:2 2期:2 ()内の数字はAW-10'を示す	引違窓	1期:- 2期:1	片開き扉ドア袖Fix窓	1期:- 2期:1
階別	1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計	
個数	0 2 2 1 5		0 0 0 4 4		1 0 0 0 1		0 0 0 2 2	
材質	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
見込	100		112		70		100	
仕上	電解発色		シルバー		シルバー		電解発色	
硝子	6.8mm熱線反射ガラス(シ&N'-)		15mmフロート		5mmフロート		6.8mm熱線反射ガラス(シ&N'-)	
金物	・グレモンハンドル ・戸車		・レバーハンドル ・戸車		・ソロバンレール使用			
備考			たて型ブラインド					

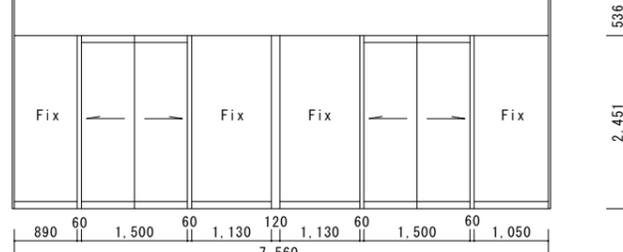
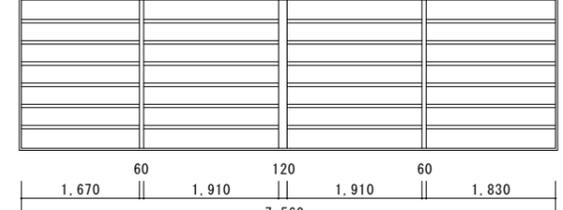
記号	AD-1	警備室・機械室	AD-2	通路入口	AD-3	町民ホール	AD-4	通路入口
種類	欄干付片開き扉	1期:- 2期:2	欄干付両袖付片開き自動ドア	1期:- 2期:-	欄干付片開き扉	1期:- 2期:1	欄干付片開き扉	1期:- 2期:2
階別	地下 1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計	
個数	2 2 2 1 5		2 0 0 0 2		1 0 0 0 1		2 0 0 0 2	
材質	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
見込	70		70		70		70	
仕上	電解発色		焼付塗装		電解発色		電解発色	
硝子	6mm熱線反射ガラス(シ&N'-)		強化5フロート		6mm熱線反射ガラス(シ&N'-)		6mm熱線反射ガラス(シ&N'-)	
金物	・縦玉付シリンダー錠 ・丁番 ・フラッシュ ・ドアチェック ・アルミ規格2方(w35)~警備室 ・アルミ規格3方(w35)~機械室		・エンジン装置 ・三方弁 ・ステンレスレール ・標準付属食物一式 ・室内側サムターン錠2ヶ所		・縦玉付シリンダー錠 ・丁番 ・フラッシュ ・ドアチェック		・縦玉付シリンダー錠 ・丁番 ・フラッシュ ・ドアチェック ・アルミ規格3方(w35)	
備考	ミラクルスイッチ							

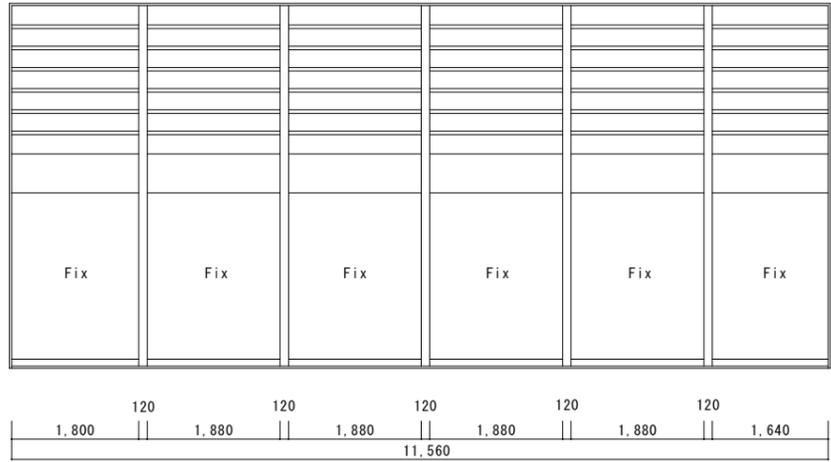
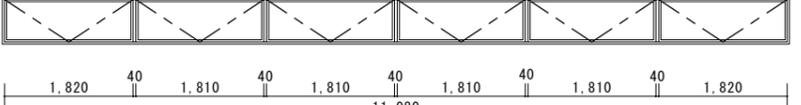
記号	AD-5	職員入口	※ブラインド撤去			
種類	欄干付片開き扉	1期:- 2期:1				
階別	1 2 3 4 計					
個数	1 0 0 0 1					
材質	アルミ					
見込	100					
仕上	電解発色					
硝子	6mm熱線反射ガラス(シ&N'-)					
金物	・フロアヒンジ ・シリンダー本鎖り錠 ・押棒 ・アルミ規格2方(w35)					
備考						

現況

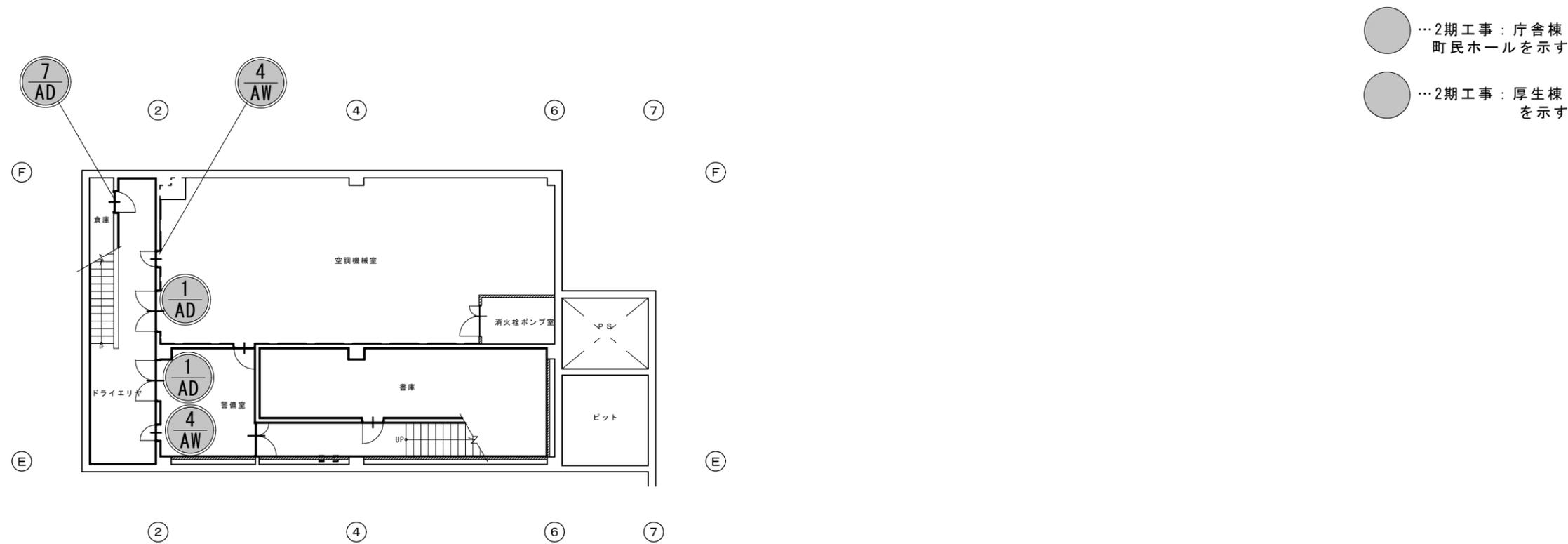
記号	AG-1	福利厚生棟屋上	AG-2	福利厚生棟屋上	AG-3	5階機械室	AG-4	5階機械室
種類	ガラリ	1期:- 2期:2 厚生棟	ガラリ	1期:- 2期:1 厚生棟	ガラリ	1期:3 2期:-	ガラリ	1期:1 2期:-
階別	1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		5 計		5 計	
個数	0 2 0 0 2		0 1 0 0 1		3 計 3		1 計 1	
材質	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
見込	70		70		70		70	
仕上								
硝子								
金物								
備考								

記号	SD-1	地下階段室	SD-2	福利厚生棟屋上	SD-3	5階機械室		
種類	両開フラッシュ戸	1期:- 2期:1 厚生棟	両開フラッシュ戸	1期:- 2期:1 厚生棟	両開フラッシュ戸	1期:2 2期:-		
階別	地下 計		1 2 3 4 計		屋上 計			
個数	1 計 1		0 1 0 0 1		2 計 2			
材質	スチール		スチール		スチール			
見込	86		86		86			
仕上	OP塗り		OP塗り		OP塗り			
硝子								
金物	・ドアチェック (ストップなし) ・握玉付シリンドラー錠 ・丁番		・ドアチェック (ストップなし) ・握玉付シリンドラー錠 ・丁番		・ドアチェック (ストップなし) ・握玉付シリンドラー錠 ・丁番 ・クッションゴム			
備考	ミラクルスイッチ				エアタイト型			

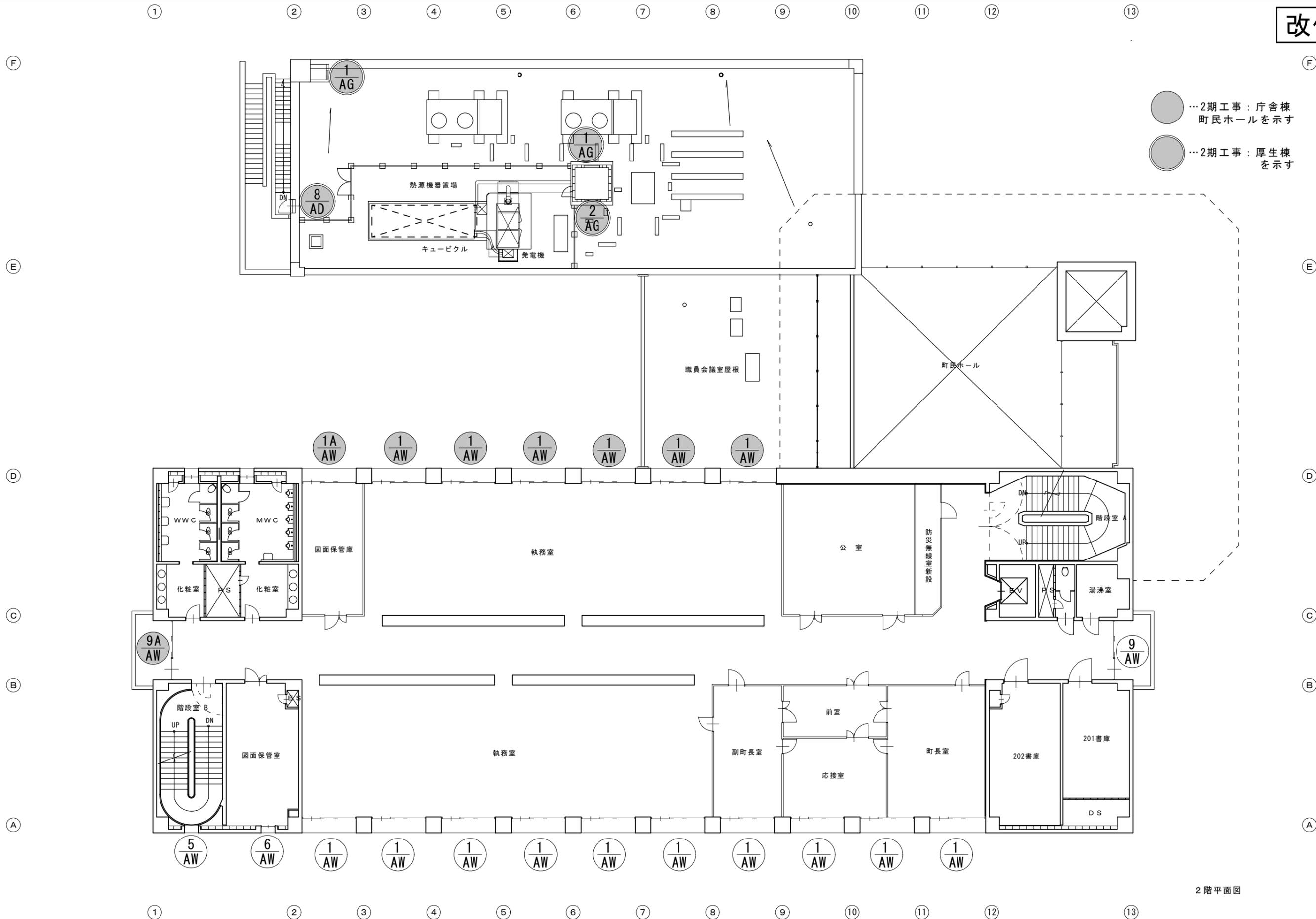
記号	SKD-1	風除室	SKD-2	町民ホール
種類	両開きオートドア2連	1期:- 2期:-	Fixスクリーン	1期:- 2期:-
階別	1 2 3 4 計		1 2 3 4 計	
個数	1 0 0 0 1		0 1 0 0 1	
材質	耐候性鋼		耐候性鋼	
見込	200		200	
仕上	安定被膜促進処理		安定被膜促進処理	
硝子	6mm熱線反射ガラス (ツルギ)		6mm熱線反射ガラス (ツルギ)	
金物	・ドアエンジナー式			
備考				

記号	SKD-3	町民ホール	SKD-4	町民ホール
種類	Fixスクリーン	1期:- 2期:-	排煙外倒し窓6連	1期:- 2期:-
階別	1 2 3 4 計		1 2 3 4 計	
個数	1 0 0 0 1		0 1 0 0 1	
材質	耐候性鋼		耐候性鋼	
見込	200		86	
仕上	安定被膜促進処理		安定被膜促進処理	
硝子	6mm熱線反射ガラス (ツルギ)		6mm熱線反射ガラス (ツルギ)	
金物	・ドアチェック (ストップなし) ・握玉付シリンドラー錠 ・丁番 ・フランシス蓋し			
備考			オペレーター装置	

現況



厚生棟地下1階平面図

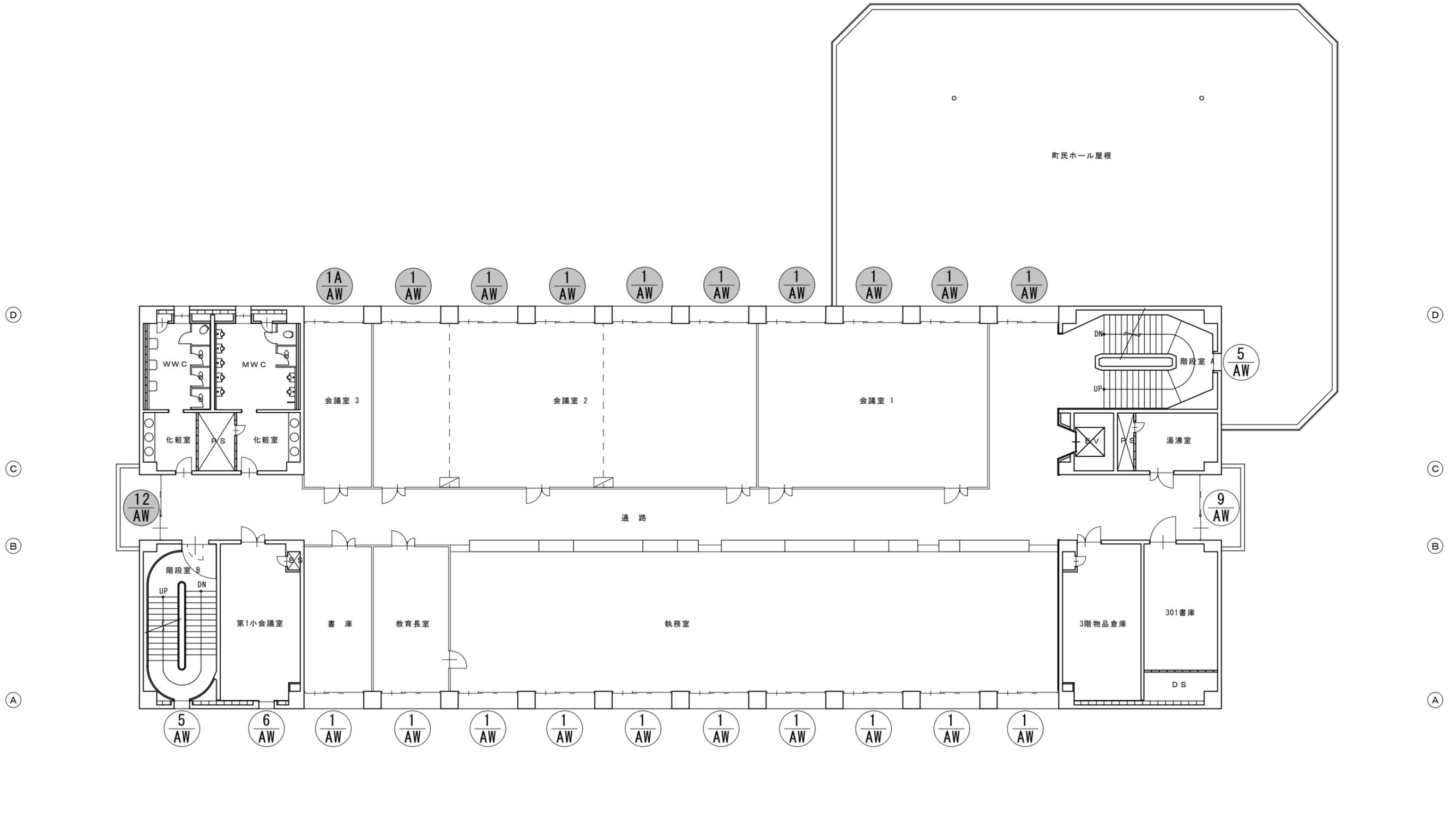


- ...2期工事：庁舎棟
町民ホールを示す
- ...2期工事：厚生棟
を示す

2階平面図

…2期工事：庁舎棟
町民ホールを示す

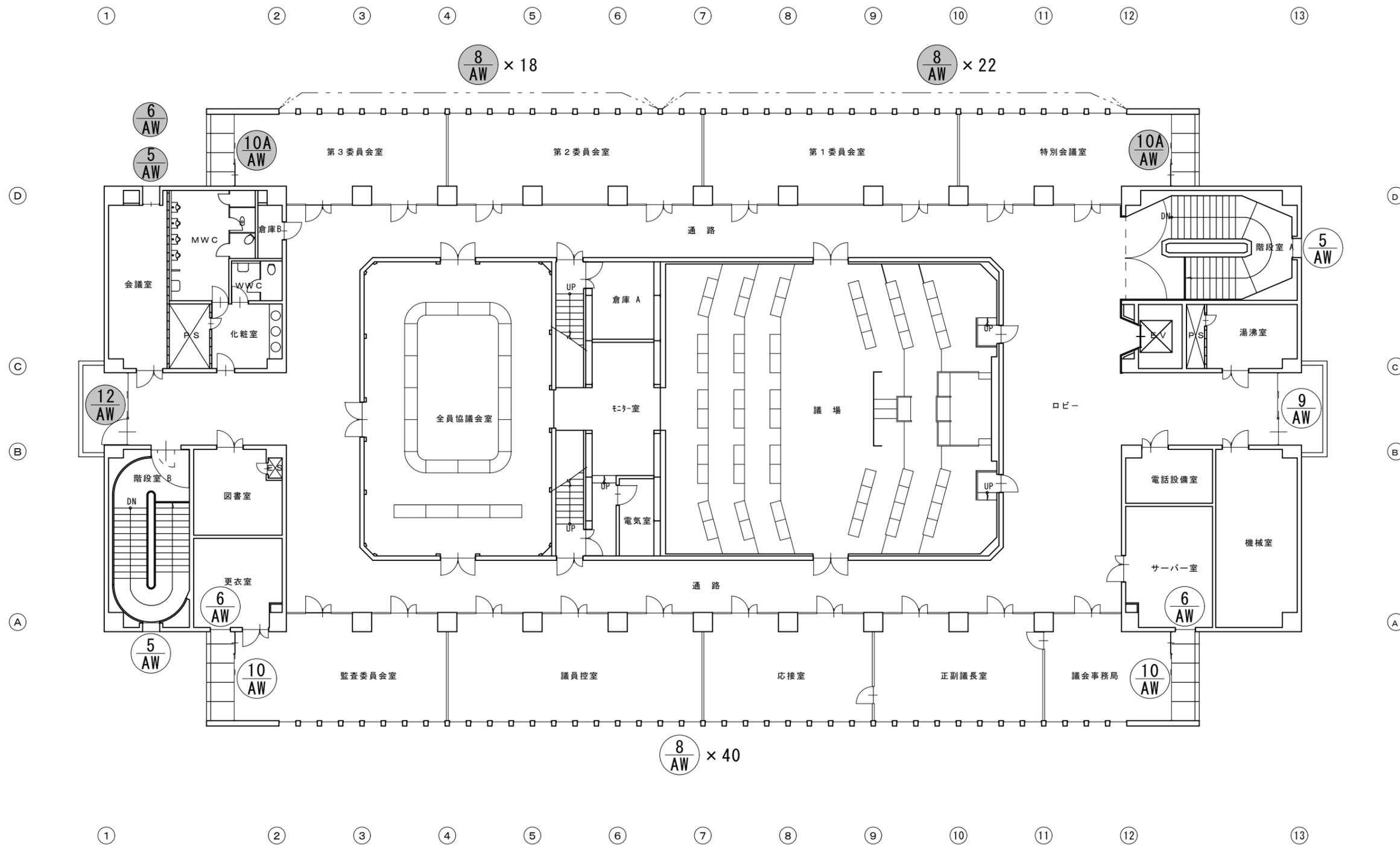
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬

3階平面図

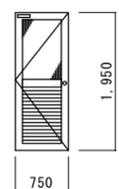
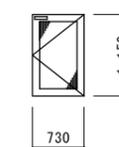
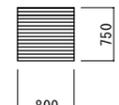
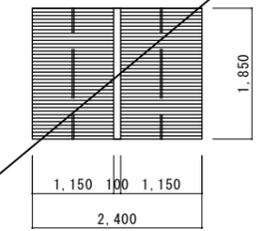
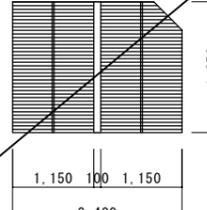
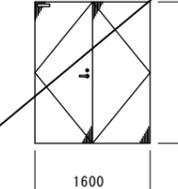
…2期工事：庁舎棟
町民ホールを示す



4階平面図

記号	AW-1	執務室・出納室・収入役室・副町長室・応接室	AW-1A	書庫B・図面保管室・会議室3	AW-2	公害測定機室・職員入口・職員福利厚生室・食堂	AW-3	食堂
種類	両袖片引き窓	1期:30 2期:20 庁舎棟	F1Xランマ片引き窓	1期:- 2期:3 庁舎棟	片引き窓	1期:- 2期:4 厚生棟	片引き窓	1期:- 2期:1 厚生棟
階別	1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計	
個数	15 16 19 4 50		1 1 1 1 3		4 4 4 4 4		1 1 1 1 1	
材質	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
見込	70		70		70		70	
仕上	電解着色		電解着色		電解着色		電解着色	
硝子	Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6	
金物	クレセント・戸車 網戸(SUS) 付属金物一式		クレセント・戸車 網戸(SUS) 付属金物一式		クレセント・戸車 網戸(SUS) 付属金物一式		クレセント・戸車 網戸(SUS) 付属金物一式	
備考	MTG-70R同等品 ブラインド縦型 W=3220 H=2600	※三階11・12通り間のみ 網戸なし	MTG-70R同等品 ブラインド縦型 W=3220 H=2600	MTG-70R同等品 ブラインド縦型 W=5080 H=2000 ※和室・食堂のみ網戸	MTG-70R同等品 ブラインド縦型 W=5080 H=2000	MTG-70R同等品 ブラインド縦型 W=5080 H=2000	MTG-70R同等品 ブラインド縦型 W=5080 H=2000	MTG-70R同等品 ブラインド縦型 W=5080 H=2000
記号	AW-4	警備室・空調機械室・更衣室・健康相談室・和室・職員会議室	AW-5	階段室B	AW-6	図書保管室・第1小会議室・更衣室・サーバース	AW-8	特別会議室・第1委員会室・第2委員会室・第3委員会室
種類	片開き窓	1期:- 2期:町民ホール 4 厚生棟 11	F1X窓	1期:5 2期:1 庁舎棟	F1X窓	1期:4 2期:1 庁舎棟	たてすべり出し窓	1期:40 2期:40 庁舎棟
階別	B1 1 2 3 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計	
個数	2 13 15		1 1 1 3 6		1 1 1 3 5		80 80	
材質	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
見込	70		70		70		70	
仕上	電解着色		電解着色		電解着色		電解着色	
硝子	Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6	
金物	ハンドル・丁番 アコーデオン網戸 付属金物一式		ハンドル・丁番 アコーデオン網戸 付属金物一式		ハンドル・丁番 アコーデオン網戸 付属金物一式		ハンドル・丁番 アコーデオン網戸 付属金物一式	
備考	MTG-70R同等品 ブラインド縦型 W=680 H=2000	※網戸・ブラインドは一階のみ	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品 ブラインド横型 W=850 H=1500	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品
記号	AW-10	監査委員会室・議員事務局	AW-10A	監査委員会室・議員事務局	AW-11	宿直室	AW-12	通路
種類	F1Xランマ両袖片引き窓	1期:2 2期:-	F1Xランマ両袖片引き窓	1期:- 2期:2 庁舎棟	引違い窓	1期:- 2期:1 町民ホール	片開き扉ドア袖F1X窓	1期:- 2期:2 庁舎棟
階別	1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計	
個数	2 2 2 2		2 2 2 2		1 1 1 1		1 1 1 2	
材質	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
見込	70		70		70		70	
仕上	電解着色		電解着色		電解着色		電解着色	
硝子	Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6	
金物	クレセント・戸車 付属金物一式		クレセント・戸車 付属金物一式		クレセント・戸車 網戸(SUS) 付属金物一式		錠前・DC 付属金物一式	
備考	MTG-70R同等品 ブラインド縦型 W=4270 H=2600		MTG-70R同等品 ブラインド縦型 W=4270 H=2600	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品
記号	AD-1	空調機械室・警備室	AD-3	町民ホール	AD-4	公害測定機室	AD-5	職員入口
種類	両開き扉ドア(腰パネル)	1期:- 2期:2 厚生棟	両開き扉ドラランマF1X	1期:- 2期:1 町民ホール	片開き扉ドラランマF1X	1期:- 2期:1 厚生棟	ランマ外側付両開き扉ドラ	1期:- 2期:1 町民ホール
階別	B1 1 2 3 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計		1 2 3 4 計	
個数	2 1 1 2 2		1 1 1 1		1 1 1 1		1 1 1 1	
材質	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
見込	70		70		70		70	
仕上	電解着色		電解着色		電解着色		電解着色	
硝子	Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6		Low-E6+A6+FL6	
金物	錠前・DC 付属金物一式		錠前・DC 付属金物一式		錠前・DC 付属金物一式		押棒・本締め錠・DC オペレーター装置 付属金物一式	
備考	MTG-70R同等品		MTG-70R同等品	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品	MTG-70R同等品
記号	AD-6	食堂						
種類	片開き扉ドラランマF1X	1期:- 2期:1 厚生棟						
階別	1 2 3 4 計							
個数	1 1 1 1 1							
材質	アルミ							
見込	70							
仕上	電解着色							
硝子	Low-E6+A6+FL6							
金物	錠前・DC 付属金物一式 ハックチェック付トアローサー							
備考	MTG-70R同等品							

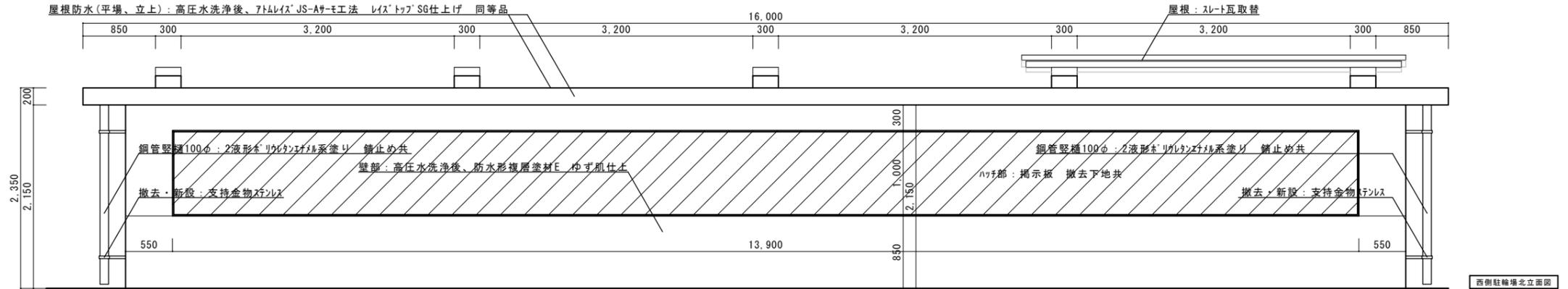
改修

記号	AD-7	倉庫	AD-8	熱源機器置場	AG-1	福利厚生棟屋上	AG-2	福利厚生棟屋上	AG-3	機械室
種類	片開き扉ドア(パネル・ガラリ付)	1期:- 2期:1	片開き扉ドア	1期:- 2期:1	ガラリ窓	1期:- 2期:2	ガラリ窓	1期:- 2期:1	ガラリ窓	1期:3 2期:-
階別	B1 1 2 3 計	厚生棟	1 2 3 4 計	厚生棟	1 2 3 4 計	厚生棟	1 2 3 4 計	厚生棟	2 3 4 5 計	
個数	1 1 1 1 1		1 1 1 1 1		2 2 2 2 2		1 1 1 1 1		3 3 3 3 3	
材質	アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
見込	70		70		70		70		70	
仕上	電解着色		電解着色		電解着色		電解着色		電解着色	
硝子										
金物	錠前・DC 付属金物一式		錠前・DC 付属金物一式		防鳥網 付属金物一式		防鳥網 付属金物一式		防鳥網 付属金物一式	
備考	MTG-70R同等品		MTG-70R同等品		MTG-70R同等品		MTG-70R同等品		MTG-70R同等品	
記号	AG-4	機械室	SD-3	機械室						
種類	ガラリ窓	1期:1 2期:-	両開きフラッシュドア	1期:2 2期:-						
階別	2 3 4 5 計		2 3 4 5 計		2 3 4 5 計					
個数	1 1 1 1 1		2 2 2 2 2							
材質	アルミ		スチール							
見込	70		40							
仕上	電解着色		SOP							
硝子										
金物	防鳥網 付属金物一式		錠前・DC 付属金物一式							
備考			扉のみ交換 枠 SOP塗り							
記号										
種類										
階別										
個数										
材質										
見込										
仕上										
硝子										
金物										
備考										
記号										
種類										
階別										
個数										
材質										
見込										
仕上										
硝子										
金物										
備考										

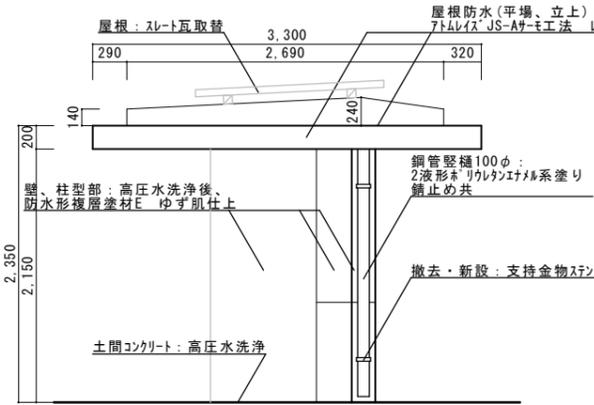
改修

改修

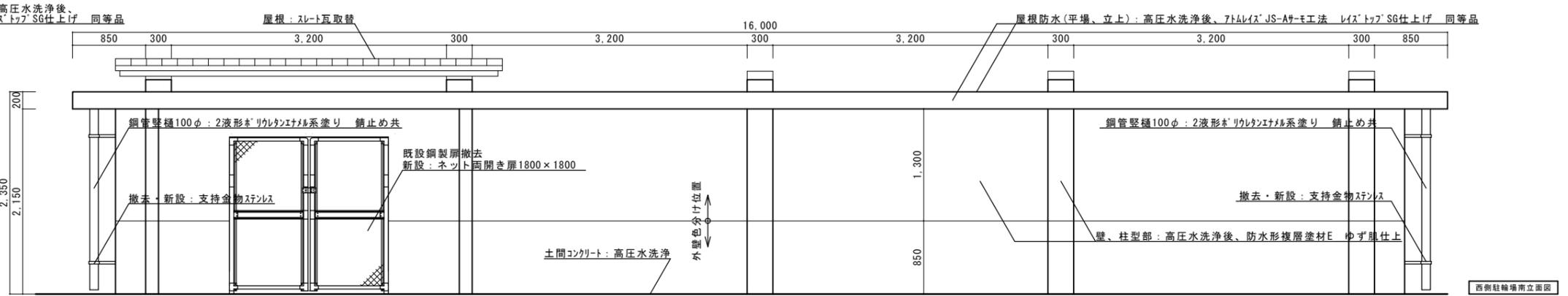
外部仕上げ表【現況】		外部仕上げ表【改修】	
屋根	コンクリート打ち放しの上、ウレタン防水	屋根	既存の上、高圧水洗浄後、7トムレイズ JS-Aサ-モエ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品
屋根	スレート瓦(ホ-ンハ-置場)	屋根	スレート瓦取替
軒天	吹付タイル	軒天	既存の上、高圧水洗浄後、外装薄塗り塗装E
軒天	コンクリート打ち放し(4方W150部)	軒天	既存の上、高圧水洗浄後、7トムレイズ JS-Aサ-モエ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品
外壁	コンクリート打ち放し、北面一部掲示板	外壁	既存の上、高圧水洗浄後、防水形複層塗材E ゆず肌仕上
床	コンクリート打ち放し	床	既存の上、高圧水洗浄
雨樋	鋼管縦樋100φ	雨樋	既存の上、2液形ホ-リウレタンエポキシ系塗料 錆止め共 支持金物ステンレス
建具	SD	建具	既存撤去の上、ネット両開き扉設置
掲示板	合板厚5.5下地 掲示クロス	掲示板	撤去



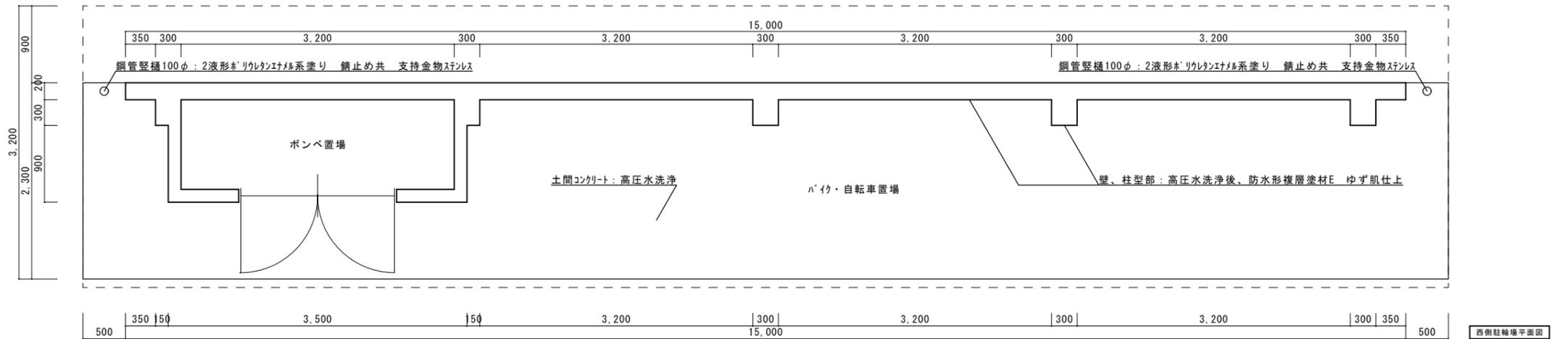
西側駐輪場北立面図



西側駐輪場東立面図



西側駐輪場南立面図

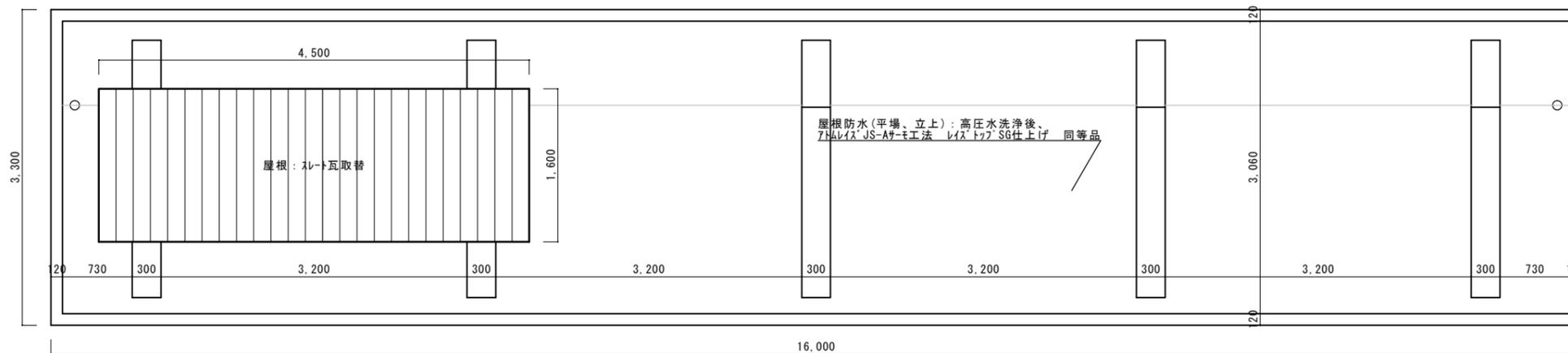


西側駐輪場平面図

※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする

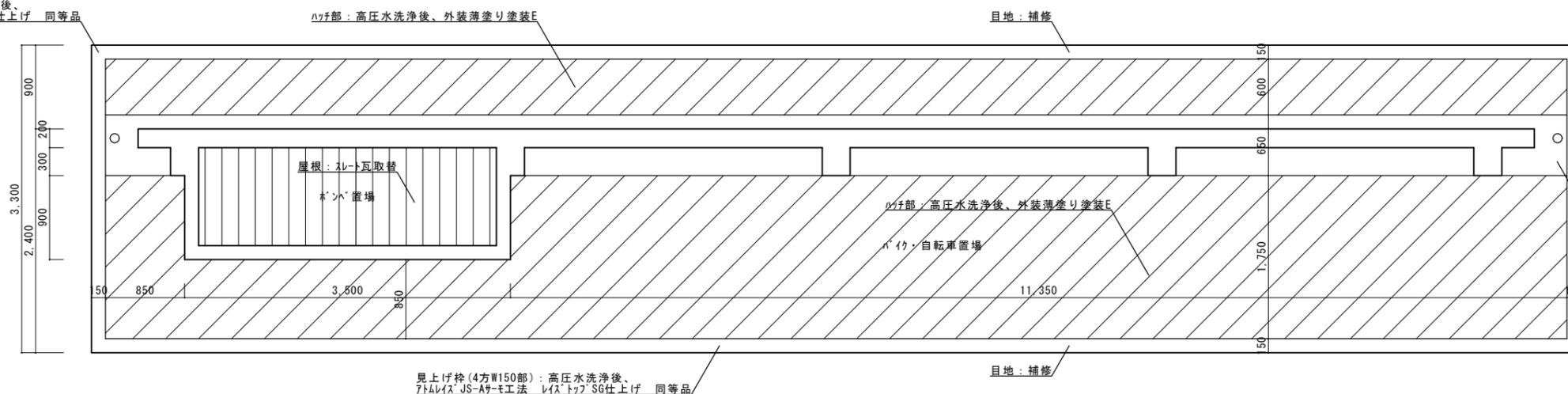
改修

外部仕上げ表【現況】		外部仕上げ表【改修】	
屋根	コンクリート打ち放しの上、ウレタン防水	屋根	既存の上、高圧水洗浄後、7トムレイズ JS-A9-モエ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品
屋根	スレート瓦(ホソバ置場)	屋根	スレート瓦取替
軒天	吹付ケイル	軒天	既存の上、高圧水洗浄後、外装薄塗り塗装E
軒天	コンクリート打ち放し(4方W150部)	軒天	既存の上、高圧水洗浄後、7トムレイズ JS-A9-モエ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品
外壁	コンクリート打ち放し、北面一部掲示板	外壁	既存の上、高圧水洗浄後、防水形複層塗材E ゆず肌仕上
床	コンクリート打ち放し	床	既存の上、高圧水洗浄
雨樋	鋼管縦樋100φ	雨樋	既存の上、2液形ホリウレタンエナメル系塗料 錆止め共 支持金物ステンレス
建具	SD	建具	既存の上、2液形ホリウレタンエナメル系塗料 錆止め共 枠共(両面)
掲示板	合板厚5.5下地 掲示クロス	掲示板	撤去



西側駐輪場屋根伏図

見上げ枠(4方W150部): 高圧水洗浄後、7トムレイズ JS-A9-モエ工法 レイズトップ SG仕上げ 同等品

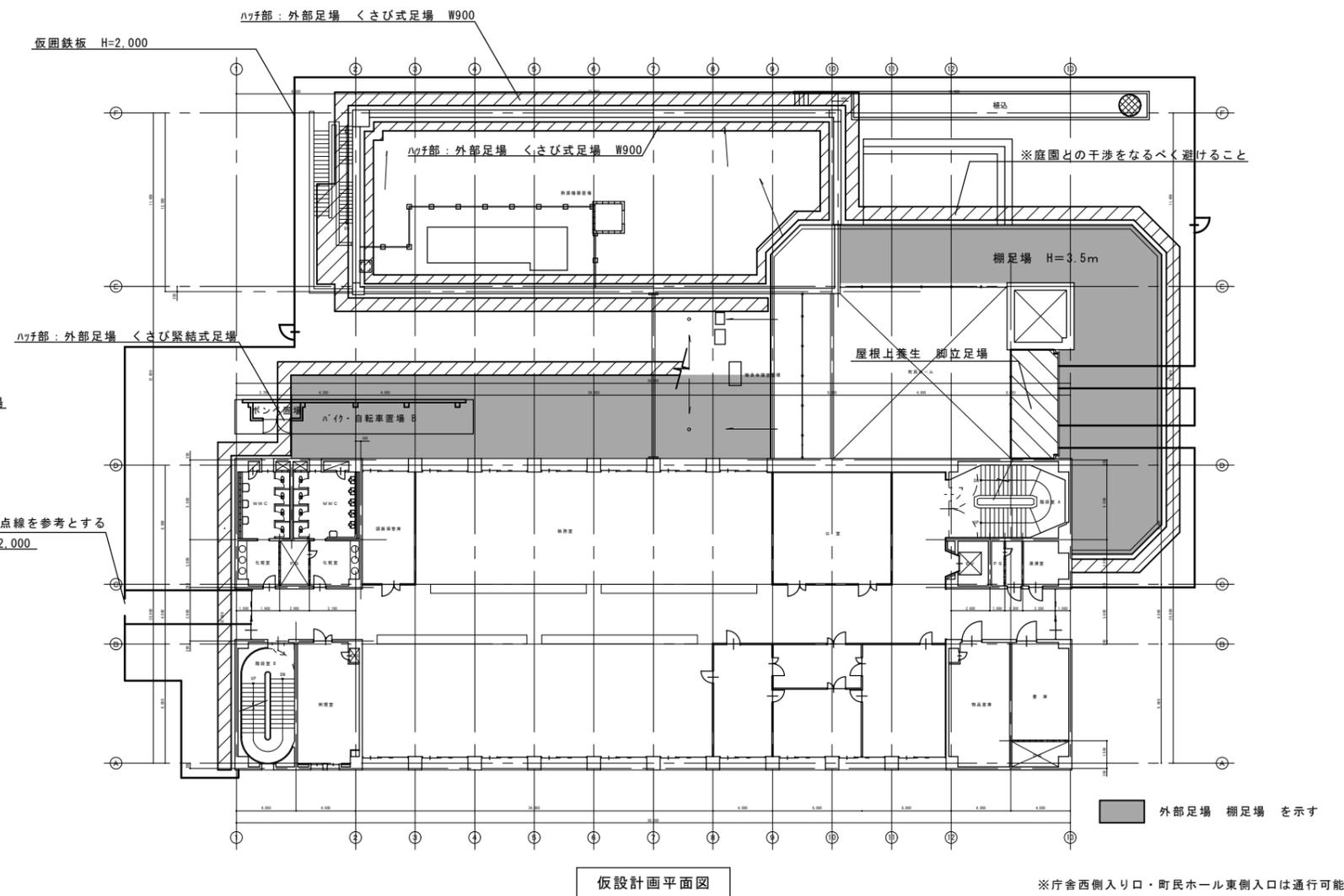
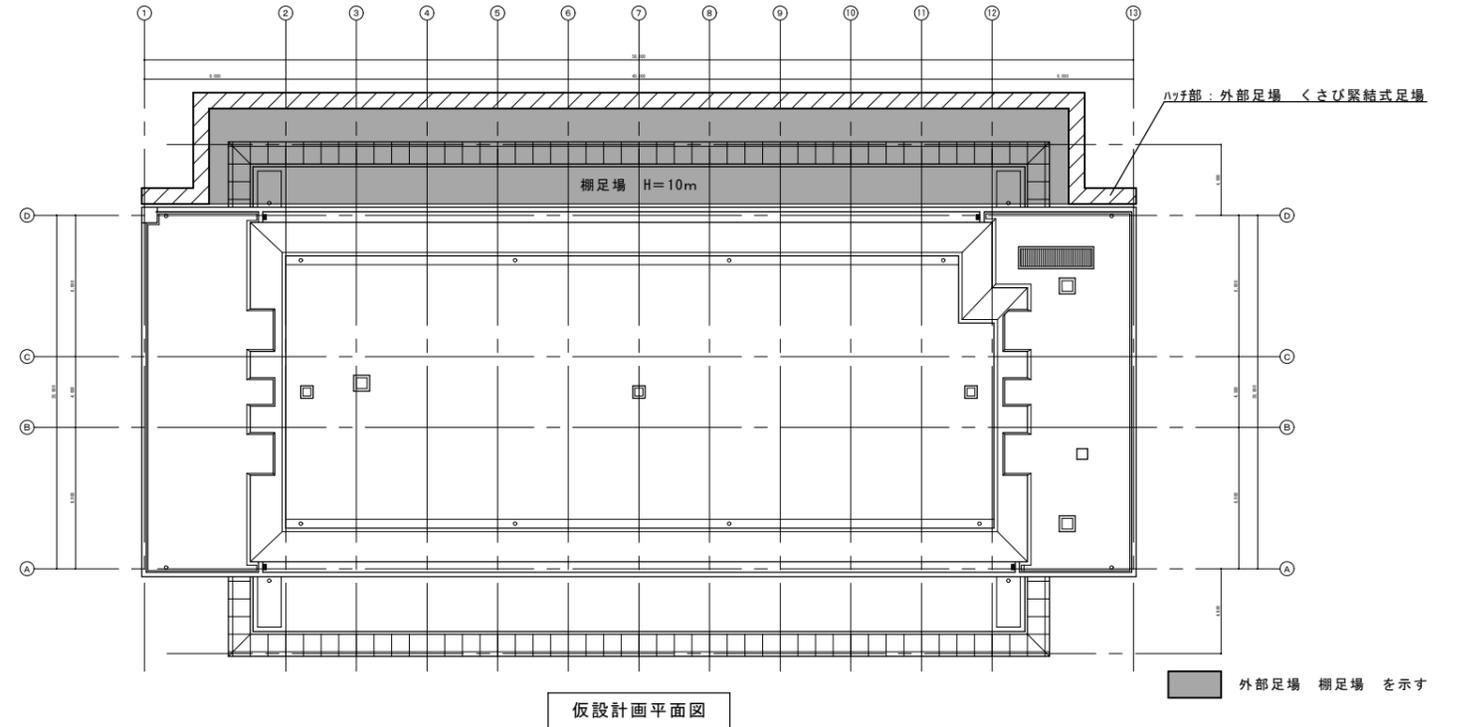
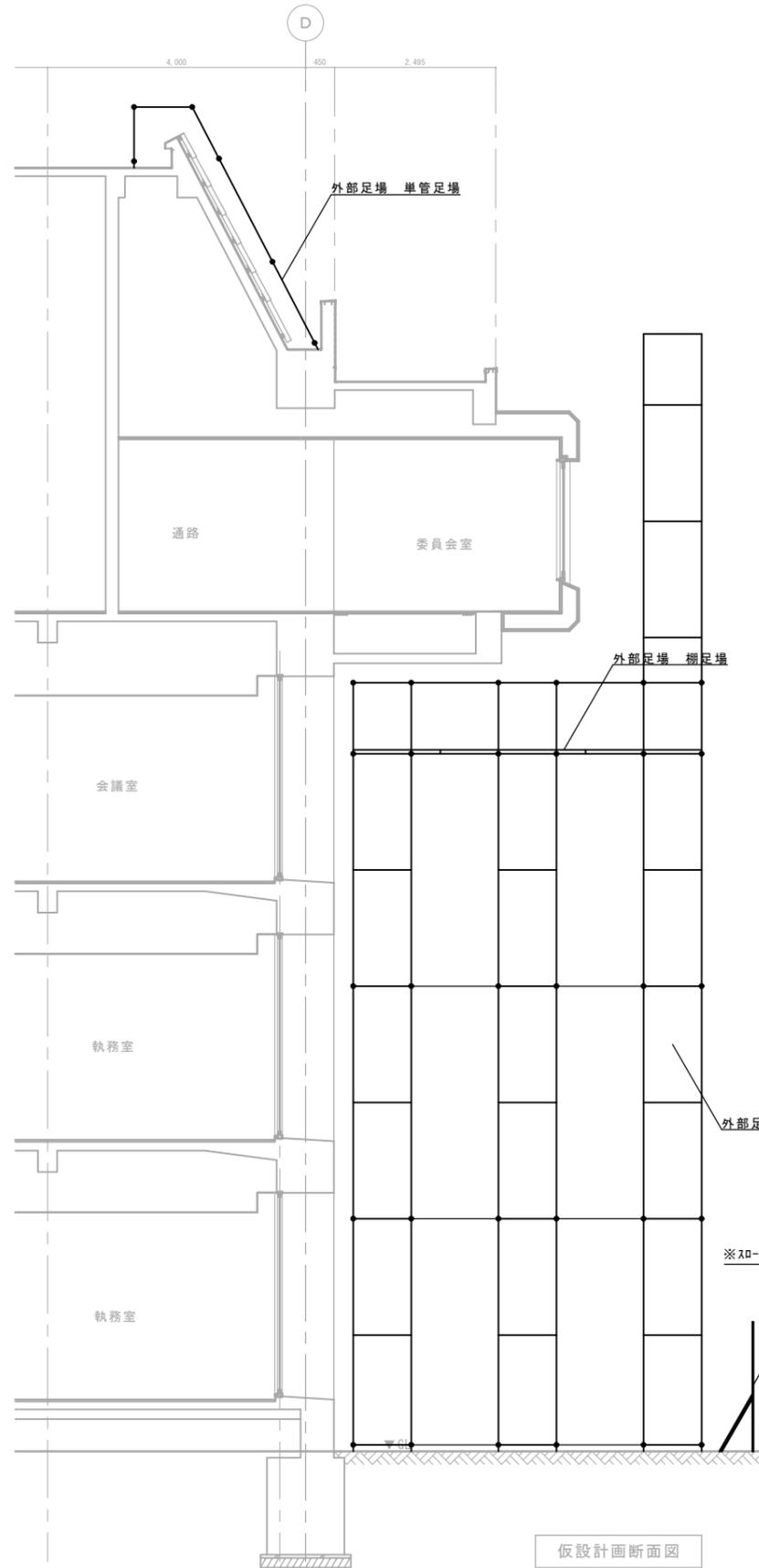


ハッチなし部(コンクリート打ち放し部): 高圧水洗浄後、外装薄塗り塗装E

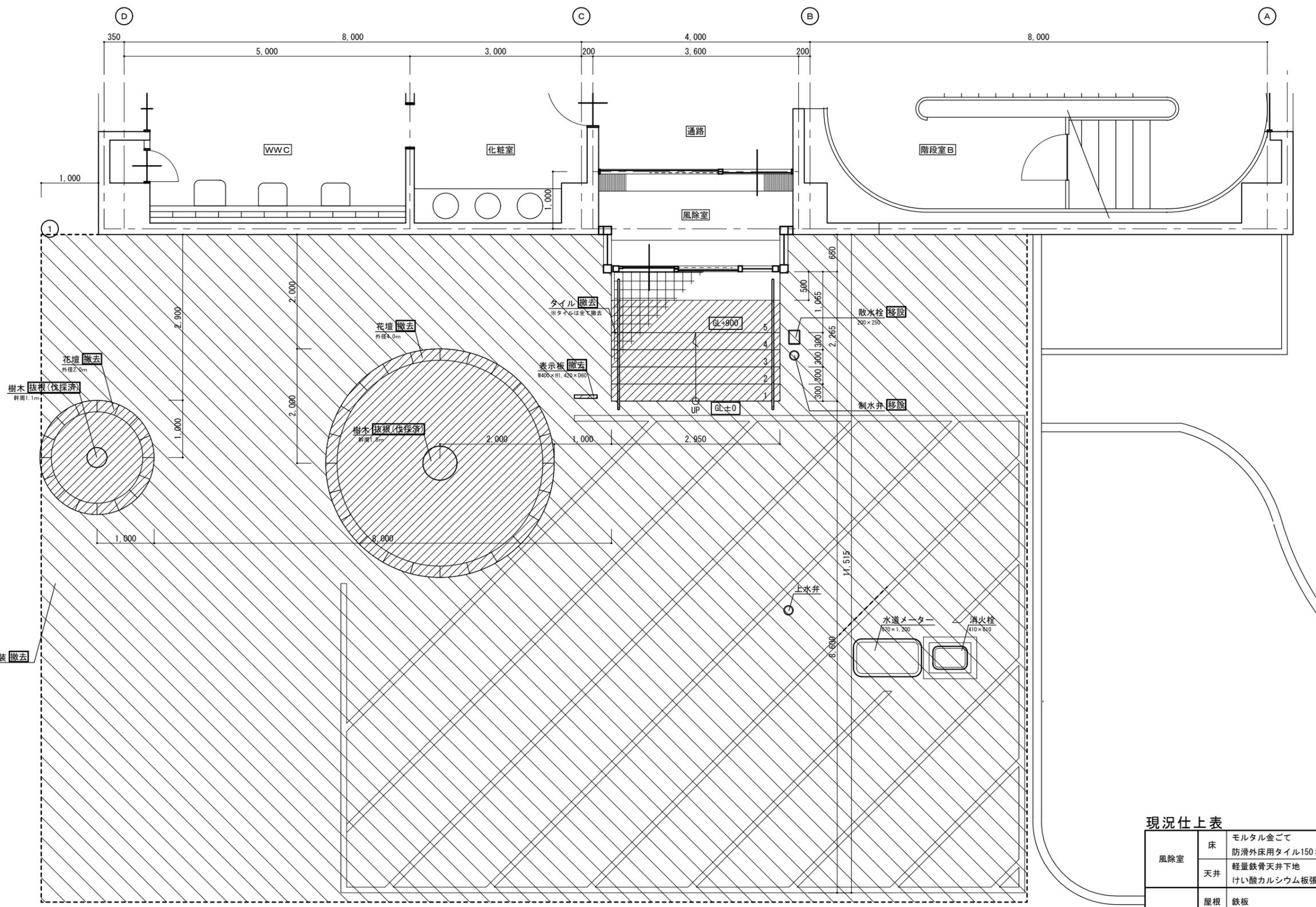
西側駐輪場天井伏図

※特記のない高圧水洗浄の水圧は10MPaとする

改修



※庁舎西側入り口・町民ホール東側入り口は通行可能とし
壁・天井面を囲うこと
※自転車置き場・スロープ設置工事は足場撤去後に行う

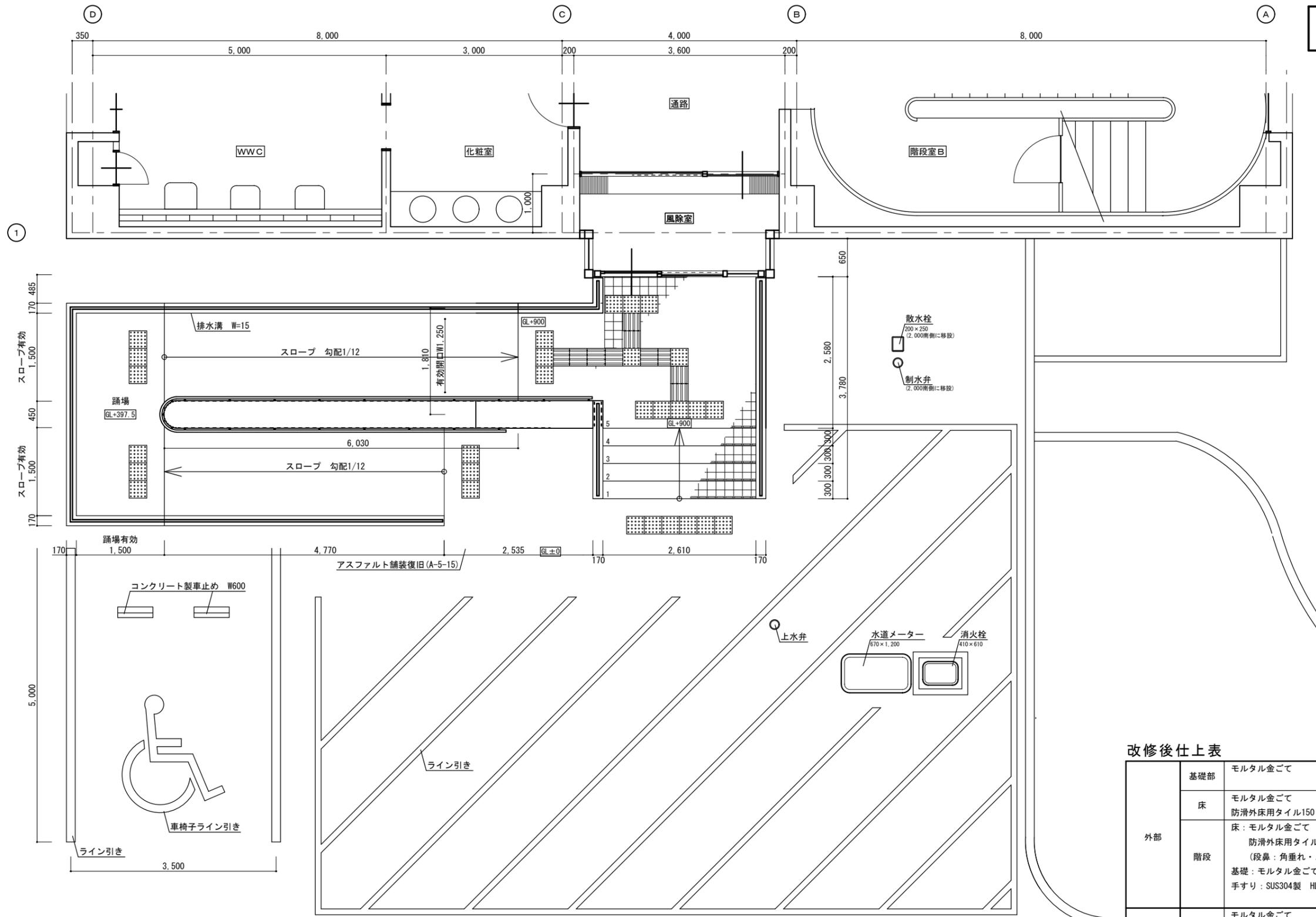


現況仕上表

風除室	床	モルタル金ごて 防滑外用タイル150×150	
	天井	軽量鉄骨天井下地 けい酸カルシウム板張り厚6 EP-G塗り	
外部	屋根	鉄板	
	床	モルタル金ごて タイル150×150	撤去
	立上	モルタル金ごて 手すり: SUS304製	撤去
	軒天	ボード	

平面図【現況】 S=1/50

改修後



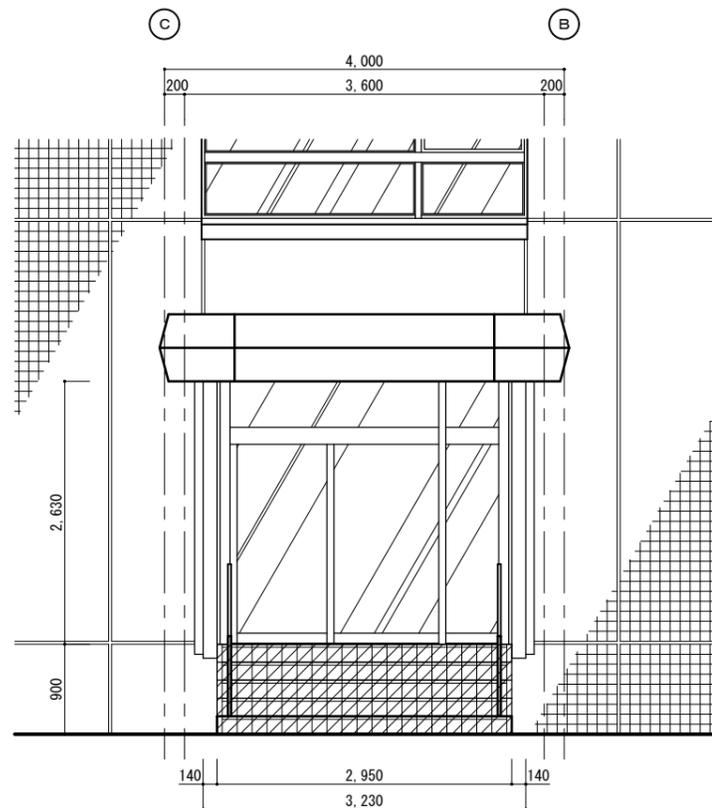
平面図【改修後】 S=1/50

改修後仕上表

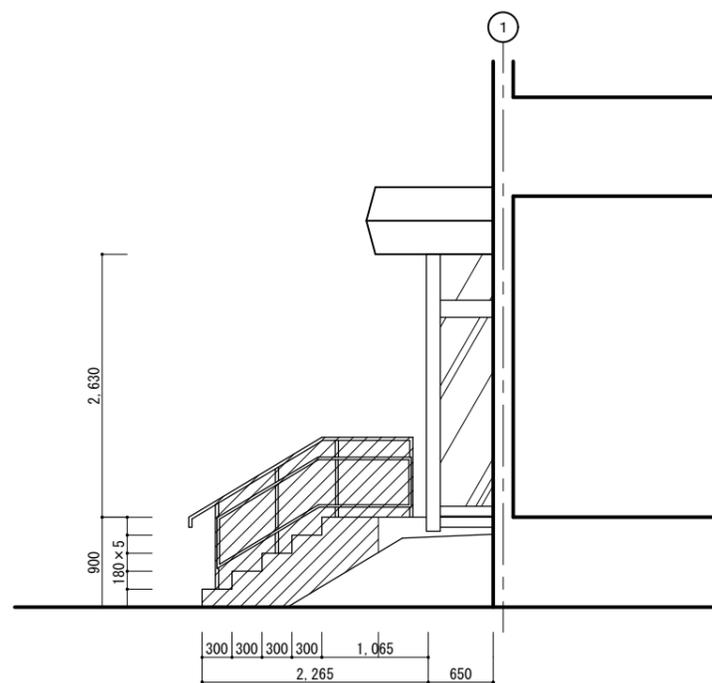
外部	基礎部	モルタル金ごて
	床	モルタル金ごて 防滑外用タイル150×150
	階段	床：モルタル金ごて 防滑外用タイル150×150 (段鼻：角垂れ・ノンスリップ用凹凸付) 基礎：モルタル金ごて 手すり：SUS304製 HL t2.0
スロープ 踊場	基礎・壁	モルタル金ごて (壁部笠木：モルタル金ごて)
	床	モルタル刷毛引き
	手すり	手すり：SUS304製 HL t2.0

※撤去による破損部は補修すること。(既存合せ)

現況

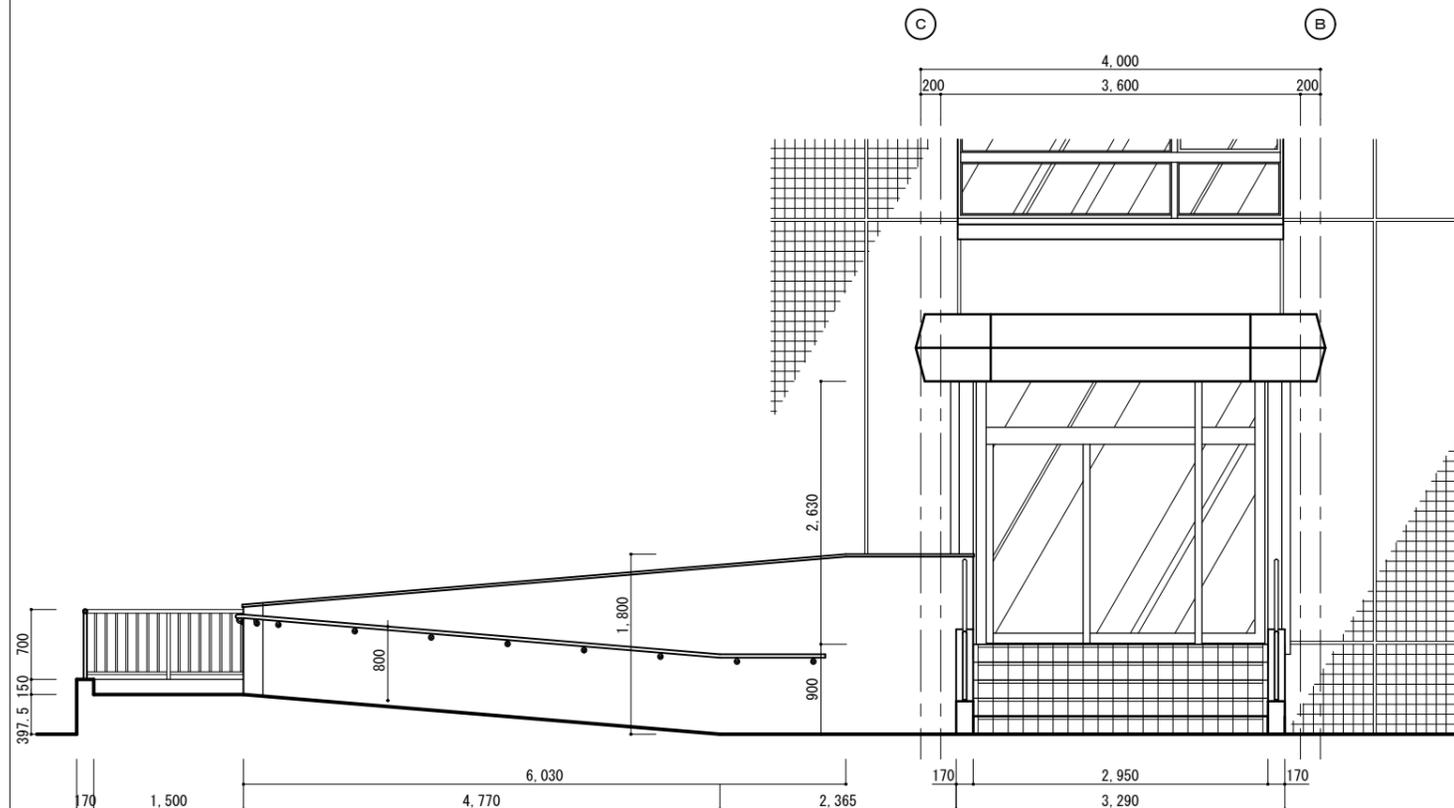


立面図【現況】 S=1/50 ... 撤去範囲を示す

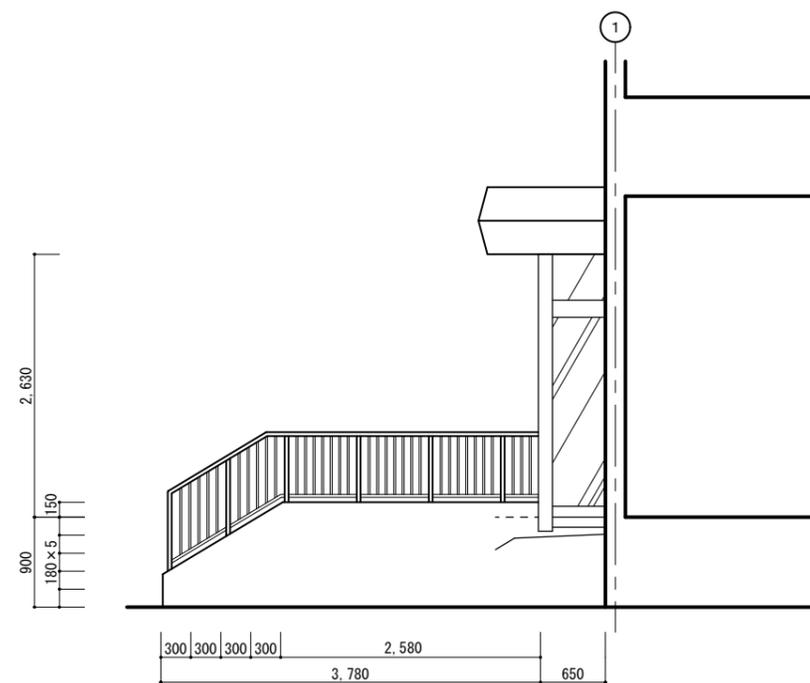


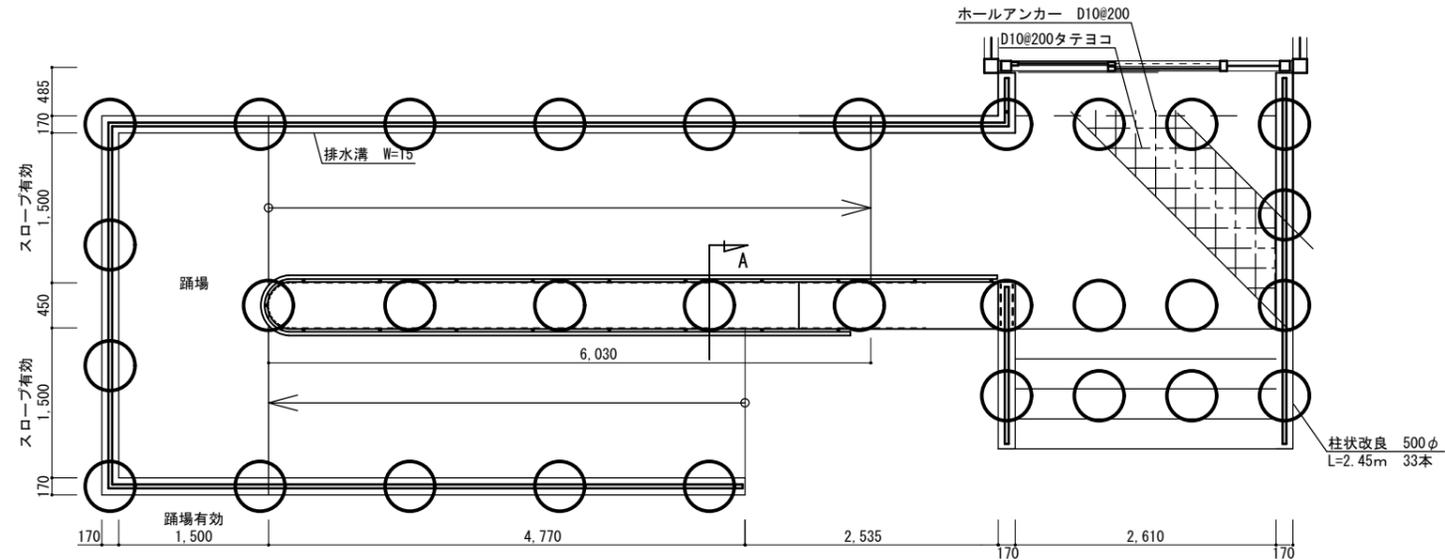
立面図【現況】 S=1/50 ... 撤去範囲を示す

改修後

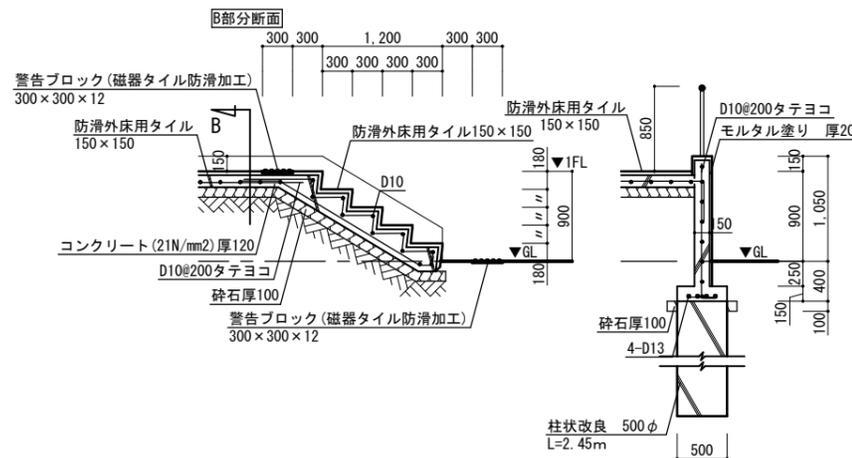
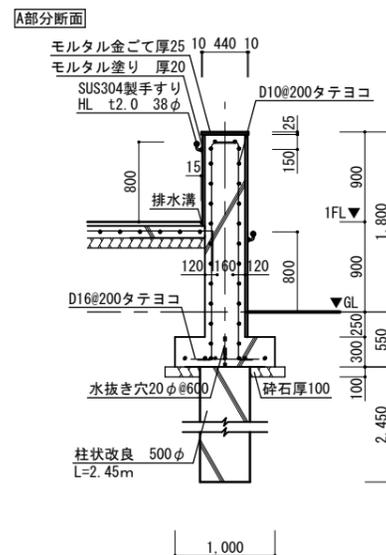


立面図【現況】 S=1/50

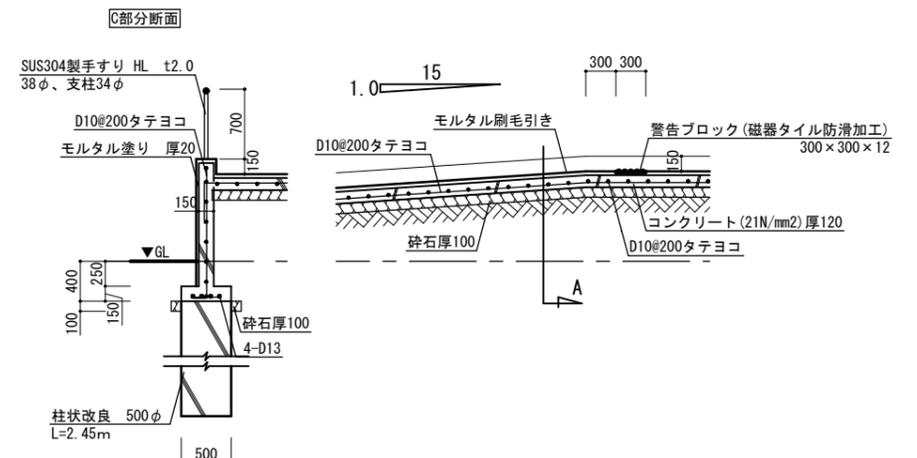




平面図【改修後】 S=1/50



階段断面図【改修後】 S=1/50



スロープ断面図【改修後】 S=1/50

現況

調査事項	備考	単位	凡例
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K)
浮き	タイル剥離	m ²	(U)
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)

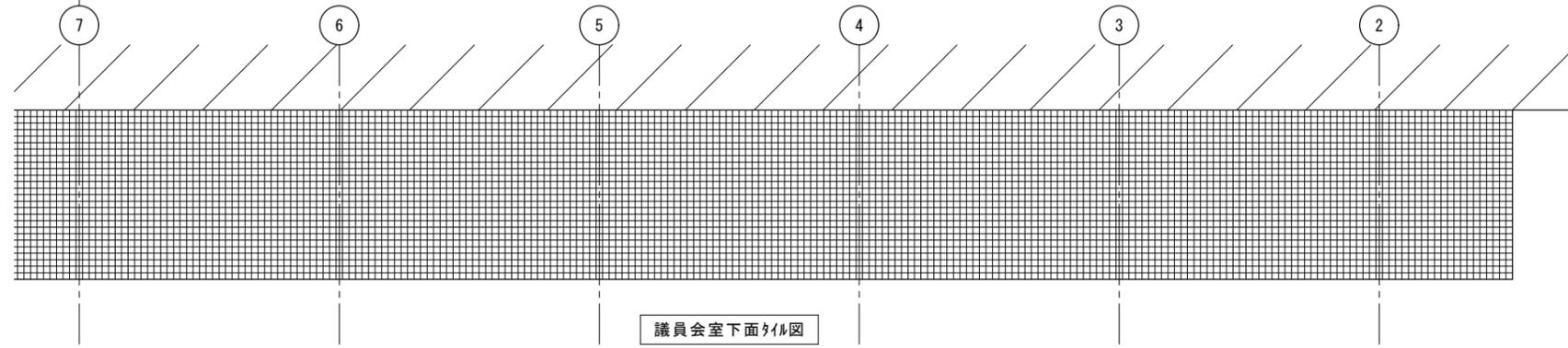
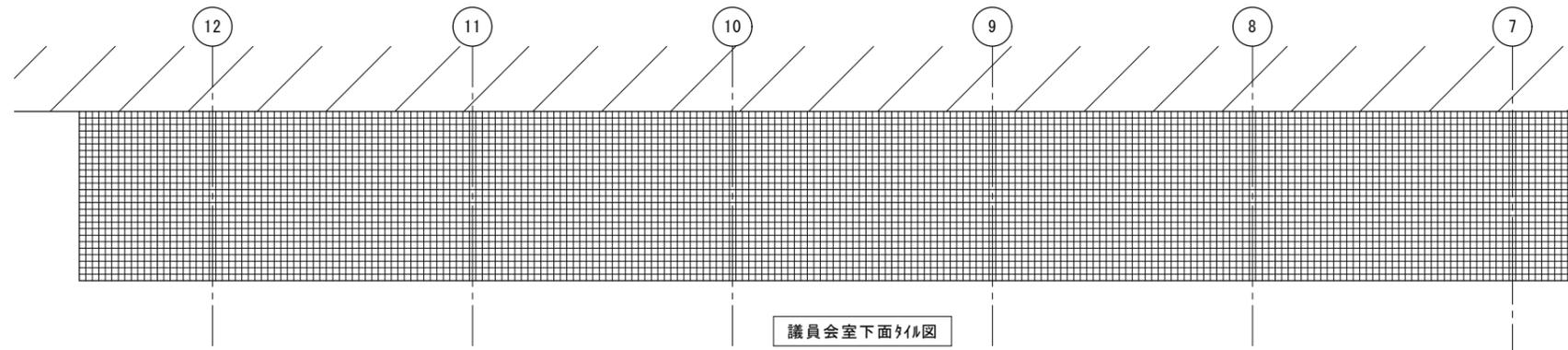
※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする



北面立面図

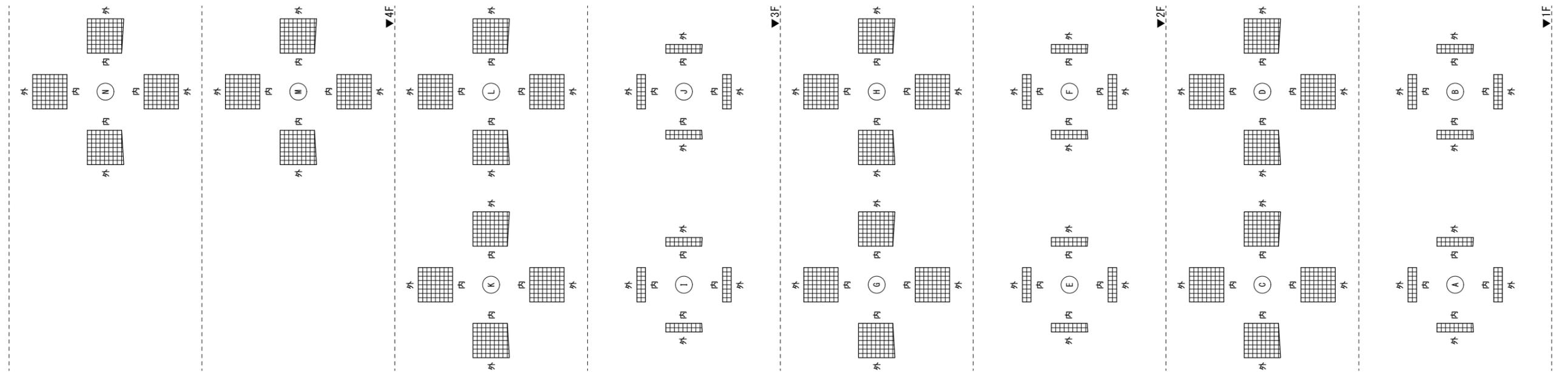
(U00)
(0.03)

現況



調査事項	備考	単位	凡例
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K)
浮き	タイル剥離	m ²	(U)
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)

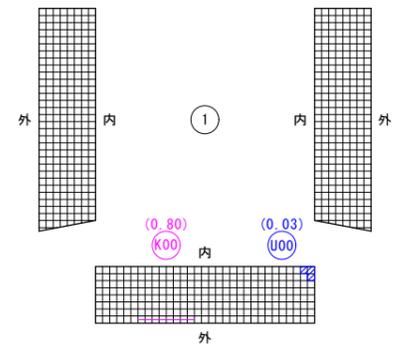
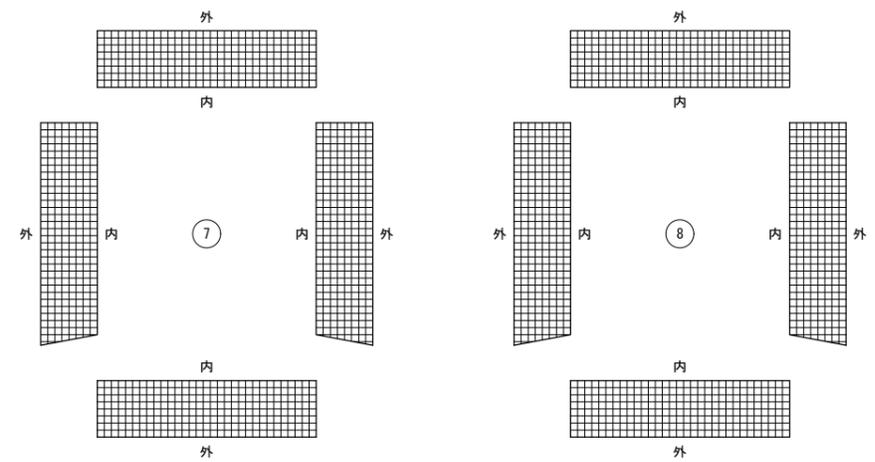
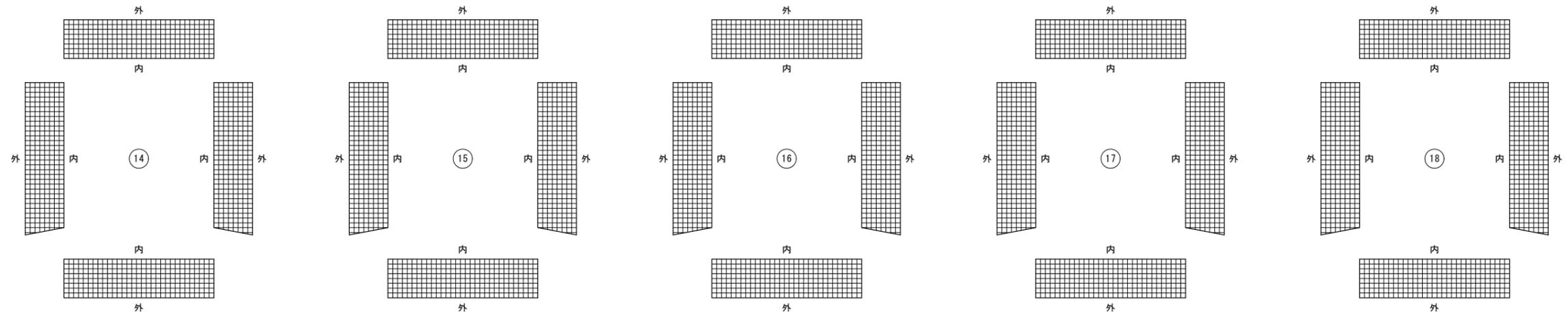
※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする



現況

調査事項	備考	単位	凡例
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする

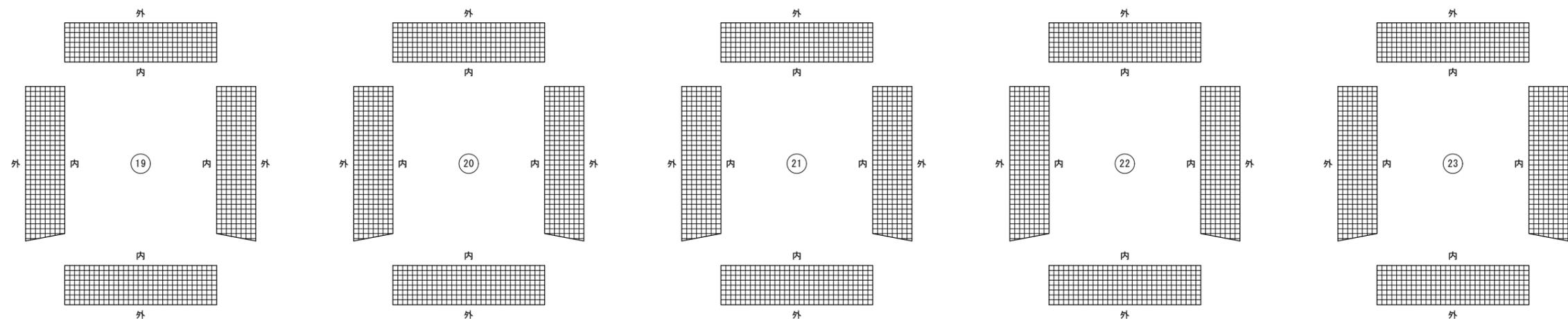


北立面図【窓廻り】

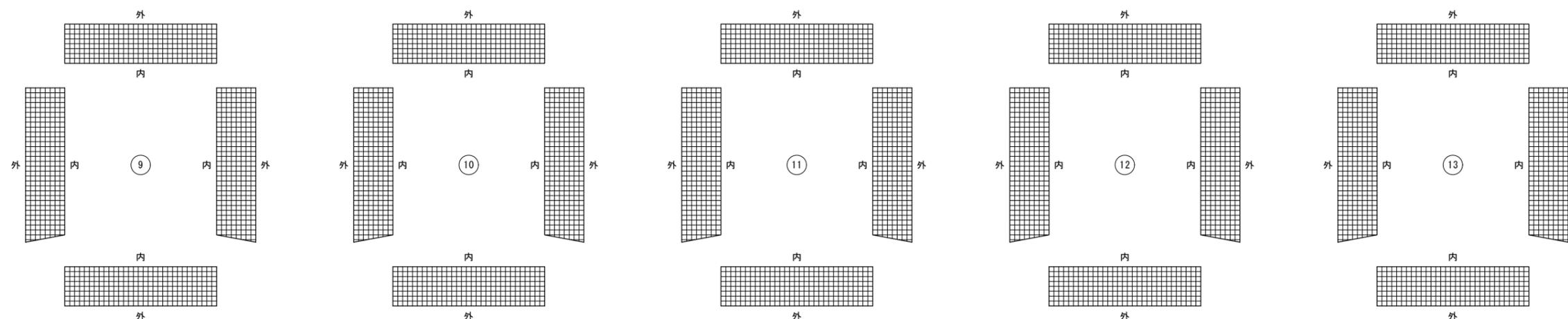
現況

調査事項	備考	単位	凡例
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K)
浮き	タイル剥離	m ²	(U)
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K)

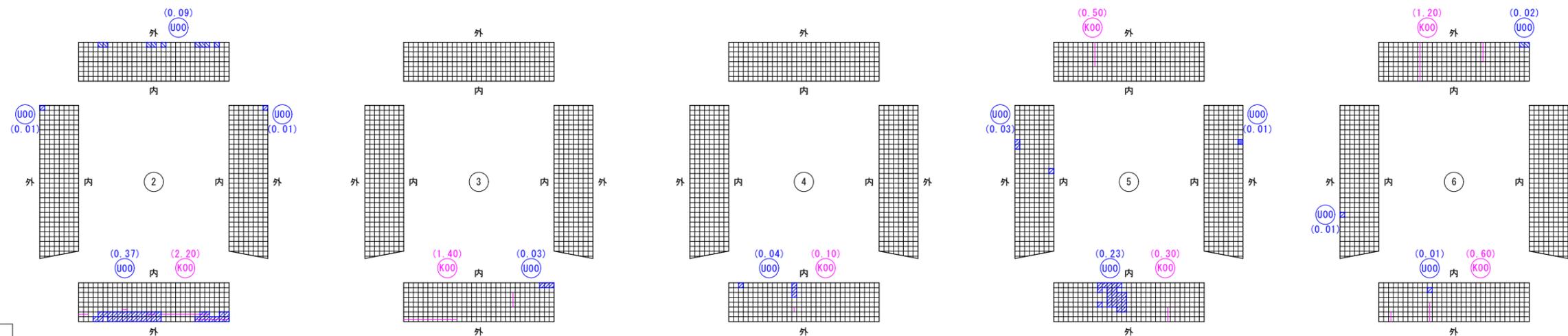
※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする



▼3F



▼2F



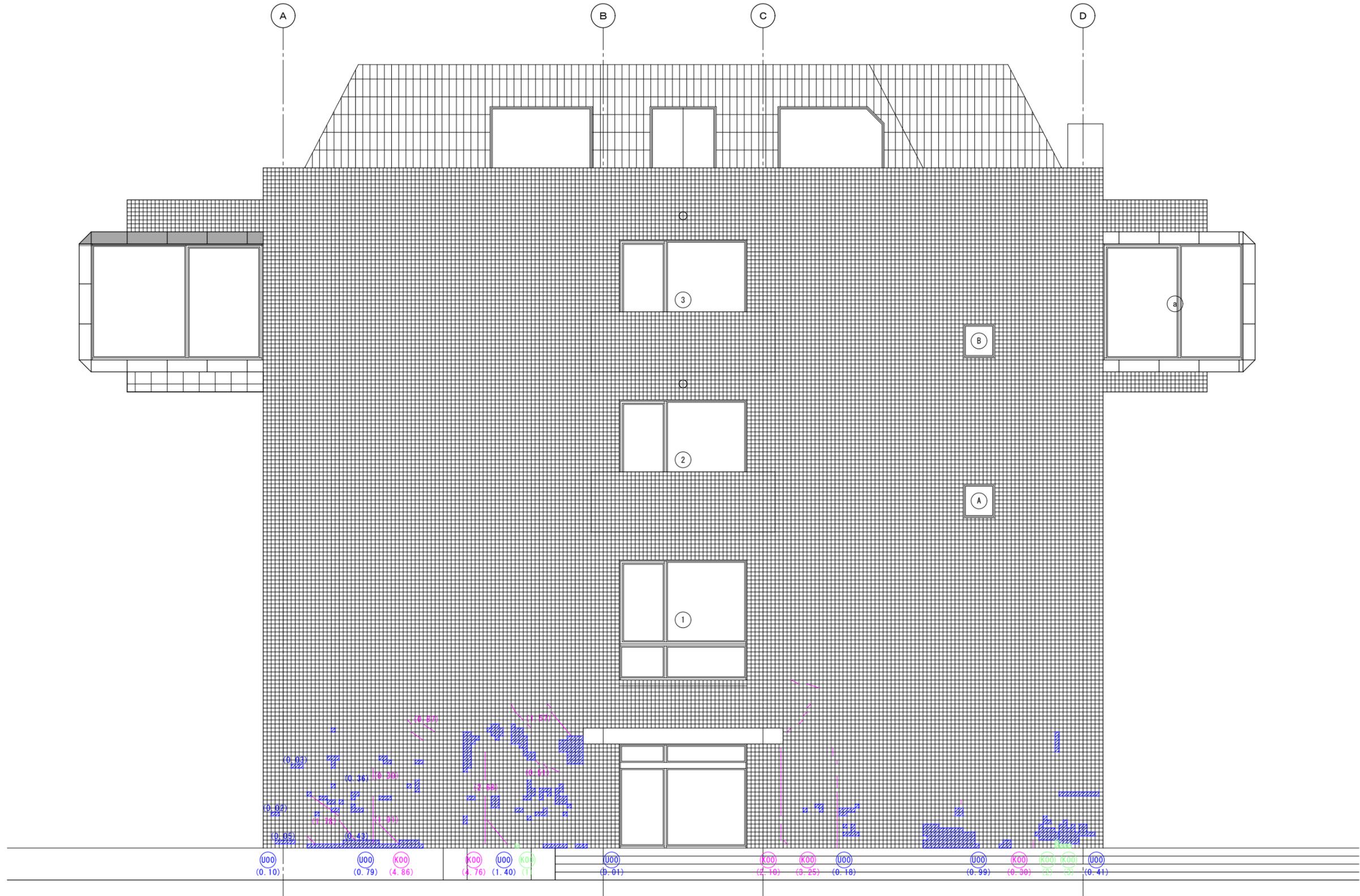
北立面図【窓廻り】

▼1F

現況

調査事項	備考	単位	凡例
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K)
浮き	タイル剥離	m ²	(U)
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K)

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする

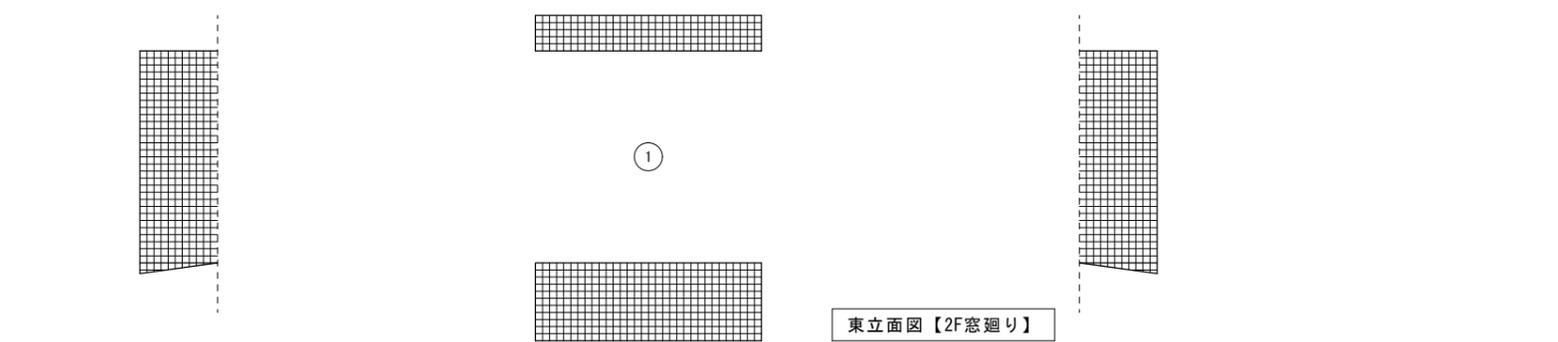
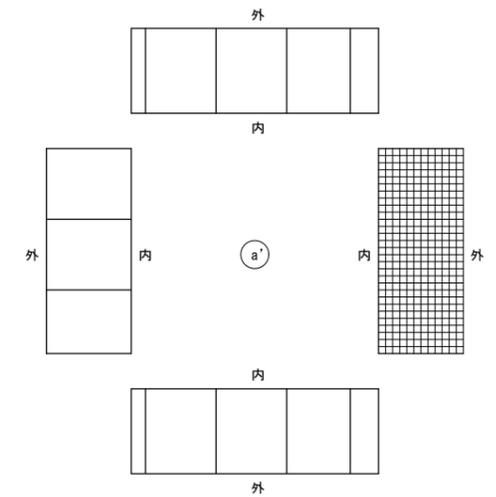
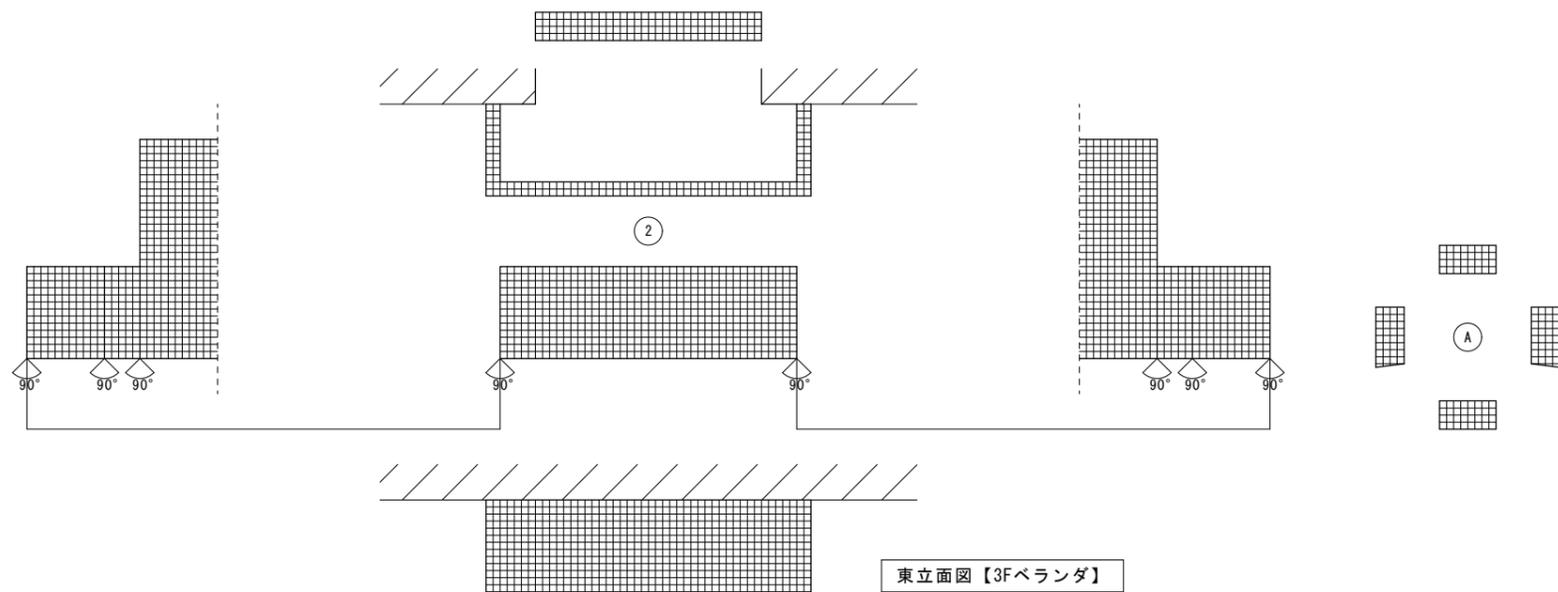
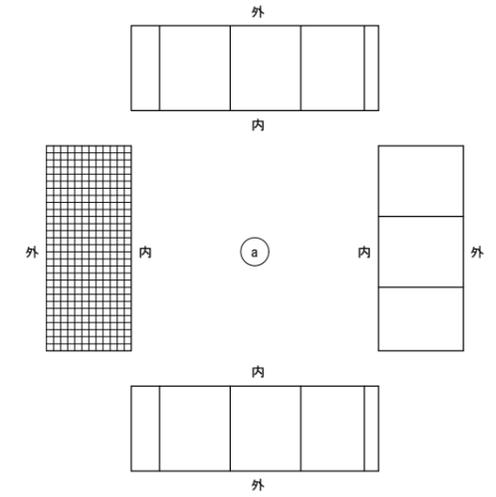
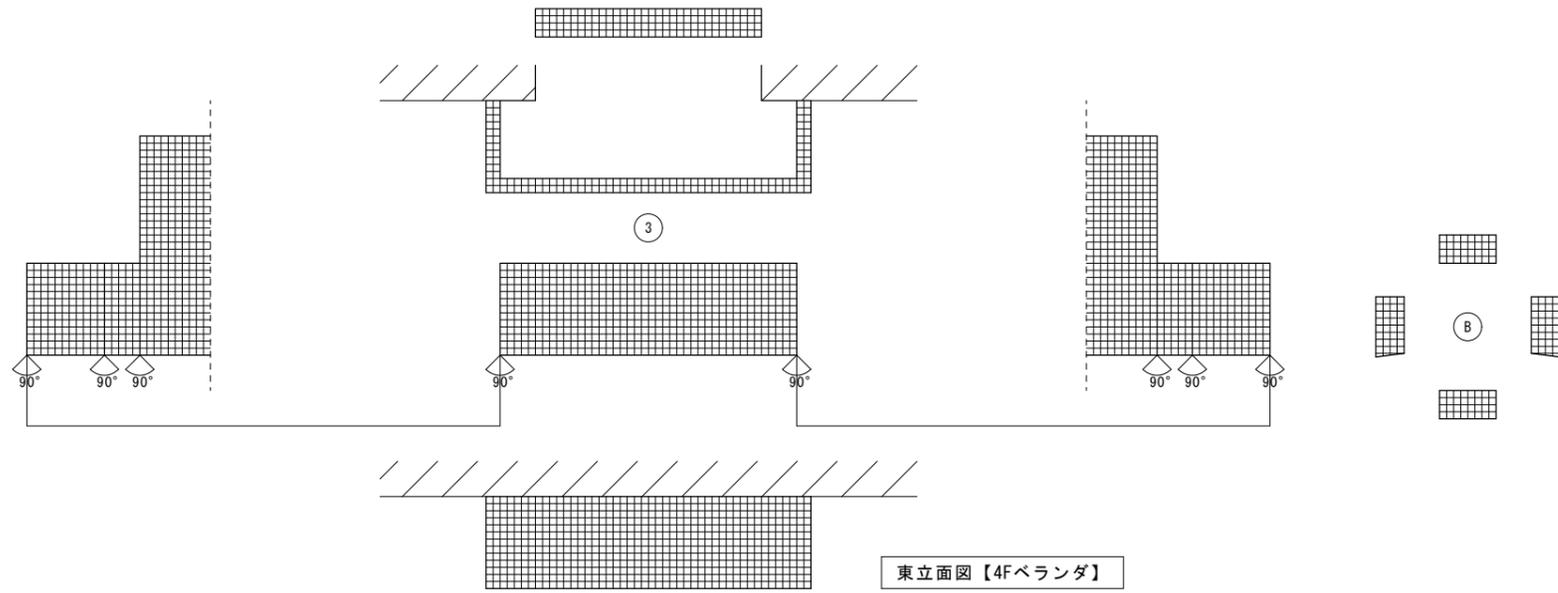


東面立面図

現況

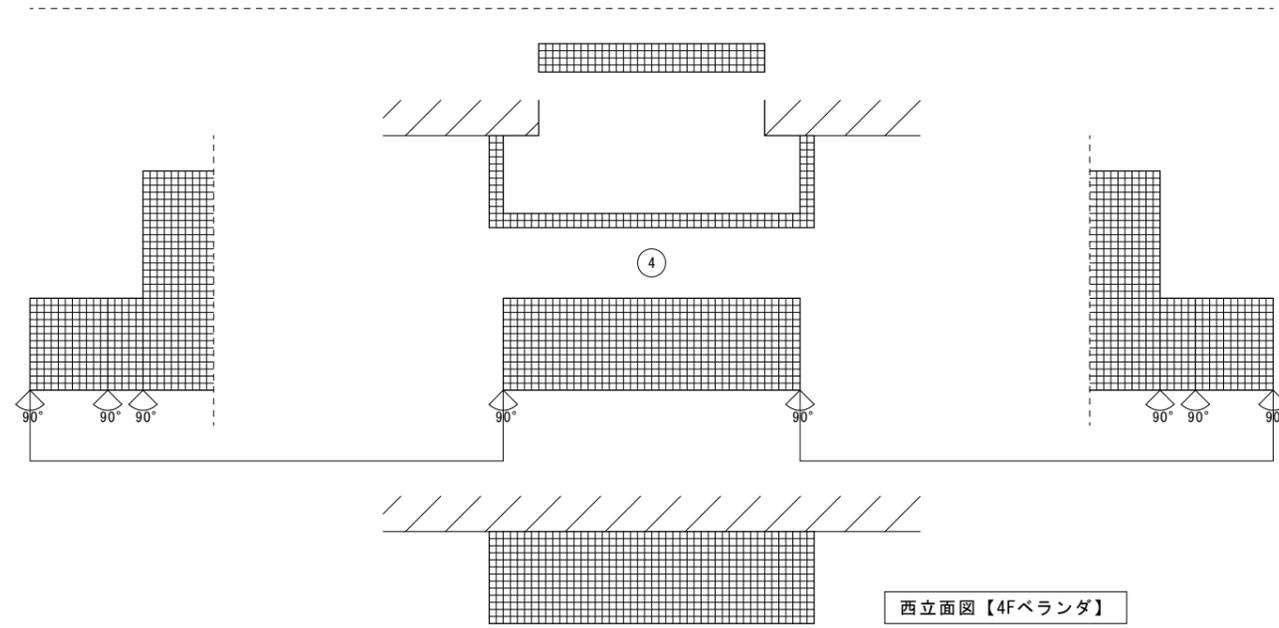
調査事項	備考	単位	凡例
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K)
浮き	タイル剥離	m ²	(U)
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K)

※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする

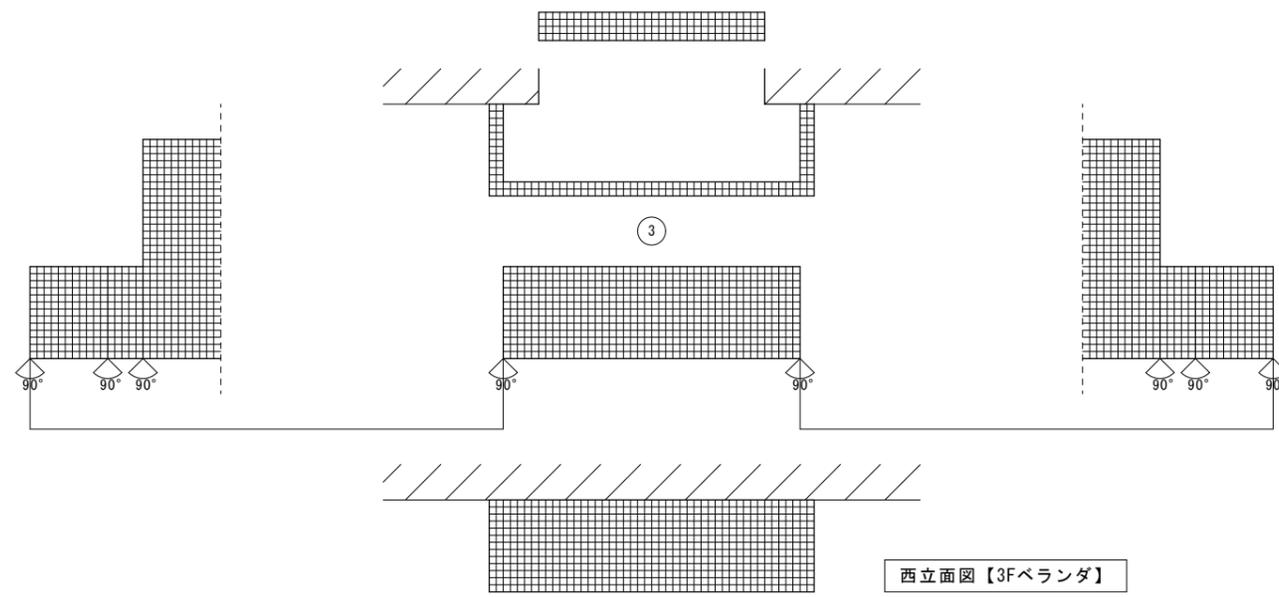


調査事項	備考	単位	凡例
ひび割れ	タイルひび割れ (幅0.2mm以上)	m	(K1)
浮き	タイル剥離	m ²	(U1)
欠損等	タイル欠損・爆裂	か所	(K1)

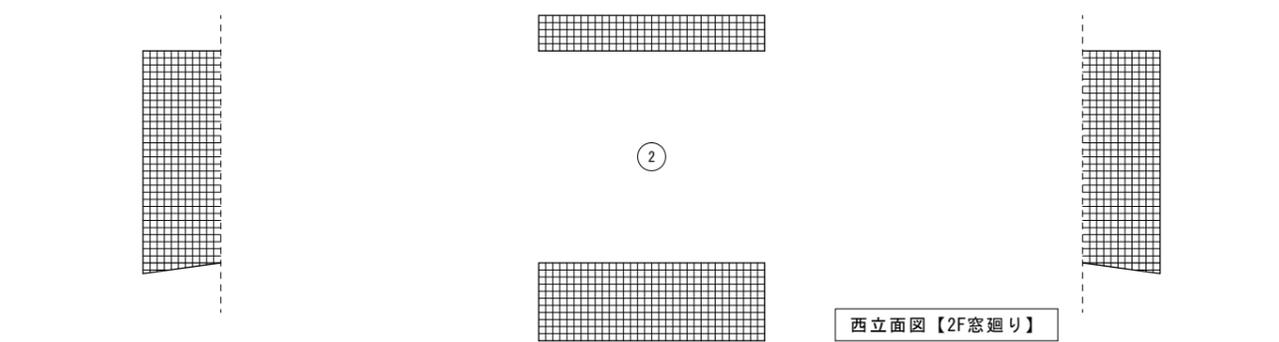
※図面値は調査可能範囲を図示した調査参考値である
 ※外壁面の事前調査を行い、各数量が決まり次第打合せを行い、
 内容決定次第施工する事とする



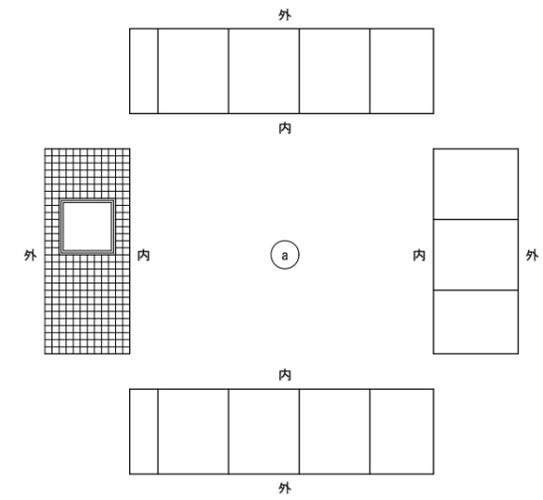
▼4F



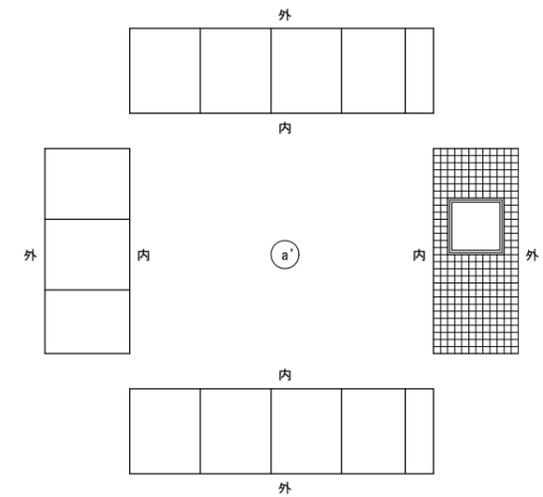
▼3F



▼2F



▼4F



▼4F